

鼎地区まちづくり委員会
鼎地区自主防災会
令和7年度総会



日時 令和7年4月 22 日(火) 午後6時から
会場 鼎文化センター ホール

鼎地区まちづくり委員会・自主防災会 総会次第

- 1 開会のことば
- 2 会長あいさつ
- 3 来賓紹介
- 4 議長選出
- 5 総会成立宣言
- 6 総会書記任命
- 7 議事録署名人指名
- 8 議 事

議案第1号	令和6年度	まちづくり委員会事業報告	1～30 頁
議案第1号の2	令和6年度	自主防災会事業報告	74～76 頁
議案第2号	令和6年度	まちづくり委員会一般会計決算報告	31～39 頁
	令和6年度	まちづくり委員会等会費の状況	40 頁
	令和6年度	まちづくり委員会基金会計等決算報告	41～43 頁
		まちづくり委員会 監査報告	44 頁
議案第2号の2	令和6年度	自主防災会会計決算報告	77 頁
		自主防災会 監査報告	77 頁
議案第3号		まちづくり委員会の規約の一部改正について	45 頁
議案第4号	令和7年度	まちづくり委員会事業計画（案）	46～61 頁
議案第4号の2	令和7年度	自主防災会事業計画（案）	78～79 頁
議案第5号	令和7年度	まちづくり委員会一般会計予算（案）	62～71 頁
	令和7年度	まちづくり委員会基金会計等予算（案）	72～73 頁
議案第5号の2	令和7年度	自主防災会会計予算（案）	80 頁

- 9 議長退任
- 10 退任執行部役員紹介・あいさつ
- 11 新任執行部役員紹介・あいさつ
- 12 閉会のことば

議案第 1 号

令和 6 年度 鼎地区まちづくり委員会 事業報告

地域振興部会（令和 6 年度事業報告）

1 総務文教部（四役会、区長・委員長会関係を含む）

(1) まちづくり委員会の総会の開催

- ・令和 6 年 4 月 19 日に鼎文化センターホールで開催
- ・代議員及び執行部 80 名が出席。自主防災会は 51 名が出席。
- ・まちづくり委員会並びに自主防災会の事業報告及び決算を認定、事業計画案及び予算案を可決

(2) 重要課題及び主要課題の進行管理

①「四役会」の開催

- ・毎月、定例の「区長・委員長会」に合わせて開催

②「区長・委員長会」の開催

- ・毎月の金曜日に開催
- ・開催日 4 月 11 日、5 月 17 日、6 月 14 日、7 月 19 日、8 月 19 日、9 月 20 日、10 月 18 日
11 月 15 日、12 月 20 日、1 月 17 日、2 月 21 日、3 月 21 日

③「三役・総務文教合同部会」の開催

- ・6 回開催
- ・開催日 5 月 13 日、6 月 10 日、7 月 16 日、12 月 10 日、1 月 7 日、3 月 5 日

④「区長会」の開催

- ・開催日 11 月 15 日、3 月 21 日
- ・長年の懸案事項である井水に関する課題と向き合い、地区として解決していくため「区長会」を開催

⑤「三役・地域振興会部長合同会議」の開催

- ・開催日 4 月 12 日
- ・各部会における議論を促進するため、年度当初、新たに正副会長と各部長を含めた「三役・地域振興部会部長合同会議」を開催。情報共有と課題の整理を行い、取り組みの方針を確認した。

(3) 《重要課題》組合未加入者対策の徹底で組織基盤の充実

- ・7 月 30 日 ブロック役員懇談会（組合未加入問題をテーマ）【松尾・伊賀良・上郷・鼎】
- ・8 月 28 日 市長と語るまちづくり懇談会（組合未加入問題が一つのテーマに）
- ・10 月 4 日 議会報告・意見交換会（第 1 分科会で問題提起）
- ・11～12 月 鼎地区における「組合加入促進強化月間」の実施
- ・11 月 8 日 地元市議会議員と語る会（持続可能な住民自治組織のあり方について）
- ・12 月 20 日 区長・委員長会において「まちづくり委員会と市がやるべきこと」を協議
- ・12 月 26 日 市議会総務委員会と鼎地区まちづくり委員会四役による意見交換（「まちづくり委員会と市がやるべきこと」について）

- ・ 1 月 31 日 地域協議会において組合未加入問題を協議（継続検討）

- ・ 松尾・伊賀良・上郷・鼎地区の 4 地区による「組合未加入対策に係わる懇談会」を実施。飯田市の人口の 55%を占める同ブロックの組合未加入問題は、市政課題につながるとの認識。
- ・ 「市長と語るまちづくり懇談会」に臨むが、市側からの解決策の提案がないため、市議会との共催である「議会報告・意見交換会」において、地区における窮状を訴えた。
- ・ 長年、当該懸案事項が「言いつばなし」の状態で、具体的な対策につながってきていないことから、「まちづくり委員会として今後取り組むべきこと」と「今後市が取り組んだ方が良いと思われること」に整理。
- ・ その後、地域自治の所管である市議会総務委員会と意見交換を行い、鼎地区の訴えが市議会から市に対する政策提言に反映できるように配慮してきた。
- ・ まちづくり委員会と既存の組織に属さない人との接点を作るため、「店舗を活かしたコミュニティカフェ運営事業」を新たに支援することで、組合未加入者を包含した「新たにつながる場」づくりを進めている。

【成果】

- ・ 懸案事項の検討結果を成果に結びつけるため、まちづくりの戦略として、市民を代表する市議会の政策提言につなげることができた。
- ・ 「ブロック懇談会」を再開し、都市化している地区と共通の地域課題について意見交換ができる場を設け、共同して取り組む道筋を作ることができた。

【課題等】

- ・ 市議会による政策提言の実現と提言内容の進行管理
- ・ コミュニティカフェのような組合加入者と未加入者をつなぐ中間的な仕組みづくりの定着
- ・ 新規組合加入者の意見集約とホームページ及び広報かなえへの意見掲載
- ・ 区費やまちづくり委員会協力費等に関する情報共有との対策

(4) 《主要課題》持続可能な地域自治組織への事業見直しの推進

- ・ 5 月 30 日 総務文教部において「女性プロジェクト」に着手
- ・ 7 月 19 日 鼎地区パワーアップ事業で「店舗を活かしたコミュニティカフェ運営事業」への助成支援を決定
- ・ 9 月 20 日 例年 1 月に開催していた「新春放談会」の中止を決定
- ・ 10 月 18 日 「鼎地区再生エネルギー事業寄付金活用」に関する基本的な考え方を再整理
- ・ 11 月 8 日 従来からの「市議会傍聴」を「市議会議員と語る会」に移行
- ・ 2 月 9 日 婦人団体連絡協議会との懇談を見直し、「女性フォーラム」を開催（お食事処・夢／41 名参加）
- ・ まちづくり委員会の活動に女性の声が反映されていないことに着目し、新たに「女性プロジェクト」を立ち上げ、まちづくり委員会と接点のなかった女性グループを対象としたヒヤリングに着手。ヒヤリングを通じて、女性の声をまちづくり委員会の活動に反映させようと取り組んできた。2 月 9 日に開催した「女性フォーラム」はその一つ。

- ・ 鼎地区パワーアップ事業の助成対象を公益的な活動をしている事業者や NPO に拡大。「店舗を活かしたコミュニティカフェ運営事業」を新たに支援することで、新たに居場所づくりと人とのつながりを再構築し、まちづくり委員会が意識的につながりを持つことができる場の確保に努めている。

【成果】

- ・ 都市化や宅地化に伴う人間関係の希薄化の広がりにより早く着目し、新たにつながる場づくりに着手することができた。
- ・ 女性の意見反映を目的に、これまでに経験のない「女性プロジェクト」と「女性フォーラム」の開催にチャレンジすることができた。

【課題等】

- ・ 店舗を活かしたコミュニティカフェ運営事業との連携強化とその検証
- ・ 鼎地区パワーアップ事業及び再生エネルギー事業寄付金活用事業に関する新たな要綱等の制定と事業拡大
- ・ 次の取り組みにつなげるための女性プロジェクト及び女性フォーラムの総括

(5) 《主要課題》各種団体との連携で地域の絆を強化

① 鼎壮年団、鼎婦人団体連絡協議会、鼎地区勤労者協議会などとの懇談の開催

- ・ 2月9日 「鼎地区女性フォーラム」の開催（お食事処・夢／41名参加）
- ・ 2月21日 鼎地区勤労者協議会とまちづくり委員会との懇談会

② 信州ふるさと鼎会への協力

- ・ 開催日 11月17日に新宿で開催
- ・ 出席者 講師を含め19名

③ 遺族会への協力（戦没者追悼法要の共催）

- ・ 11月8日 「戦没者追悼式」にまちづくり委員会四役が出席し開催

【成果】

- ・ 「信州ふるさと鼎会」の総会に出席したことで、田舎に還ろう戦略に基づき、鼎地区に対する寄付につながった。

【課題等】

- ・ 各種団体の高齢化に伴う団体役員等の減少
- ・ 既存の組織に属さない人たちのニーズ把握

(6) 《主要課題》パワーアップ事業による地育力向上

① 地域ブランドの研究

② エシカルやSDGsの取り組み検討（広報部と連携）

- ・ 6月10日 三役・総務文教部合同会議において、公民協働事業を契機とした地域ブランドづくりを協議

- ・ 1月7日 三役・総務文教部合同部会において、「景観づくり」の一環として「花の香りがするまちづくり」を建設部と協働して実施していくことを確認

③結婚相談事業への協力と推進

- ・ 5月20日 「コイレク 2024」検討委員会
- ・ 6月13日 「コイレク 2024」第1回実行委員会
- ・ 7月22日 「コイレク 2024」第2回実行委員会
- ・ 9月4日 「コイレク 2024」第3回実行委員会
- ・ 9月24日 「コイレク 2024」レクリエーション班打ち合わせ
- ・ 10月23日 「コイレク 2024」第4回実行委員会
- ・ 10月30日 「コイレク 2024」参加者が少なく開催を中止

【成果】

- ・ 婚活イベントを企画立案・情報発信するなど、主体的な実行委員会方式による活動が定着した。

【課題等】

- ・ 女性の参加者が少なく中止に至った要因の分析とイベント内容の再検討

(7)《重要課題》公共施設の複合施設建設に向けた機敏な対応

①複合公共施設構想の検討推進

- ・ 7月1日 公共複合施設の建設に向けた懇談会の開催
- ・ 8月28日 「市長と語るまちづくり懇談会」において、重要なテーマとして質疑
- ・ 「市長と語るまちづくり懇談会」において、今後の見通しを市側に確認したが、リニア工事の完了時期が大幅に伸びた影響から、スケジュールリングの見直しが必要との回答。覚書を踏まえ新文化会館の基本計画の動向を注視しつつ、建設時期の見極めを求めていくこととなった。

【成果】

- ・ 当該施設に関する要望書を提出した令和2年から令和4年当時の取り組み経過を振り返り、今後の対応と課題整理等につながった。

【課題等】

- ・ 鼎コミュニティ防災センター老朽化に伴う施設の在り方検討
- ・ 鼎児童クラブの受け皿など様々な機能を考慮した公共施設の複合化
- ・ 文化会館建設に向けた基本計画との整合性と長期財政見通しにおける建設年度の明確化

(8) コミュニティスクール学校運営協議会への協力

- ・ 5月16日 第1回「かなえコミュニティスクール」学校運営協議会
- ・ 10月21日 第2回「かなえコミュニティスクール」学校運営協議会
- ・ 2月21日 第3回「かなえコミュニティスクール」学校運営協議会
- ・ コミュニティスクールへまちづくり委員会の会長と子どもを育む委員長が出席しているものの、報告の場を設けてこなかったため、まちづくり委員会としては当事者意識が希薄。

【課題等】

- ・ 「学園構想づくり」におけるまちづくり委員会の関与

(9) 研修会、懇談会の開催

①市長と語るまちづくり懇談会の開催

- ・開催日 8月28日
- ・参加者 役員を含め49名が参加
- ・3つのテーマ設定を行い、意見交換を行ったが、時間が超過し協議不足となった。組合未加入問題については、期待された回答はなく認識のズレを感じた。組合未加入問題は、都市化している地区の固有の課題ではあるが、市の大きな課題につながる問題であることを今後とも訴えていく。
- ・時間不足となった反省を踏まえ、来年度以降は、テーマを絞り込むことを確認

②議会傍聴の実施、議会報告・意見交換会への協力

- ・開催日 10月4日に「議会報告・意見交換会」を開催
- ・開催日 11月8日に「市議会議員と語る会」を実施

③地域づくりの調査研究、視察の実施

- ・開催日 11月7～8日 役員視察研修を実施 19名が参加
- ・目的 中越地震から学び、「地域防災体制の強化」につなげる
- ・参加者 自主防災会のメンバーを中心に19名が参加

④新春放談会の開催

- ・事業の見直しの一環で「新春放談会」の本年度中の実施を中止

【成果】

- ・組合未加入問題を通年の取り組みとして、市側と市議会へその窮状を訴え続け、市議会の政策提言へ反映させていくこととなった。

【課題等】

- ・地域課題に関する視察研修のほか、講師を招いての講演会や研修会の模索

2 産業経済部

(1) 財産区分収林の管理と整備実施（壮年団山林愛護会と連携）

- ・9月21日 財産区管理委員による現地踏査
- ・10月27日 財産区管理会・まちづくり委員会及び鼎壮年団による伐採作業
- ・従来型の財産区分収林の作業を見直し、来年度の鼎ふれあい広場・文化祭において、「木育をはじめとする木材の普及」を行うための準備を始めた。木材や木製品とのふれあいを通じて、木材への親しみや木の文化への理解を深め、木材の良さや財産区の分収林に関心を持ってもらうことが目的。

【成果】

- ・境界線の踏査を初めて実施し、木育の取り組みに必要な木材を伐採し、次年度以降の取り組みにつなげることができた。

【課題等】

- ・年度当初の飯伊森林組合と財産区委員会との年間計画づくり
- ・年間計画に基づいた管理と整備及び木育普及に向けた戦略
- ・継続的な境界境の確認作業の実施

(2) 《重要課題》 リニア関連妙琴公園将来構想の検討（建設部と連携）

①妙琴公園将来構想会議に参加

- ・10月28日 市の担当部署等との打ち合わせ
- ・これまで風致公園としての方向性を固めてきたが、リニア工事の完了時期が先延ばしとなったことから、ふさわしい公園のあり方を検討する時間的猶予が生まれた。

【課題等】

- ・地域振興に資する地域資源を活かした公園の在り方の再検討

(3) 妙琴公園のモミジの維持管理（商工会との連携）

- ・5月以降、各区において担当場所の下草狩り作業を実施。作業実績に基づき管理費を支給

【課題等】

- ・モミジの枯れや病気等への対応と現地確認

(4) 商工農林業の振興事業への支援

①地域問題懇談会の共催

- ・開催日 2月3日（月）
- ・テーマ 地域の農業の現状と課題
- ・参加者 JAみなみ信州県支所担当役員、支所運営委員、商工会議所県支部、まちづくり委員会役員等約30名

3 建設部

(1) 《重要課題》 県道青木東県線下山工区の拡幅早期着工及び車川越水対策

①飯田建設事務所長への要望活動

②事業進捗の確認

③住民説明会の開催支援

- ・7月19日 「区長・委員長会」において「井水網図・分割図」を配布、管理体制の強化について依頼
- ・6月19日 下山工区道路計画に伴う懇談会
- ・9月20日 路線等の改良促進に関する飯田建設事務所長への要望活動
- ・9月20日 「区長・委員長会」において、県道青木東県線の沿道の「景観づくり」について協議。今後、「(仮称) 県地区景観づくり推進会議」を立ち上げ進めていくことを決定
- ・11月15日 下山工区説明会に係わる打ち合わせ
- ・11月15日 「区長会」において、車川を中心とした井水の越水対策を協議
- ・12月25日 県地区における井水の越水等による被害状況調べの集約

- ・ 1 月 17 日 下山工区説明会に係わる調整会議
- ・ 2 月 20 日 下山区事業推進委員会における説明会
- ・ 3 月 4 日 下山区説明会

- ・ 3 月 6 日 東鼎区説明会
- ・ 3 月 21 日 下山工区説明会後の調整会議
- ・ 下山工区については、県建設事務所長への要望活動の際に、県側から、従来の整備方針を見直したい旨の報告がなされたところ。長年の懸案である同工区の整備方針の見直しは、地元側に大きな影響を与えることから、関係住民説明会を開催する運びとなった。
- ・ 車川の越水対策は、同県道の拡幅と密接な関係はあるものの、現状のままでは対策が講じられないことになるため、新たな非常排水路を確保するなど、鼎地区内の他の井水の越水対策を市側に要望していく準備作業を始めた。
- ・ 地区の基本構想・基本計画を踏まえ、県道青木東鼎線沿道の景観づくりに向けた方向性と進め方を協議。次のとおり、景観のまちづくりの進め方の方向性を確認。 ①鼎地区で取り組みの主体をつくる ②鼎地区で機運を高める ③あるべきまちづくりの姿と地域のルールをつくる

【成果】

- ・ 県道青木東鼎線沿線の快適空間に着目し、看板規制等の景観に配慮したまちづくりに着手することを決定することができた。景観が地域ブランドの底上げにつながる機運を作っていくことが大切。

【課題等】

- ・ 県の整備方針変更に伴う地元説明会の早期開催と合意形成
- ・ 鼎地区全体における井水の越水の現状把握と越水対策に係わる市への要望活動
- ・ 看板規制に係わるルール及び検討のための組織づくり

(2)《重要課題》リニア中央新幹線松川工区の地元安全対策

①リニア対策会議（毎月）の開催（建設部長の出席）

②現場視察（年1回）の実施

③市道大休妙琴線道路改良工事の整備促進

- ・ 対策会議の開催 4 月 23 日、5 月 21 日、6 月 18 日、7 月 23 日、8 月 20 日、9 月 24 日
10 月 22 日、11 月 21 日、12 月 19 日、1 月 21 日、2 月 18 日、3 月 19 日
- ・ 9 月 17 日 JR 東日本によるリニア中央新幹線松川工区の進捗と今後の見通しに関する説明会
- ・ 9 月 24 日 対策委員会メンバー及びまちづくり委員会役員・市議会議員による現地視察
- ・ 切石区の役員で構成されたりニア中央新幹線対策委員会を毎月開催し、継続的な区民の安全対策に配慮してきている。
- ・ JR 東日本によるリニア中央新幹線松川工区の進捗と今後の見通しに関する説明会では、まちづくり委員会側からは、工事期間が延長されることに対する懸念やリニア中央新幹線に対する地区住民の期待を裏切らないようにと指摘。
- ・ リニア中央新幹線松川工区の進捗の状況報告を定期的にまちづくり委員会に対して行うことを

確認。

【課題等】

- ・ リニア工事期間延長に伴う市道大休妙琴線の改良工事の遅れ
- ・ リニア工事期間が延長されることに対する住民の安全対策の確保

4 自主防災部(鼎地区自主防災会事業計画と一部重複)

(1) 《重要課題》 安心・安全のまちを造る防災体制の充実

①災害時に対応可能な自主防災組織の整備検討

②自主防災リーダー養成研修への参加

③消防団及び赤十字奉仕団との連携強化、懇談会などの実施

- ・ 5月9日 自主防災リーダー養成研修会 自主防災会役員・赤十字奉仕団役員等の出席
- ・ 5月26日 飯田市消防団操法技術大会に係わる分団反省会
- ・ 6月13日 飯伊消防団操法技術大会に向けた壮行会
- ・ 1月17日 「区長・委員長会」において、地区防災計画の見直しに着手することを決定
地区にふさわしい組織のあり方について協議をスタート
- ・ 2月6日 赤十字奉仕団と自主防災会による「合同防災学習会」を開催
- ・ 2月15日 消防団分団役員とまちづくり委員会四役との懇談会

【成果】

- ・ 時代の変化やニーズに対応した地区防災計画にするため、ふさわしい防災組織のあり方について、見直し作業に着手することができた。

【課題等】

- ・ 時代の変化や災害状況に応じた地区防災計画の見直し

(2) 自主防災本部と各区自主防災会の連携・協力による防災研修会の運用拡大

①被災地の状況等からの防災学習

②地域住民の防災意識の啓発、家庭での防災の備えの推進

③ハザードマップの周知・活用

④各区における応急避難場所の確保や区民への周知

- ・ 5月28日 災害時における組合単位の安否確認方法等の検討報告書の提出を依頼
- ・ 6月～ 防災の備えに関するチラシを区長等に配布し、日常的な活用を依頼
- ・ 7月～ 井戸所有者及びアマチュア無線免許取得者名簿提出の依頼
- ・ 12月7～8日 自主防災会役員等を中心とした視察研修「中越地震から学ぶ」
- ・ 2月6日 赤十字奉仕団と自主防災会による「合同防災学習会」を開催
- ・ 視察研修では、新潟県中越大震災から「4つのそなえ」の重要性を学び、日頃からのそなえの大切さを再認識した。

【成果】

- ・ 井戸所有者を把握し、災害時の井戸水の利活用について協議をしていくための準備を整えることができた。

【課題等】

- ・組合単位の安否確認については、全組合を対象にアンケート調査を実施し、振り返りの動機づけにはなったが、改善策には至っていない。
- ・まちづくり委員会や自主防災会として、日常的な防災に関する周知が不十分なため、効果的な周知や内容等を検討する必要がある。
- ・災害時における井戸所有者の提供による生活用水としての活用方策が課題となっている。

(3) 防災訓練等の実施や参加

- ①地震総合防災訓練における各区本部（支部）と連携した自主防災会本部訓練の実施
- ②土砂災害・全国統一防災訓練への参加（土砂災害特別警戒地域住民への連絡・対応）
- ③消防団の非常招集訓練への参加
- ④赤十字奉仕団の炊き出し訓練への協力支援

- ・ 5月21日 第1回鼎地区自主防災会本部合同会議
 - ・ 5月28日 令和6年度 区における地震防災訓練計画書の提出依頼
 - ・ 6月14日 赤十字奉仕団炊き出し訓練
 - ・ 6月21日 土砂災害・全国統一防災訓練の実施
 - ・ 6月23日 春季非常招集訓練（グループホーム切石）
 - ・ 7月19日 令和6年度飯田市地震総合防災訓練 訓練説明会（地区拠点班として出席）
 - ・ 7月19日 「区長・委員長会」において、地震総合防災訓練について協議
 - ・ 8月9日 第2回鼎地区自主防災会本部合同会議
 - ・ 8月19日 「区長・委員長会」において、地震総合防災訓練について協議
 - ・ 9月1日 令和6年度飯田市地震総合防災訓練中止・鼎地区自主防災会による訓練中止
各区においては、実施可能な範囲で訓練を実施
 - ・ 11月16日 自主防災会主催による「指定避難所の開設・運営」訓練を実施
- ・土砂災害・全国統一訓練においては、地区拠点班本部設置訓練と自主防災会と連携し情報伝達訓練を実施。午後には、中学校の武道場を活用し、指定避難所開設に伴う関係備品等の組み立てに取り組んだ。
- ・地震総合防災訓練は、台風の影響等を考慮し中止となった。多くの区は、中止の伝達訓練を行ったが、切石区は当初の計画に基づき実施。自主防災会としては、中止に伴い代替訓練「指定避難所の運営・設営訓練」を11月16日に実施した。

【成果】

- ・懸案であった「指定避難所の開設・運営」の本格的な訓練を実施することができ、運営については、課題等が多いことが共有できた。
- ・地震総合防災訓練の中止に拘わらず、区において独自の訓練を当日、ないしは他の日に設定し実施することができた。

【課題等】

- ・地区防災計画の見直しによる自主防災訓練の充実と組織体制の強化
- ・自主防災会と消防団及び赤十字奉仕団との密接な連携強化

(4) 本部および各区の備品再整備

①飯田市自主防災組織施設整備事業を活用した防災資機材整備

- ・ 5月30日 自主防災組織施設整備事業の要望取りまとめ
- ・ 6月19日 自主防災組織施設整備事業補助金の内示
- ・ 7月23日 自主防災組織施設整備事業補助金の交付申請
- ・ 7月23日 自主防災組織施設整備事業補助金の交付決定
- ・ 11月15日 「区長・委員長会」において実績報告を依頼、トランシーバーの追加購入を決定
- ・ 地区内においてアマチュア無線免許保持者の高齢化が顕著。新規免許保持者の減少から、鼎地区本部と区本部をつなぐ伝達手段をアマチュア無線からトランシーバーに移行する過渡期を迎えている。年度内の購入

【成果】

- ・ 井戸の所有者を把握し、災害時に生活用水として活用する

【課題等】

- ・ 赤い羽根共同募金を原資とした安心・安全なまちづくり配分対象団体等の拡大
- ・ 飯田市自主防災組織施設整備事業の補助対象品目の拡大

(5) 実効性のある地区防災計画への見直し、行動マニュアルの作成

- ・ 1月17日 「区長・委員長会」において、地区防災計画の見直しに着手することを決定
地区にふさわしい組織のあり方について協議をスタート
- ・ 3月11日 三役・自主防災部合同部会において、組織のあり方等について再検討

【課題等】

- ・ 時代の変化に合わせた地区防災計画の見直しと実効性がある進行管理

(6) 災害や危機事案・非常事態への対応

- ・ 起こってみたいとわからないことが多いが、心構えや準備は可能であることを再確認。

5 広報部

(1) 広報「鼎」(かなえ)の発行 (年4回)

①広報紙の発行

- ・ 6月26日付け第90号発行 表紙「かなえ中央公園愛護会」
- ・ 10月2日付け第91号発行 表紙「サイエンスショー」
- ・ 12月25日付け第92号発行 表紙「指定避難所の受付」
- ・ 3月26日付け第93号発行 表紙「どんど焼き」

②編集委員会等の開催

- ・ 広報かなえ編集委員会 4月25日、7月23日、10月8日、1月21日
- ・ 広報かなえ地域振興・広報部会 同上

【成果】

- ・ 役員の負担軽減、会議の効率性から、編集委員の会議への出席者を、各委員会2名から1名に変更し見直しを図った。

【課題等】

- ・各委員会における事務局主体の編集作業の見直し
- ・広報かなえに係わる年間掲載記事の計画の明確化

(2) まちづくり委員会事業・鼎地区の出来事等の記録

①業務委託による運用により一元管理

②広報「鼎」(かなえ)と公民館報「かなえ」のアップロードを検討

- ・7月12日 鼎地区ホームページ情報更新担当者会議を開催。
- ・鼎地区ホームページ情報更新担当者会において、ホームページ検討委員会規約、ガイドライン及び運用方針、ホームページの利用促進などについて協議。規約による当該委員会とまちづくり委員会との関係性の明確化を図り、検討委員と情報担当者との密接な連携が必要であることを確認。
- ・鼎の暮らしが見える組合未加入者をつなぐ情報発信としての役割についても協議。まちづくり委員会との連携強化のために、引き続き、広報部長が検討委員会へ必要に応じて出席することとした。

【成果】

- ・ホームページ検討委員会の規約が確定し、当該委員会とまちづくり委員会広報部及び情報更新担当者との関係を明確にすることができた。

【課題等】

- ・まちづくり委員会の SNS を活用した情報発信への移行
- ・組合新規加入者の加入後の感想等の広報及びホームページへの掲載

(3) 地域ブランドやエシカル消費などに関する広報活動

- ・地域ブランドとエシカル消費については、地区住民に対する動機づけが必要となるため、学習会等の機会の創設について検討。



指定避難所開設に伴うレイアウト訓練



女性フォーラム(第1部)分科会

生活安全委員会（令和6年度事業報告）

<基本方針>

交通事故や犯罪の発生は私たちの生活に深刻な影響を与えます。地域の人々が安心して暮らせるように、交通事故ゼロ、犯罪被害ゼロのまちづくりを目指します。

<事業の目標>

○交通安全を推進します。

○防火・防犯対策を進め、安心安全なまちづくりを目指します。

1 防犯対策の強化・推進

(1) 地域安全運動

春の地域安全運動 5月8日（水）～12日（日）

夏の地域安全運動 8月4日（日）～10日（土）

夏の防犯パトロール 8月4日（日）～9月1日（日）にかけて地区ごと実施

秋の全国地域安全運動 10月11日（金）～20日（日）

年末特別警戒 12月15日（日）～31日（火）

冬の防犯パトロール 12月4日（水）～12月28日（土）にかけて地区ごと実施

(2) 青色回転灯装備車（青パト）による活動

地区内パトロール（5/17、6/18、7/23、8/8、9/26、11/13、12/13、1/23、2/4）

(3) 犯罪・事件・事故が起きた場合の即時対応

火災の非常線協力（切石） 8月5日（月）

【成果】

- ・夏と冬の地域安全運動期間中に各地区で防犯パトロールを実施し、危険箇所や空き家の巡回、防犯灯の点検などを行い、犯罪の温床となるような場所がないか確認することができた。
- ・青パトの範囲を各地区から複数地区を跨ぐように変更し、鼎地区内の防犯対策の強化に努めた。

【課題等】

- ・事件、事故が起きた際その他団体や他委員会との連携、火災時の消防団との連携や不審者情報に対するPTAや他委員会との情報共有など、協力体制を強化させる必要がある。

2 交通安全対策の強化

(1) 交通安全運動の推進

- ・春の全国交通安全運動 4月6日（土）～15日（月）

人波ルート作戦 4月8日（月）（切石体育館前交差点）

- ・夏の交通安全やまびこ運動 7月11日（木）～20日（土）

人波ルート作戦 7月11日（木）（東鼎交差点）

交通指導所の開設 雨天のため中止

- ・秋の全国交通安全運動 9月21日（土）～30日（月）

人波ルート作戦 9月24日（火）（切石体育館前交差点）

第2ブロック合同人波作戦 9月24日（火）（上郷別府交差点）

交通指導所の開設 9月29日(日)(切石体育館前交差点)

- ・年末の交通安全運動 12月15日(日)～31日(火)

交通指導所の開設 12月15日(日)(東鼎交差点)

人波ルート作戦 12月16日(月)(東鼎交差点)

- ・毎月5日・20日の交通安全の日

登校時を中心に歩行者、自転車事故防止のための街頭指導を各地区で実施

(2) 交通安全教室への協力(小学校・保育園・幼稚園等)

鼎小学校交通安全教室 4月23日(火)

みつば保育園交通安全教室 5月17日(金)

明星保育園交通安全教室 6月4日(火)

鼎あかり保育園交通安全教室 6月17日(月)

明星保育園交通安全教室 10月28日(月)

みつば保育園交通安全教室 10月30日(水)

鼎あかり保育園交通安全教室 11月11日(月)

鼎あかり保育園交通安全教室 3月11日(火)

(3) 各地区・団体行事の交通警備等への協力

各地区春季祭典 4月13日(土)・14日(日)

消防団春季非常召集訓練 6月23日(日)

矢高神社秋季祭典 8月17日(土)

天伯神社秋季祭典 9月28日(土)

鼎縦断駅伝大会交通警備 9月8日(日)

鼎地区ふれあい広場・文化祭 11月2日(土)・3日(日)

【成果】

- ・全国交通安全運動期間中、交通ルールの遵守や交通マナーの実践を呼びかけることで交通安全の意識を高めてもらうことができた。
- ・小学校、保育園の交通安全教室に協力することで、子ども達に安全な道の歩き方や交通ルールを学んでもらうことができた。また、安全に交通安全教室を実施することができた。
- ・各地区の春季・秋季祭典、消防団非常召集訓練等の交通警備、鼎公民館行事等の警備に協力したことで、事故なく安全に行事を実施することに繋がった。

【課題等】

- ・各地区・団体行事の交通警備に対応する生活安全委員の負担が大きい。行事を主催する団体と負担軽減に繋がる方法を検討していきたい。

3 施設・設備・規制の点検、整備・修繕・設置要望の実施

- ・交通安全施設の新設 4件
- ・交通安全施設の修繕 8件
- ・交通安全施設の撤去 2件
- ・交通規制の新設 1件
- ・交通規制の修繕 1件
- ・防犯灯の新設 3件(内2件許可)

- ・防犯灯の移設 4 件
- ・防犯灯の修繕 9 件

【課題等】

- ・木柱や劣化した鉄柱の防犯灯が複数あり、倒壊する前に立替えもしくは移設をする必要がある。
- ・住宅地の増加等に伴う防犯灯新規設置の需要が高まっているが、飯田市の防犯灯設置の方針により許可が下りにくい。

4 啓発・広報活動の実施

- ・広報かなえ第 90 号、91 号、92 号、93 号に「生活安全」紙面掲載
- ・各交通安全運動期間中にチラシ・ポスター掲示
- ・交通安全イラスト入りのポケットティッシュや絆創膏を交通指導所開設時に配付
- ・鼎小学校へ新入生用ランドセルカバーと啓発パンフレットの贈呈
- ・長野県交通災害共済への加入促進
- ・鼎地区ホームページでの啓発・広報

【課題等】

- ・広報、啓発活動の効果検証

5 研修・視察への参加及び実施

- ・交通安全指導員研修会の実施 参加者 43 名
- ・飯伊交通安全協会が実施するドライバー安全運転研修への参加呼びかけ 参加者 1 名

【成果】

- ・新規で交通安全指導員になった方を対象に交通安全指導員研修会を実施し、交通安全指導、防犯パトロール、火災時の非常線の方法などを学ぶことで 4 月から活動をスムーズに行うことができた。
- ・ドライバー安全運転研修に 1 名参加していただいた。
(2 名申込みがあったが、1 名は体調不良で欠席)

6 関係団体への協力

- ・飯田市、飯伊交通安全協会、飯田地区防犯協会が実施する会議や啓発活動等への参加
 - ①飯伊交通安全協会連絡会及び総会
 - ②飯田市交通安全連絡会
 - ③飯田地区防犯協会連合会女性部役員会及び総会
- ・飯田市交通指導員の活動参加
 - ①飯田市交通指導員総会・任命式
 - ②交通指導員会
 - ③飯田市主催交通指導員による啓発活動
 - ④イベントの交通警備

子どもを育む委員会（令和6年度事業報告）

1 コミュニティスクール関係

- (1) 学校運営協議会へ委員として参加（委員長） 5月16日、10月21日、2月21日
- (2) 広報鼎92号にかなえコミュニティスクールの紹介記事を掲載 12月25日
- (3) 学校運営協議会主催の「かなえの子どもを語る会」へ参加 1月30日

※委員長は話題提供者として参加

【課題等】

- ・学校運営協議会の仕組みを利用して、地域が感じている課題等を積極的に議論できないか。
例えば、「子どもを守る安心の家」の周知方法等、子どもを育む委員会で課題と感じていることを、学校運営協議会の場で発信できれば望ましいと思われる。

2 子どもの居場所づくり、受け入れ体制づくり

- (1) 各区で長期休業に合わせて子どもの居場所づくり事業を実施。

- ・中平夏の学習会（中平区）
- ・冬休みの集い（切石区）
- ・宿題やらい会（上山区）
- ・一色塾（一色区）
- ・令和稲井学校（名古熊区）

【成果】

- ・核家族化が進み、子どもだけで家にいる機会が増える昨今において、貴重な時間を子どもたちに提供することができた。

【課題等】

- ・地区の規模や他の事業との兼ね合いで、「寺子屋」のような事業を実施している区は限られるが、事業の事例やノウハウを全体で共有することが必要であるとする。

3 健全育成に取り組み地育力を深める

- (1) 各区で子どもたちを対象とした事業を実施。

- ・魚のつかみ取り・魚焼き体験、子ども会・クリスマス会（下山区）
- ・花火大会・七夕飾り、おもしろ科学工房出前講座、小学生高齢者クラブ交流会（東鼎区）
- ・西鼎鯉のぼり祭り、西鼎夏祭り（西鼎区）
- ・下茶屋花プロジェクト（下茶屋区）
- ・おやす、しめ縄作り、書き初め大会（中平区）
- ・こども納涼祭、花火大会（上茶屋区）
- ・天伯八幡神社奉納花火、親子でたこ焼き、（切石区）
- ・防災学習、ものづくり体験（草のキーホルダー、水引細工）（上山区）
- ・サツマイモ植え付け・イモ掘り体験、七夕飾りづくり（一色区）
- ・名古熊神社春季例祭、ニュースポーツ体験、夏祭り子ども花火大会、おやす作り（名古熊区）
- ・松飾り集め、おんべ作り等（各区）

【成果】

- ・子どもを育む委員が地区の方々と協力して趣向を凝らし、子どもたちの思い出に残る素晴らしい事業を実施することができた。

【課題等】

- ・昨今の物価高騰により、各事業で子どもへ配布するお菓子代が大きく高騰している。

4 全体事業の実施

- (1) 南信州いいだおもしろ科学工房と事前打合せ（3役対応） 4月24日
- (2) 鼎小学校全児童とその保護者、未就学児を対象に、「サイエンスショー～超低温の不思議な世界～」と「みんなで体験～巨大空気砲～」を実施 6月29日

【成果】

- ・保護者、未就学児を含めて約90人が参加。開催チラシを小学校の児童経由で配布するとともに、各区の子どもを育む委員会支部長が支部PTAと連携して情報展開したことが多くの方の参加につながったと考える。
- ・科学実験などの日常では体験できない体験学習の場を多くの子どもたちに提供することができた。また、参加児童全員に空気砲を手作りしてもらうことで、親子や児童同士の交流にもつながった。
- ・子どもを育む委員、中学生ボランティア、講師が一丸となって事業を成功させることができた。

【課題等】

- ・当日はおもしろ科学工房の講師の指示で動くことが多かったが、動きについての大半が現場合わせであった。事業の性質上ある程度は仕方ないが、事前打合せがもう少しあればよりスムーズに進行できたのではないかな。

5 安全な環境づくり

- (1) 各区でパトロール隊活動として通学路危険個所の点検を実施。
- (2) 各区で「あいさつ」＋「ひと声」運動を実施。

【成果】

- ・子どもにとって危険な個所を把握した。また、発見した危険個所は地区の役員会等で共有してもらい、土木補修要望等につなげた。
- ・地区の子どもをより近くに感じ、改めて「子どもは地域の宝」という意識が高まった。

【課題等】

- ・通学路危険個所のパトロールや登下校時の見守り活動においては、不審者と誤認される事例があるため、来年度も引き続きパトロール用メッシュベストの着用を徹底していく。

- (3) 小学校から提供された令和6年度の「子どもを守る安心の家」一覧をもとに、各区公民館に掲載してあるマップを更新するとともに、安心の家の周知方法について支部長会で協議した。

【課題等】

- ・安心の家マップは各区公民館に掲示されているが有効活用されていないのが現状。各地区で有効活用に向けて模索してきたが、成果が出ていない。小学生が実際に安心の家を見て回ることが周

知につなげる一番の手段だと考えるため、子どもを育む委員会紹介式や学校運営協議会等の機会に学校やPTA役員に働きかけを行い、安心の家の有効利用につなげていきたい。

6 公民館事業との共催・協力

(1) ペタンク大会実行委員会へ参加 5月20日

(2) 大会前日準備へ参加 6月1日

※大会当日は雨天のため中止

7 研修視察

(1) かざこし子どもの森公園で3つのものづくり（革のキーホルダーづくり、オリジナル缶バッジづくり、クリスマスリースづくり）を体験した。

【成果】

・実際に支部長がものづくりを体験することで具体的な手順や難易度が分かり、地区の居場所事業での活用に役立てるための研修に位置付いている。

8 会議等

(1) 支部長会 第1回4月8日、第2回5月23日、第3回9月5日、第4回12月14日

(2) 3役会 第1回1月31日



中平の夏やすみいっしょにしゅくだいをやろう



切石獅子舞の毎月一回の伝承会

健康福祉委員会（令和6年度事業報告）

1 総務運営部会

(1) 災害時助け合い・住民支え合いマップの更新

- ・各区にて「災害時助け合い・住民支え合いマップ」の更新作業を実施し、活用方法等を検討
- ・自主防災会、民生児童委員協議会などと連携し、支援の必要な方等の情報を共有し、日常的な支え合い活動などで活用

(2) 視察研修

コロナ後、福祉関連施設の視察が引き続き難しい状況であり、検討をしたが、視察先の選定ができず今年度は未実施

(3) 「ふるさと県ふれあい広場・文化祭」の開催

11月2日(土)、3日(日) 県文化センター・県体育館・大駐車場

ふれあい広場の企画・運営、展示ブース・絵手紙作成ブース・フードドライブブースの設置
フードドライブ 242点(総重量 141.33kg)

模擬店参加団体8団体(11月2日は雨天中止)、チラシ広告 120企業

(4) がん検診受診率向上のための取り組み

各区(組合)にご協力いただき、がん検診申込書を回収

飯田市平均回収率 53.7%、県地区回収率 55.3%(令和7年2月28日時点)

(5) ひとり親世帯児童 中学卒業祝賀事業

県中学校卒業予定のひとり親世帯に県中学校を通じて粗品(図書カード)を贈呈

対象 16世帯

(6) 福祉に関する募金等の推進

- ・日赤奉仕団及び民生児童委員の協力により街頭募金、法人募金活動を実施
- ・県自治振興センター入口にベルマーク回収箱を設置・回収し、社会福祉協議会へ送付

(7) 健康福祉委員学習会

6月20日(木) 県公民館

①講演:「傾聴とは、その体験談等」

講師:駒瀬 靖彦氏(社協傾聴ボランティア「おひさま」元代表)

②県地区健康福祉委員会の事業について説明

委員 43名参加

2 地域健康福祉部会

(1) 民生児童委員協議会との連絡会

各支部にて健康福祉委員と民生児童委員が、高齢者福祉などについての情報共有と相互の役割を確認し、相互協力を行っていることから、全員が一堂に会する連絡会は未実施

(2) 健康講演会

12月8日(日) 県公民館

講演：「血压管理で健康寿命を延ばそう ～高血圧の予防と治療の重要性～」

講師：熊谷 悦子医師(健和会病院 副院長)

委員及び一般 35 名参加

(3) 小さな善意運動の促進

県自治振興センター窓口及びキラヤ県店に募金箱を設置

(4) 健康づくり教室

地域全体の健康づくりに対する意識の向上を図るため実施(各地区で実施)

5月11日(土) 健康体操、血圧測定、ゲーム(上山)

6月15日(土) 体操教室(手ぬぐいを使ったストレッチ等)(上山)

6月30日(日) 「みんなで歌って元気になろう」講演、熱中症予防について講演(名古屋)

7月27日(土) 「生き生きした暮らしはお口の健康から」講演(上山)

8月31日(土) 「フットケア(爪と足の健康)について」講演(上山)

9月15日(日) 「笑った数だけ寿命が延びる!!」講演(西県)

9月28日(土) 転倒防止対策、下半身を中心とした体操、歯の健康について講演(東県)

10月20日(日) 認知症について講演(下茶屋)

11月16日(土) 童謡の映像に合わせた健康体操(上山)

11月17日(日) 「ロコモ&フレイルとは・その予防方法」講演と予防体操(切石)

11月17日(日) フレイル予防体操(一色)

1月19日(日) 「みんなで歌って元気になろう」講演(名古屋)

2月9日(日) 「認知症予防のポイント」講演、脳トレ体操(西県)

2月9日(日) 歯の健康について講演、体力測定(中平)

(5) いきいき教室・県の公開講座

元気な高齢者の増加と高齢者を支える地域づくりの一端を担うために、各地区での教室及び県地区全体の公開講座を実施

①いきいき教室

ゲーム、アレンジフラワーやちぎり絵などの制作、うた、講演、体操などを実施

下山・切石

月2回

東県・西県・中平・上茶屋・一色・名古屋

月1回

②公開講座

6月14日(金)、10月11日(金)、12月13日(金)にプラステン講座(簡単な体操)開催

(6) ふれあいサロンの定期開催

高齢者の健康増進、健康維持、介護予防及びふれあいの輪（和）を広げ、明るく住みよい地域づくりをするために、定期的なふれあいの場としてサロンを開催（各地区で実施）

ふれあいサロン燦燦会（下山）	月 2 回
おしゃべりひだまりサロン（下山）	月 2 回
ふれあいサロン東鼎	月 1 回
ふれあいサロン西鼎	月 1 回未満
ふれあいサロン上山	月 2 回
歌を唄おう会（上山）	月 2 回
おしゃべりサーティー（上山）	月 1 回

(7) フードドライブの取組

イベントや祭りなどが開催される際に、フードドライブを実施

6 月 2 日（日）	ペタンク交流会	中止
11 月 2 日（土）、3 日（日）	ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭	242 点(総重量 141.33 kg)
2 月 2 日（日）	冬季スポーツ大会(ボッチャ大会)	73 点(総重量 14.9252 kg)

鼎自治振興センターでは年間を通して、各地区でもイベントに併せて実施
納涼祭（中平・上山）

3 ボランティア部会

(1) 絵手紙交流（見守り対象者への年始状作成）

- ①第 1 回絵手紙講習会 7 月 6 日（土） 鼎公民館
鼎中学校 生徒 10 名参加（ボランティアステーションにより募集）
鼎小学校 児童 2 名参加（5・6 年生対象にチラシにより募集）
- ②第 2 回絵手紙講習会 10 月 12 日（土） 鼎公民館
鼎中・鼎小学校とも参加無、健康福祉委員他 7 名参加
- ③絵手紙展示及び絵手紙制作ブース設置（ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭）
11 月 2 日（土）、3 日（日） 鼎体育館
①～③で作成した絵手紙を見守り対象者へ年始状として 203 名に送付

(2) 愛の贈り物事業

在宅で家族の介護をされている方々へ、ハンドクリーム・不織布マスクを贈呈
対象 176 世帯

(3) 要支援世帯の把握・見守り訪問活動

- ・地区ごと見守り支援が必要な方を把握して、定期的に訪問活動及び電話で状況確認を実施
 - ・ふれあい支援カードを作成・随時更新、必要に応じて各区及び各区の民生委員と情報共有
- 見守り対象者数：209 人、見守り支援回数：2,470 回

(4) 高齢者外出支援事業

高齢者同士の交流やふれあいの場を作るきっかけづくりとする事業（各地区で実施）

- 7月20日(土) 区納涼祭(下茶屋)
- 9月15日(日) 区敬老会(子供獅子舞、交流会)(名古屋)
- 10月13日(日) 運動会(西鼎)
- 11月9日(土) 日帰り温泉・昼食会(上山)
- 2月16日(日) 日帰り温泉・昼食会(東鼎)

(5) 高齢者との世代間交流事業

核家族化が進み、高齢者と子ども達との交流の場が減少するなか、世代間の交流を深める事業(各地区で実施)

- 7月27日(土) セタ短冊づくり、茶話会(西鼎)
- 10月13日(日) 運動会(西鼎)
- 12月8日(日) おやす作り(名古屋)
- 12月21日(土) クリスマス会(上山)
- 12月22日(日) おやす作り(中平)
- 1月12日(日) 囲碁ボール(東鼎)

4 介護予防教室部会

(1) 介護予防教室「かなえる会」の開催

上山区民センターにて月2回の頻度で運動と脳トレ(コグニサイズ等)を実施 利用者18名

(2) 運営及びボランティアサポーターの募集

サポーター13名で運営

飯田市社会福祉協議会と鼎地域包括支援センターが連携し、フレイル予防サポーター養成講座を鼎地区で実施し、鼎地区民生児童委員協議会、地区内組合回覧等で募集周知を実施

- 7月30日 第1回フレイル予防サポーターフォロー講座
- 2月14日 通所B事業代表者会議。第2回フレイル予防サポーターフォロー講座

5 各機関との連携、会議等への参加

- 5月22日(水) 第1回地域福祉活動推進会議
- 5月22日(水) 第1回地域ケア会議
- 7月2日(火) 第1回地域福祉課題検討会議
- 9月3日(火) 第2回地域福祉課題検討会議
- 12月3日(火) 第3回地域福祉課題検討会議
- 12月7日(土) 飯田市社会福祉大会
- 2月4日(火) 第4回地域福祉課題検討会議
- 2月18日(火) 第2回地域福祉活動推進会議

6 委員会定例会の開催

- 4月23日(火)、6月20日(木)、7月25日(木)、8月22日(木)、9月26日(木)、
- 10月24日(木)、11月20日(水)、12月19日(木)、1月22日(水)、2月19日(水)、
- 3月14日(金)

※4月、10月、3月の定例会は正副支部長参加、他の月は支部長のみ

【成果】

- ・「ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭」の絵手紙制作ブースでは、多くの皆さんにご協力いただき、見守り対象者へ年始状を送ることができた。
- ・コロナ禍のためしばらく開催していなかった、任期1年目の健康福祉委員への学習会にて、「傾聴」に関する講演を行い、多くの委員に参加していただき、勉強になったとの意見をいただいた。
- ・各支部で、健康づくり教室やいきいき教室等を実施したことにより、健康づくりへの意識の向上と高齢者の認知症・寝たきりなどを予防する取り組みができた。
- ・各種イベントでフードドライブを実施し、多くの皆さんにその取り組みに理解をいただき、協力をいただけることができた。

【課題等】

- ・ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭のチラシの広告料につき、委員が企業を訪問し集金をしているが、委員、企業とも負担感が増しており、広告料及びチラシ印刷について検討が必要。
- ・模擬店会場は健康福祉委員が設営・片付けを主担当としているが、壮年団、消防団の協力をいただいて何とか行えている。テント等重いものの運搬、設営であり、委員の高齢化により負担を感じており、ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭への健康福祉委員会としての関わり方について検討が必要。
- ・いきいき教室・鼎の公開講座につき、講座には来るが、会員となり定着する者が少ない。
- ・介護予防教室「かなえる会」ボランティアスタッフの高齢化に伴う後継者の育成・募集



東 鼎 ふれあいサロン



絵手紙制作風景

環境衛生委員会（令和6年度事業報告）

<基本方針>

誰もが安心、安全に暮らすことができる住みよいまちづくりを目指します。また、美しい自然環境と地域発展の調和を図り、快適な暮らしができる景観づくりと地球温暖化による環境問題に配慮した持続可能な地域づくりに取り組みます。

<事業の目標>

- ごみの減量化を進め公害のない美しい地域環境づくりに取り組みます。
- 環境美化と省エネルギーの推進で人と環境に優しいまちづくりを進めます。

1 通年事業

(1) ごみ集積所の清掃・管理

- ・ごみの分別に関するラミネート看板交付及び設置：名古屋区 17 枚
- ・集積所看板交付及び設置：下茶屋区 2 枚、中平区 5 枚、一色区 1 枚
- ・集積所移転申請：下山区 1 件、切石区 1 件、一色区 1 件

(2) リサイクルステーションの開催（ガラス瓶・ペットボトル・アルミ缶の回収）

(3) アルミ缶回収事業（各地区公民館・リサイクルステーション）

- ・回収したアルミ缶を鼎公民館まで運搬
- ・3月3日 鼎小中学校へ収益金の寄付として図書カードの贈呈

(4) 不法投棄パトロール

- ・不法投棄多発箇所への「ポイ捨て防止のぼり旗」の設置及び交換

【成果】

- ・集積所の場所や収集日が分かりやすくなり利用しやすくなった。
- ・歩行者やドライバーへポイ捨て防止の呼びかけができ、ごみの減少に繋がった。

【課題等】

- ・集積所看板やポイ捨て防止のぼり旗は劣化したものが多いため、引き続き定期的な点検と交換が必要である。
- ・回収したアルミ缶を自家用車に乗せて鼎公民館まで運搬するのが役員の負担であり、業者に各地区公民館への回収を依頼できないか検討した。しかし、地区によって収集量や収集方法が異なることや、地区ごとの袋数の管理が課題となり委託は困難であった。他の方法を来年度も引き続き検討していく。

2 環境美化活動

(1) 春のごみゼロ運動 5月26日実施（西鼎区のみ5月5日実施）

- ・内容：ごみ拾い、河川清掃等
- ・参加人数：2,275人（大人2,133人、子ども142人）

(2) 全市一斉水辺等美化活動 6月16日実施（名古屋区のみ6月30日実施）

- ・内容：河川敷草刈り、河川清掃、ごみ拾い等
- ・参加人数：2,104人（うち一級河川従事者23人）

(3) 秋のごみゼロ運動 11月10日実施

- ・内容：ごみ拾い、河川清掃等
- ・参加人数：2,081人（大人1,966人、子ども115人）

(4) 年末年始集積所パトロール 1月1日～1月3日

- ・年末年始は業者が休みになり収集は行われないため実施なし。

【課題等】

- ・以前に比べるとごみの量は減ってきているが、特に通学や通勤ルートでコンビニのある所は、畑や道へのポイ捨てが多い箇所がある。
- ・春のごみゼロ運動と鼎小学校資源物回収の日が重なり参加人数が減ってしまったため、別日で実施できるよう小学校と調整が必要である。
- ・秋のごみゼロ運動の際、大量の草や木をボランティア袋に入れる作業は役員の負担となっている。

3 研修事業

(1) 研修視察 7月3日実施

- ・視察場所：前田産業（株）
- ・参加人数：15人

(2) 女性部研修会（婦人団体連絡協議会との合同研修会）

- ・日程調整ができず実施なし。

【成果】

- ・自分たちが出した廃棄物の処理方法が分かり、ごみ減量化への意識を高めることができた。
- ・役員負担軽減の観点から、来年度より研修視察と婦人団体連絡協議会との合同研修会をそれぞれ隔年で実施する。

4 啓発・広報活動

(1) 広報かなえ 90号、91号、92号、93号に「環境衛生」紙面を掲載

(2) 啓発チラシ（組合回覧）の発行

- ・12月18日 「年末年始ごみ収集のお知らせ」
- ・1月8日 「川へのポイ捨てやごみを流す行為はやめてください！」

【課題等】

- ・広報かなえの記事が毎年同じ活動になってしまっているため、工夫が必要である。
- ・ポイ捨て禁止等の組合回覧は、定期的な発行と回覧時期を検討する必要がある。

5 その他

(1) 水質検査あっせん

- ・募集期間：8月21日～9月30日（8月21日組合回覧発送）
- ・申込件数：48件

(2) 組成調査の実施

- ・7月3日 研修視察と併せて飯田市最終処分場グリーンバレー千代にて実施

(3) ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭にてパネル展示及びウォークラリークイズの出題

(4) 環境衛生担当委員会連絡会出席（委員長）

- ・第1回：4月30日、第2回：10月24日、第3回：2月4日

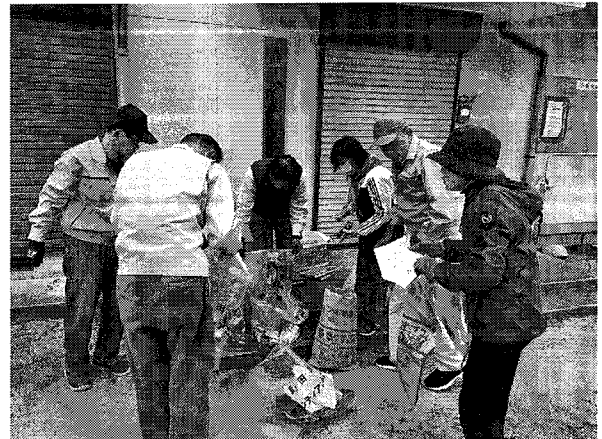
(5) 環境衛生事務担当者会議出席（事務局）4月19日

【成果】

- ・文化祭にて今回初めてウォークラリークイズを出題したことにより、足を止めて見てくれる方が増えた。



ごみの組成調査



ごみゼロ運動



リサイクルステーション



水辺の美化活動

公民館・教育文化委員会（令和6年度事業報告）

I 県公民館の本館を中心とした事業

1 活動目標

- (1) 様々な地域の課題に対応できる「学習の場」を設定するとともに住民の生涯にわたる学習や学習グループの支援充実を図ります。
- (2) 他地区公民館との交流・情報交換を図ります。
- (3) 飯田市公民館事業に積極的参加を図ります。

2 事業報告

(1) 学級講座の開催、支援

①乳幼児学級 父親学級

- ・0歳児学級「さくらんぼ学級」下半期から実施
- ・1歳児学級「りんご学級」(4～7月生)、「みかん学級」(8～10月生)、「いちご学級」(11～3月生)を対象にそれぞれ開催
- ・2歳児学級「たんぽぽ学級」
- ・3歳児学級「つくし学級」
- ・父親学級 2・3歳児学級の父親を対象に4回開催

②かなえっこどきどきスクール

- ・参加児童29名、スタッフ(保護者・県壮年団)30名
- ・テーマ「防災」
- ・内容:防災講座、段ボールベッド工作、防災食調理、ペットボトル工作、地震体験車など

③地育力向上講座ふるさと再発見「ずんずんず～ん隊」

- ・第1回(5/25) 田植えと泥あそび(講師:夢かなえ隊 緒方さん) 参加者20名
- ・第2回(6/30) 大豆種まき(講師:下農高校3年生3名、協力:一色分館)参加者9名
- ・第3回(9/28) 稲刈り(講師:夢かなえ隊 緒方さん、村澤さん) 参加者8名
- ・第4回(11/24) 大豆収穫(講師:下農高校3年生3名) 参加者18名
- ・第5回(12/8) 大豆調理(カレー作り)(講師:下農高校3年生3名) 参加者9名

④華甲大学(高齢者学級)

- ・第1回(5/16) 開講式、「脳若返り～笑った数だけ寿命が延びる～」講師:宮下泰広さん
- ・第2回(6/13) 「マイナンバーカードと健康保険証」講師:飯田市 デジタル推進課
- ・第3回(7/18) 「童謡・唱歌・懐メロとリミック体操」講師:寺澤善周さん、宮嶋加津子さん
- ・第4回(8/22) 「リニア中央新幹線が走るまち～未来のまちを考える～」
講師:飯田市 リニア推進課
- ・第5回(9/19) 「高齢者の防災～いざという時のために今出来ること～」
講師:飯田市 危機管理課
- ・第6回(10/11) 華甲大学一日研修
行き先:名古屋市港防災センター、徳川美術館、中部電力 MIRAI TOWER
- ・第7回(11/21) 「今日から始める低栄養予防」講師:飯田市 保健課 栄養士
- ・第8回(12/12) 「飯田の酒造りはこうして始まった」講師:喜久水酒造 後藤高一社長
- ・第9回(1/16日) 閉講式、「からだイキイキ体操」講師:健康運動指導士 小林新一さん

⑤地域人教育 等

- ・4月12日～1月10日(毎週金曜日:年間28回)
- ・県地区の農家でぶどう栽培について学び、ポルカとコラボして、ぶどうを生かしたゼリーの商品開発を行った。

⑥県図書館共催講座 県ナゾとき探偵団

参加者:生徒4名、地区住民2名

調査テーマ(県のナゾ)「鞍骨古墳には誰が埋葬されているのか」

「県はいつから10地区になったのか」

- ・第1回 7/24(水) 結団式、調査テーマ(ナゾ)の選定
- ・第2回 7/31(水) 資料調査
- ・第3回 10/12(土) 現地調査
講師：宮澤道夫さん(矢高神社神主)、斎藤憲さん(鼎歴史を学ぶ会)
- ・第4回 10/26(土) まとめ会
調査内容を模造紙にまとめ、ふれあい広場文化祭にて展示
- (2) 小学校・中学校・保育園・幼稚園との連携事業
 - ①コミュニティスクール活動
 - ②ジュニアボランティアステーションの推進
・ボランティア募集件数 80 件、参加人数(延べ)173 人(1 月末日現在)
 - ③鼎小中 P T A 公民館合同講演会 9 月 12 日(木)
講師：関根摩耶氏 「私にとってのアイヌ」
 - ④鼎の子どもを語る会 1 月 30 日(木)開催
話題提供：田中秀佳さん(中平)、森貴さん(一色)、鼎中学校 北原校長
4 グループに分かれて意見交換会
- (3) 令和 6 年度鼎地区二十歳の集い 1 月 12 日(日)
実行委員 6 名+R5、R4 実行委員が協力
出席者：二十歳 95 名、来賓 28 名、恩師 3 名、ご家族 64 名 計 190 名
内容：祝演「茶屋町太鼓鼎」、恩師からのメッセージムービー、地域学習成果発表
- (4) ふるさと鼎コマーシャル制作 *R7 年度完成発表予定
 - ・テーマ「鼎小学校校歌」
 - ・ふるさと鼎コマーシャル制作委員会(6 月～3 月で 6 回実施)
 - ・学習会の開催(第 3 回制作委員会で開催)
「鼎小学校校歌を読み解く」 講師：吉川 豊 氏(中平)
- (5) ブロック公民館事業
B ブロック交流スポーツ大会 11 月 24 日(日)
種目：モルック 体育委員会、スポーツ推進委員から 6 名参加
- (6) 飯田市公民館事業への参加
 - ①飯田市コーラスグループ発表会 7 月 14 日(日)
鼎地区からは「鼎コーラス」が参加
 - ②第 43 回飯田市女性バレーボール大会 11 月 10 日(日)
鼎地区内で合同チームを作り出場、リーグ戦の勝数・得点率で優勝
 - ③飯田市公民館大会 2 月 16 日(日)

【成果】

- ・乳幼児学級については、コロナ禍を経て学級参加者が従来通りとなり、たくさんの親子がつながり楽しいひと時を一緒にしながら、子育ての悩みや情報を共有することができた。
- ・華甲大学は例年同様、多数の登録者があり、テーマによって増減はあるが、多くの方に参加していただいていた。
- ・小中学校との連携事業では、「鼎の子どもは鼎で育てる」を形にできるよう、事業を行った。鼎の子どもを語る会では、令和 7 年度から始まる学園構想や中学校の部活動地域移行を見据えながら、意見交換できた。
- ・二十歳の集いでは実行委員の主体性を大切にしながら、今までを振り返り感謝の気持ちを持てる式典となった。

【課題等】

- ・鼎ナゾとき探偵団については、中学生が探求的に地域を学べる機会として中学校からも呼びかけを行ってもらったが、部活動との調整もあり集まりづらい回もあった。夏休み中に集中的に行う事業とするなど、充実した学びあいができるよう検討したい。
- ・ずんずんず〜ん隊については、夢かなえ隊、下伊那農業高校食品科学科の生徒、一色区など、多様な主体が講座に関わっている。このつながりを生かし、広げられるよう、意識して組み立てをしていきたい。

Ⅱ 分館長主事会を中心とした事業

1 活動目標

- (1) 企画委員会を開催し、公民館活動の企画、事業の推進を図ります。
- (2) 分館活動の情報交換をし、分館活動の向上を図ります。

2 事業報告

(1) 役員総会

- ①新年度総会 4月24日(水)
- ②中間反省会 9月18日(水) 併せて、役員研究集会、鼎功労者表彰を実施
- ③年度末総会 3月7日(金)

(2) 企画委員会

第1回(4/11木)、第2回(9/5木)、第3回(11/27水)、第4回(2/26水)

(3) 役員研究集会

中間反省会に併せて実施

テーマ「あなたの防災準備は大丈夫ですか？」 講師：奥村仁司氏(鼎地区自主防災部長)

(4) 役員研修旅行 令和6年6月23日(日)

大鹿村 大鹿歌舞伎・中央構造線博物館 26名参加

(5) 鼎地区二十歳の集い実行委員会への協力

令和6年度二十歳の集い：令和7年1月12日(日)

【成果】

- ・総会や役員研修旅行、各種会議を通して、分館同士の交流や情報交換を行った。コロナ禍の経験を経て、さまざまに工夫が見られる。

【課題等】

- ・引き続き、各事業を通して分館同士の交流や情報交換を促す。
- ・役員研究集会では、次年度も、その時々に必要なテーマを検討し、学習の場を設けていく。

Ⅲ 文化委員会事業

1 活動目標

- (1) 地域文化を継承すると共に発掘、創造を図る。
- (2) 常に地域の関心を集める文化事業を展開し、地域文化の向上発展を図ると共に地域住民の交流・親睦を深め、活力ある地域づくりを推進する。
- (3) 各種事業を通じ、まちづくり委員会・各種団体との連携を深める。

2 事業報告

(1) ふるさと再発見ワンデーマーチ 5月3日(金・祝)

- ・約500名が参加

(2) いいだ人形劇フェスタ2024 8月1日(木)～8月4日(日)

- ・鼎地区公演 10会場 14劇団が公演 総観客数1,240名

(3) ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭 11月2日(土)～3日(日)

- ・来場者数 3,000名
- ・1日目雨天のため、出店者と協議し、模擬店を中止。また、風越高校書道パフォーマンス、太鼓祭りを屋内で実施
- ・2日目は強風ではあったものの、予定通り開催

(4) 鼎地区二十歳の集い、二十歳の集い実行委員会への協力 1月12日(日)

(5) ふるさと学習、分館事業などへの協力

(6) ふるさと鼎コマーシャル制作への協力

(7) その他

【成果】

- ・文化事業については、ワンデーマーチでは多くの地区住民に参加いただき、地区を歩き、地区

について学ぶ機会を設けることができた。

- ・ふれあい広場文化祭については、悪天候にも関わらず多くの方に参加いただいた。来年度も多くの地区の方楽しんでいただけるよう2日間の開催をしていきたい。

【課題等】

- ・人形劇フェスタ地区公演では各分館の工夫を凝らした企画や装飾が見られた。またオリジナル企画として茶屋町太鼓鼎とのコラボレーションも行われた。一方で、熱中症対策が例年以上に課題となっており、各分館で行われる良さを残しながら、冷房機器の借り上げ補助など、本館としてできる対策を検討していく必要がある。
- ・文化祭については、荒天時の判断について課題があった。また、ウォークラリーについても、より多くの方に展示を楽しんでいただけるよう工夫していきたい。毎年のやり方にこだわらず、委員会の中でやりたいことを取り入れながら、さらに楽しい文化祭となるよう検討していきたい。

IV 体育委員会事業

1 活動目標

- (1) 各種大会を計画・実施することを通じ、地域住民の交流・親睦を推進し、スポーツをとおして、元気な地域づくりを推進します。
- (2) 気軽にできるスポーツの普及と定着の推進を図ります。
- (3) 上記実現のために体育関係団体、スポーツ推進委員との連絡・協調を図ります。

2 事業報告

- (1) 鼎地区体育祭（ペタンク大会） 6月2日（日）
 - ・雨天のため中止 参加予定チーム：70チーム
- (2) ニュースポーツ講習会 8月23日（金）
 - ・種目：室内モルック 参加者：15名
- (3) 第36回鼎地区縦断駅伝大会 9月8日（日）
 - ・参加チーム数：15チーム（分館9、一般4、小学生2） 選手参加120名
- (4) 第37回鼎公民館長杯冬季スポーツ大会（ボッチャ） 2月2日（日）
 - ・62チーム（各分館6チーム＋身障協2チーム）
 - 324名参加（運営、高校生ボランティア含む）
- (5) その他
 - ①ふるさと再発見ワンデーマーチへの協力
 - ②ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭への参加（モルック体験）
 - ③飯田市女性バレーボール大会参加支援

【成果】

- ・ニュースポーツ講習会について、参加者数は少なかったものの、モルックを紹介したことで分館での大会につながった。文化祭でも体験コーナーを実施し、今後地区内での普及が見込まれる。
- ・ペタンク大会、駅伝大会では写真付きマニュアルの作成を進め、今年度活かすことができた。今年度の課題についても反映し、次年度マニュアルのブラッシュアップを図りたい。

【課題等】

- ・駅伝大会では、15チームが参加し、生活安全委員会や各分館の協力のもと開催することができた。コース運営について反省点も出ていることから、体育委員会で検討し、安全で地区住民の交流が図られる大会としていきたい。

V 広報委員会事業

1 活動目標

- (1) 公民館活動報告と共に地域の現状や課題を提起し、住民の皆さんが「鼎」により深く関心をもってもらえるように努めます。

- (2) 広報鼎の編集委員会と連携し、館報かなえを発行します。
- (3) 紙面に工夫を凝らし、読みやすく親しみやすい館報作りを心がけます。

2 事業報告

(1) 館報かなえの発行

- ①回数 年4回広報鼎に合わせる
- ②仕様 A4版 4頁(カラーページ含む)
- ③印刷部数 広報鼎に合わせる
- ④配布 広報鼎と合冊とし、組合回覧での配布とします
 - ・6月号(427号)発行日 6月26日(水)
新役員紹介、ワンデーマーチ、新任主事紹介、かなえびと、かなえっ子など
 - ・9月号(428号)発行日 10月2日(水)
かなえっこどっきどきスクール、夏祭り特集、人形劇フェスタ、鼎婦人会の解散、かなえびと、かなえっ子など
 - ・12月号(429号)発行日 12月25日(水)
ナゾとき探偵団現地学習、ふれあい文化祭、景観写真コンテスト、親子料理教室、華甲大学研修旅行、かなえびと、かなえっ子など
 - ・3月号(430号)発行日 3月26日(水)
二十歳の集い、飯田市女性バレーボール大会、冬季スポーツ大会、かなえびと、かなえっ子など

(2) 各種行事の記録(写真撮影)

(3) 委員研修の実施

- ・長野県公民館報研修会 6月22日(土) 松本市松南公民館 5名参加

(4) ふるさと鼎コマーシャル制作への協力

【成果】

- ・館報かなえについては本館事業について取り上げるだけでなく、鼎婦人会の解散、飯田市女性バレーボール大会優勝など、地域の特徴的な出来事・課題についても取り上げた。
- ・かなえびと、かなえっ子など、地域の「ひと」にフォーカスが当たる連載を続けている。

【課題等】

- ・公民館報作成や、各種研修を通して、より良い公民館報づくりにつなげていく。
- ・分館報について振り返りを行い、分館の広報活動の活性化を促していく。

VI 明るい選挙事業

1 活動目標

- (1) 飯田市明るい選挙推進協議会と連携し、選挙への意識高揚及び投票率の向上を図ります。

2 事業報告

(1) 飯田市明るい選挙啓発活動

- ・通年(ポスター掲示)
- ・1月12日(日)(令和6年度二十歳の集いでの啓発)

(2) 飯田市明るい選挙推進協議会及び学習会

- ・6月4日(火)総会 飯田市役所にて開催

平成7年4月22日 提出

平成7年 月 日 承認

鼎地区まちづくり委員会
会長 奥村 充由

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

	予算額	執行額	差引額
収入額	41,515,000	42,582,791	1,067,791
支出額	41,515,000	31,772,031	9,742,969
差引収支額	0	10,810,760	10,810,760

(単位:円)

項 目	予算額 (a)	収入済額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
収入の部				
1 上部団体交付金	784,000	811,980	△ 27,980	
2 共同募金配分金	658,000	640,100	17,900	共同募金配分金
3 社会を明るくする運動配分金	86,000	95,080	△ 9,080	愛のはがき募金配分金
4 補助金	40,000	76,800	△ 36,800	排水路水門管理補助金、婚活事業補助金
2 その他収入	1,760,435	3,329,193	△ 1,568,758	
1 交通安全事業所会費	175,000	178,700	△ 3,700	交通安全事業所会費
2 公民館学級・講座受講料	165,000	151,010	13,990	学級・講座受講料
3 環境衛生アルミ缶売上収入	300,000	836,600	△ 536,600	アルミ缶売上収入
4 財産収入	317,000	317,000	0	財産区交付金
5 雑収入	90,435	1,026,352	△ 935,917	交通災害共済加入報償金、預金利息他
6 ふれあい広場事業収入	400,000	416,000	△ 16,000	ふれあい広場事業収入
7 小さな善意運動募金収入	3,000	3,531	△ 531	小さな善意運動募金
8 寄付金	310,000	400,000	△ 90,000	再生可能エネルギー事業寄付金
3 市交付金A	10,881,108	10,891,108	△ 10,000	
1 交付金A	10,881,108	10,891,108	△ 10,000	飯田市ハワーアップ地域交付金・20地区応援寄附交付金
4 市交付金B	5,602,000	5,464,013	137,987	事業交付金・補助金
1 防犯灯管理事業交付金	781,000	779,210	1,790	市危機管理課より
2 保健推進活動交付金	201,000	201,800	△ 800	市保健課より
3 リサイクルステーション管理交付金	220,000	220,000	0	市環境課より
4 集積所管理交付金	640,000	660,833	△ 20,833	市環境課より
5 環境美化活動補助金	10,000	0	10,000	市環境課より
6 河川清掃補助金	48,000	52,470	△ 4,470	市環境課より
8 社協活動交付金	692,000	692,800	△ 800	飯田市社協より
9 文書配付事業交付金	2,900,000	2,806,400	93,600	市総務文書課より
10 自治活動組織加入促進事業補助金	110,000	50,500	59,500	市地域自治振興課より
5 まちづくり委員会会費	11,555,000	11,454,040	100,960	
1 まちづくり委員会会費	11,555,000	11,454,040	100,960	会費3,162戸、個人協力費、事業所協力費
6 繰入金	300,000	0	300,000	
1 繰入金	300,000	0	300,000	LED防犯灯更新基金繰入金
7 繰越金	10,632,457	10,632,457	0	
1 繰越金	10,632,457	10,632,457	0	前年度繰越金
収入額合計	41,515,000	42,582,791	△ 1,067,791	

(単位:円)

項 目	予算額 (a)	支出済額 (b)	予算残額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
支出の部				
1 交付金事業費	17,615,000	15,574,906	2,040,094	市交付金関係事業費
1 事務関係費	950,000	814,930	135,070	
1 事務職員手当	600,000	549,000	51,000	雇用職員賃金
2 事務機器賃借料	24,000	24,420	△ 420	委員会事務使用機器
3 事務消耗品費	180,000	182,333	△ 2,333	委員会事務用消耗品
4 事務燃料費	80,000	59,177	20,823	委員会事務用灯油・ガソリン
5 事務印刷製本費	66,000	0	66,000	ゼロックス使用料
2 事業関係費	14,315,000	13,151,586	1,163,414	
1 報償費	3,223,000	2,853,847	369,153	文書配付委員費用弁償、講師謝礼等
2 消耗品費	643,000	624,255	18,745	事業消耗品
3 燃料費	80,000	0	80,000	事業燃料費
4 印刷製本費	1,630,000	1,223,910	406,090	広報かなえ等印刷費
5 修繕料	1,310,000	899,580	410,420	防犯灯・交通安全施設等
6 通信運搬費	186,000	123,849	62,151	切手・はがき等
7 保険料	550,000	574,810	△ 24,810	自治活動傷害保険料
8 使用料・賃借料	350,000	515,680	△ 165,680	施設使用料・事業機器リース等
9 施設費	50,000	47,150	2,850	生活安全施設等
10 被服費	185,000	242,902	△ 57,902	制服・帽子・腕章・タスキ等
11 負担金・補助・交付金	6,107,000	6,044,203	62,797	支部・団体等交付金、自治活動交付金
12 租税公課	1,000	1,400	△ 400	収入印紙
3 パワーアップ事業費	2,350,000	1,608,390	741,610	
1 パワーアップ事業費	2,350,000	1,608,390	741,610	
1 パワーアップ事業費	2,200,000	1,501,730	698,270	パワーアップ事業費
2 パトロール隊助成金	150,000	106,660	43,340	子どもを守るパトロール

項 目	予算額 (a)	支出済額 (b)	予算残額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
2 一般事業費	20,570,000	15,890,225	4,679,775	会費等収入関係事業費
1 他団体関係費	873,000	607,694	265,306	
1 会費納入金	483,000	472,650	10,350	市社協会費等
3 交際費	390,000	135,044	254,956	交際費・他団体連絡費
2 総務費	6,509,000	6,213,931	295,069	
1 役員費用弁償額	4,630,000	4,600,000	30,000	役員費用弁償
2 監査委員手当	40,000	40,000	0	監査委員手当
3 事業費用弁償額	275,000	248,440	26,560	事業に係る費用負担
4 諸手当	500,000	506,000	△ 6,000	役員費用弁償以外の委員等手当
6 研修費	1,000,000	796,491	203,509	研修関係費
7 弔慰見舞金	64,000	23,000	41,000	弔慰金・見舞金
3 運営費	2,639,000	1,460,531	1,178,469	
1 表彰費	100,000	60,297	39,703	文書筆耕・記念品
2 需用費	605,000	336,018	268,982	運営関係費等
3 会議費	910,000	633,981	276,019	各種会議関係費等
5 事業消耗品費	500,000	139,691	360,309	事業関係消耗品
6 事業印刷製本費	45,000	24,033	20,967	会費納付書印刷、事業印刷等
7 修繕料	50,000	0	50,000	各種機器修繕等
8 手数料	41,000	20,333	20,667	振込手数料、各種手数料
9 備品購入費	188,000	159,830	28,170	プロジェクター更新
10 保守委託料	200,000	86,348	113,652	システム保守
4 事業費	10,244,000	6,594,506	3,649,494	
1 地域づくり事業費	7,628,000	3,833,019	3,794,981	イベント等別事業予算
1 地域振興事業費	3,950,000	1,409,912	2,540,088	懇談会、財産区、りんご、結婚相談
2 広報事業費	300,000	5,700	294,300	ホームページ作成
3 再エネ活用事業	310,000	190,848	119,152	防災用トランシーバー購入、講演会経費
10 人形劇フェスタ事業費	80,000	14,143	65,857	公民館 公演会場運営経費他
11 文化祭事業費	400,000	286,664	113,336	公民館 消耗品・参加景品他
13 各種文化事業費	85,000	0	85,000	公民館 講座、小中PTA合同講演会
14 夏季体育祭事業費	60,000	42,262	17,738	公民館 大会消耗品、審判飲物代他
15 縦断駅伝大会事業費	180,000	160,451	19,549	公民館 大会消耗品、入賞メダル他
16 冬季スポーツ大会事業費	70,000	61,945	8,055	公民館 大会用具、参加景品
17 みなみ信州駅伝事業費	18,000	0	18,000	公民館 参加登録費、参加運営費
18 各種体育事業費	80,000	15,863	64,137	公民館 女性バレーボール大会他
19 ブロック合同事業費	20,000	0	20,000	公民館 役員研修会他
21 学級・講座事業費	565,000	475,562	89,438	公民館 講師謝礼、講座消耗品他
22 市民セミナー事業費	30,000	0	30,000	公民館 消耗品
24 ふれあい広場事業費	400,000	416,000	△ 16,000	ふるさと県ふれあい広場・文化祭事
25 ワンデーマーチ事業費	180,000	154,976	25,024	公民館 消耗品、参加賞作成他
26 三事業費	700,000	559,324	140,676	体験学習・居場所づくり・世代間交流
27 全体事業費	200,000	39,369	160,631	子どもを育む委員会主催事業費
2 部会費	885,000	648,926	236,074	部会・委員会別事業予算
3 生活安全女性部会費	20,000	0	20,000	生活安全女性部会費
5 分館長主事会費	150,000	0	150,000	公民館分館長主事会活動費、研修会費
6 文化委員会費	130,000	131,850	△ 1,850	公民館文化委員会費活動費、研修会費
7 体育委員会費	130,000	192,600	△ 62,600	公民館体育委員会費活動費、研修会費
8 広報委員会費	130,000	60,000	70,000	公民館広報委員会費活動費、研修会費
9 総務運営部会費	50,000	37,407	12,593	健康福祉 部会活動費
10 地域健康福祉部会費	25,000	16,909	8,091	健康福祉 部会活動費
11 ボランティア部会費	250,000	210,160	39,840	健康福祉 部会活動費
3 交付金・補助金・助成金	761,000	553,553	207,447	団体等交付金・補助金・助成金
1 公園愛護事業交付金	153,000	151,210	1,790	妙琴公園、矢高中央公園
2 児童館事業助成金	56,000	55,220	780	県児童センター・クラブ
3 老人憩いの家事業助成金	31,000	30,220	780	老人憩いの家事業助成金
4 獅子祭り助成金	51,000	50,880	120	獅子祭り助成金
5 各種団体補助金	120,000	100,000	20,000	各種団体補助
6 高齢者事業補助金	350,000	166,023	183,977	見守り支援、高齢者支援
4 事業負担金	670,000	722,408	△ 52,408	団体等事業負担金
1 二十歳の集い実行委員会負担金	350,000	430,370	△ 80,370	県地区二十歳の集い実行委員会負担金
2 自主防災事業負担金	320,000	292,038	27,962	無線クラブ・日赤・自主防災会負担金
5 アルミ缶回収事業	300,000	836,600	△ 536,600	環境衛生委員会事業
1 各区(支部)交付金	300,000	736,600	△ 436,600	各区(支部)交付金
2 寄付金	0	100,000	△ 100,000	売上の一部を県小中学校へ寄付
5 操出金	305,000	1,013,563	△ 708,563	
1 基金繰出金	305,000	1,013,563	△ 708,563	再エネ特別会計・貸出特別基金操出金ほか
3 予備費	3,330,000	306,900	3,023,100	
1 予備費	3,330,000	306,900	3,023,100	防災用トランシーバー購入
支出額合計	41,515,000	31,772,031	9,742,969	

平成7年4月22日 提出
平成7年 月 日 承認

県地区まちづくり委員会
会長 奥村 充由

令和6年度 鼎地区まちづくり委員会会計 決算報告
【区長委員長会】

項 目	予算額	収入済額	差引額	説 明
款 項 目 節	(a)	(b)	(a-b)	
収入の部				
2 その他収入	89,435	215,552	△ 126,117	
5 雑収入	89,435	215,552	△ 126,117	リソグラフ印刷代、預金利息
3 市交付金A	6,945,108	6,955,108	△ 10,000	
1 交付金A	6,945,108	6,955,108	△ 10,000	飯田市パワーアップ地域交付金・20地区応援寄附交付金
5 まちづくり委員会会費	4,665,000	4,564,040	100,960	
1 まちづくり委員会会費	4,665,000	4,564,040	100,960	会費配分
7 繰越金	2,121,249	2,121,249	0	
1 繰越金	2,121,249	2,121,249	0	
収入額合計	13,820,792	13,855,949	△ 35,157	

項 目	予算額	支出済額	予算残額	説 明
款 項 目 節	(a)	(b)	(a-b)	
支出の部				
1 交付金事業費	7,729,000	6,912,320	816,680	市交付金関係事業費
1 事務関係費	950,000	814,930	135,070	
1 事務職員手当	600,000	549,000	51,000	雇用職員賃金
2 事務機器賃借料	24,000	24,420	△ 420	委員会事務使用機器(センター関係)
3 事務消耗品費	180,000	182,333	△ 2,333	委員会事務用消耗品(センター関係)
4 事務燃料費	80,000	59,177	20,823	委員会事務用灯油・ガソリン
5 事務印刷製本費	66,000	0	66,000	ゼロックス使用料(センター関係)
2 事業関係費	4,579,000	4,595,660	△ 16,660	
6 通信運搬費	10,000	4,110	5,890	切手・はがき等
7 保険料	550,000	574,810	△ 24,810	自治活動保険料
11 負担金・補助・交付金	4,019,000	4,016,740	2,260	支部交付金(公民館分館助成金ほか)
3 パワーアップ事業費	2,200,000	1,501,730	698,270	
1 パワーアップ事業費	2,200,000	1,501,730	698,270	
1 パワーアップ事業費	2,200,000	1,501,730	698,270	鼎地区パワーアップ事業費
2 一般事業費	5,834,000	5,419,054	414,946	会費等収入関係事業費
1 他団体関係費	250,000	99,000	151,000	
3 交際費	250,000	99,000	151,000	交際費・他団体連絡費
2 総務費	4,810,000	4,763,000	47,000	
1 役員費用弁償額	4,630,000	4,600,000	30,000	役員費用弁償
2 監査委員手当	40,000	40,000	0	監査委員手当
6 研修費	100,000	100,000	0	役員研修関係費
7 弔慰見舞金	40,000	23,000	17,000	弔慰金・見舞金
3 運営費	773,000	557,054	215,946	
1 表彰費	70,000	60,297	9,703	文書筆耕・記念品
2 需用費	250,000	194,819	55,181	運営関係費等
3 会議費	50,000	39,568	10,432	四役会、区長会、区長・委員長会ほか
5 事業消耗品費	150,000	72,787	77,213	リソグラフ、情報関係費等
6 事業印刷製本費	45,000	24,033	20,967	会費納付書印刷
7 修繕料	50,000	0	50,000	各種機器修繕等
8 手数料	20,000	5,720	14,280	振込手数料、各種手数料
9 備品購入費	138,000	159,830	△ 21,830	プロジェクター更新
5 繰出金	1,000	0	1,000	
1 基金繰出金	1,000	0	1,000	財政調整基金等繰出金
3 予備費	257,792	0	257,792	
1 予備費	257,792	0	257,792	
支出額合計	13,820,792	12,331,374	1,489,418	

収支差引(繰越額)	—	1,524,575	—
-----------	---	-----------	---

令和6年度 鼎地区まちづくり委員会会計 決算報告
【地域振興部会】

項 目	予算額	収入済額	差引額	説 明
款 項 目 節	(a)	(b)	(a-b)	
収入の部				
1 上部団体交付金	40,000	76,800	△ 36,800	
4 補助金	40,000	76,800	△ 36,800	婚活事業補助金、排水路水門管理補助金
2 その他収入	627,000	1,517,000	△ 890,000	
4 財産収入	317,000	317,000	0	財産区事業交付金
5 雑収入	0	800,000	△ 800,000	東山区貸付金返還金
8 寄付金	310,000	400,000	△ 90,000	再生可能エネルギー寄付金
3 市交付金A	1,957,000	1,957,000	0	
1 交付金A	1,957,000	1,957,000	0	飯田市パワーアップ地域交付金・20地区応援寄附交付金
4 市交付金B	3,010,000	2,856,900	153,100	事業交付金・補助金
9 文書配付事業交付金	2,900,000	2,806,400	93,600	飯田市文書配付事業交付金
10 自治活動組織加入促進事業補助金	110,000	50,500	59,500	市自治活動組織加入促進事業補助金
5 まちづくり委員会会費	2,450,000	2,450,000	0	
1 まちづくり委員会会費	2,450,000	2,450,000	0	会費配分
7 繰越金	3,985,552	3,985,552	0	
1 繰越金	3,985,552	3,985,552	0	前年度繰越金
収入額合計	12,069,552	12,843,252	△ 773,700	

項 目	予算額	支出済額	予算残額	説 明
款 項 目 節	(a)	(b)	(a-b)	
支出の部				
1 交付金事業費	5,105,000	4,246,270	858,730	市交付金関係事業費
2 事業関係費	5,105,000	4,246,270	858,730	
1 報償費	3,050,000	2,724,500	325,500	文書配付委員費用弁償
2 消耗品費	150,000	181,893	△ 31,893	事業消耗品
3 燃料費	80,000	0	80,000	会議室灯油代、ガソリン代
4 印刷製本費	1,600,000	1,193,910	406,090	広報かなえほか
6 通信運搬費	120,000	89,777	30,223	文書配達員携帯電話代、切手、インターネット通信
11 負担金・補助・交付金	104,000	54,790	49,210	市自治活動組織加入促進事業補助金
12 租税公課	1,000	1,400	△ 400	契約用収入印紙代
2 一般事業費	6,237,000	4,010,099	2,226,901	会費等収入関係事業費
1 他団体関係費	60,000	0	60,000	
3 交際費	60,000	0	60,000	交際費・他団体連絡費
2 総務費	305,000	330,940	△ 25,940	
3 事業費用弁償額	5,000	0	5,000	車借り上げ料
6 研修費	300,000	330,940	△ 30,940	研修関係費
3 運営費	550,000	333,099	216,901	
2 需用費	250,000	141,199	108,801	運営関係費等
3 会議費	100,000	105,552	△ 5,552	総務文教部会・建設部会・産業経済部会ほか
10 保守委託料	200,000	86,348	113,652	HPシステム保守
4 事業費	5,321,000	2,336,028	2,984,972	
1 地域づくり事業費	4,560,000	1,606,460	2,953,540	イベント等事業予算
1 地域振興事業費	3,950,000	1,409,912	2,540,088	懇談会、財産区、りんごん、婚活事業ほか
2 広報事業費	300,000	5,700	294,300	ホームページ業務委託、各種啓発事業
3 再エネ活用事業	310,000	190,848	119,152	防災用トランシーバー購入、講演会経費
3 交付金・補助金・助成金	291,000	287,530	3,470	団体等交付金・補助金・助成金
1 公園愛護事業交付金	153,000	151,210	1,790	妙琴公園・矢高中央公園・かなえ中央公園
2 児童館事業助成金	56,000	55,220	780	鼎児童センター・クラブ
3 老人憩いの家事業助成金	31,000	30,220	780	老人憩いの家
4 獅子祭り助成金	51,000	50,880	120	鼎郷土芸能団体連合会
4 事業負担金	470,000	442,038	27,962	団体等事業負担金
1 二十歳の集い実行委員会負担金	150,000	150,000	0	二十歳の集い実行委員会負担金
2 自主防災事業負担金	320,000	292,038	27,962	無線クラブ・日赤・自主防災会負担金
5 繰出金	1,000	1,010,032	△ 1,009,032	
1 基金繰出金	1,000	1,010,032	△ 1,009,032	再エネ特別会計・貸出特別基金繰出金
3 予備費	727,552	306,900	420,652	
1 予備費	727,552	306,900	420,652	防災用トランシーバー購入
支出額合計	12,069,552	8,563,269	3,506,283	
収支差引(繰越額)	—	4,279,983	—	

令和6年度 県地区まちづくり委員会会計 決算報告
【生活安全委員会】

項 目	予算額 (a)	収入済額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
収入の部				
2 その他収入	175,000	178,700	△ 3,700	
1 交通安全事業所会費	175,000	178,700	△ 3,700	交通災害共済加入募集事務報奨金@50円
3 市交付金A	334,000	334,000	0	
1 交付金A	334,000	334,000	0	飯田市パワーアップ地域交付金
4 市交付金B	781,000	779,210	1,790	事業交付金・補助金
1 防犯灯管理事業交付金	781,000	779,210	1,790	防犯灯472基分
5 まちづくり委員会会費	810,000	810,000	0	
1 まちづくり委員会会費	810,000	810,000	0	会費配分
6 繰入金	300,000	0	300,000	
1 繰入金	300,000	0	300,000	LED防犯灯更新基金から繰入れ
7 繰越金	428,150	428,150	0	
1 繰越金	428,150	428,150	0	前年度繰越金
収入額合計	2,828,150	2,530,060	298,090	

項 目	予算額 (a)	支出済額 (b)	予算残額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
支出の部				
1 交付金事業費	1,585,000	1,258,107	326,893	市交付金関係事業費
2 事業関係費	1,585,000	1,258,107	326,893	
2 消耗品費	50,000	68,475	△ 18,475	事業関係消耗品
5 修繕料	1,300,000	899,580	400,420	防犯灯維持管理・移設等
9 施設費	50,000	47,150	2,850	生活安全施設等
10 被服費	185,000	242,902	△ 57,902	交通安全指導員用制服・帽子等
2 一般事業費	1,118,000	739,740	378,260	会費等収入関係事業費
2 総務費	703,000	684,440	18,560	
3 事業費用弁償額	200,000	178,440	21,560	交通安全指導員用制服クリーニング代
4 諸手当	500,000	506,000	△ 6,000	生活安全委員活動手当、正副女性部長手当
7 弔慰見舞金	3,000	0	3,000	弔慰金・見舞金
3 運営費	95,000	55,300	39,700	
2 需用費	5,000	0	5,000	運営関係費等
3 会議費	90,000	55,300	34,700	支部長会
4 事業費	20,000	0	20,000	
2 部会費	20,000	0	20,000	部会・委員会別事業予算
3 生活安全女性部会費	20,000	0	20,000	女性部会費
5 繰出金	300,000	0	300,000	
1 基金繰出金	300,000	0	300,000	LED防犯灯更新基金積立
3 予備費	125,150	0	125,150	
1 予備費	125,150	0	125,150	
支出額合計	2,828,150	1,997,847	830,303	

収支差引(繰越額)	—	532,213	—
-----------	---	---------	---

令和6年度 県地区まちづくり委員会会計 決算報告
【子どもを育む委員会】

項 目	予算額 (a)	収入済額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
収入の部				
1 上部団体交付金	86,000	95,080	△ 9,080	
3 社会を明るくする運動配分金	86,000	95,080	△ 9,080	愛のはがき募金配分金
3 市交付金A	774,000	774,000	0	
1 交付金A	774,000	774,000	0	飯田市パワーアップ地域交付金
5 まちづくり委員会会費	230,000	230,000	0	
1 まちづくり委員会会費	230,000	230,000	0	会費配分
7 繰越金	1,081,993	1,081,993	0	
1 繰越金	1,081,993	1,081,993	0	前年度繰越金
収入額合計	2,171,993	2,181,073	△ 9,080	

項 目	予算額 (a)	支出済額 (b)	予算残額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
支出の部				
1 交付金事業費	408,000	339,740	68,260	市交付金関係事業費
2 事業関係費	258,000	233,080	24,920	
2 消耗品費	5,000	4,600	400	事務用消耗品
6 通信運搬費	3,000	0	3,000	通信費
11 負担金・補助・交付金	250,000	228,480	21,520	小中学生一人100円、均等割12,500円
3 パワーアップ事業費	150,000	106,660	43,340	
1 パワーアップ事業費	150,000	106,660	43,340	
2 パトロール隊助成金	150,000	106,660	43,340	地区重点パトロール@1,500円
2 一般事業費	1,125,000	686,976	438,024	会費等収入関係事業費
2 総務費	105,000	20,230	84,770	
6 研修費	100,000	20,230	79,770	視察研修費
7 弔慰見舞金	5,000	0	5,000	弔慰金・見舞金
3 運営費	120,000	68,053	51,947	
2 需用費	30,000	0	30,000	視察研修等打ち合わせ運営費
3 会議費	90,000	68,053	21,947	三役会、支部長会
4 事業費	900,000	598,693	301,307	
1 地域づくり事業費	900,000	598,693	301,307	イベント等別事業予算
26 三事業費	700,000	559,324	140,676	体験学習・居場所づくり・世代間交流
27 全体事業費	200,000	39,369	160,631	子どもを育む委員会主催体験学習事業
3 予備費	638,993	0	638,993	
1 予備費	638,993	0	638,993	
支出額合計	2,171,993	1,026,716	1,145,277	
収支差引(繰越額)	—	1,154,357	—	

令和6年度 鼎地区まちづくり委員会会計 決算報告
【健康福祉委員会】

項 目	予算額 (a)	収入済額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
収入の部				
1 上部団体交付金	658,000	640,100	17,900	
2 共同募金配分金	658,000	640,100	17,900	共同募金配分金
2 その他収入	403,000	419,531	△ 16,531	
6 ふれあい広場事業収入	400,000	416,000	△ 16,000	ふれあい広場事業収入
7 小さな善意運動募金収入	3,000	3,531	△ 531	小さな善意運動募金
3 市交付金A	191,000	191,000	0	
1 交付金A	191,000	191,000	0	飯田市パワーアップ地域交付金
4 市交付金B	893,000	894,600	△ 1,600	事業交付金・補助金
2 保健推進活動交付金	201,000	201,800	△ 800	保健課より
8 社協活動交付金	692,000	692,800	△ 800	市社協より
5 まちづくり委員会会費	677,000	677,000	0	
1 まちづくり委員会会費	677,000	677,000	0	会費配分
7 繰越金	539,193	539,193	0	
1 繰越金	539,193	539,193	0	前年度繰越金
収入額合計	3,361,193	3,361,424	△ 231	

項 目	予算額 (a)	支出済額 (b)	予算残額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
支出の部				
1 交付金事業費	1,166,000	1,157,948	8,052	市交付金関係事業費
2 事業関係費	1,166,000	1,157,948	8,052	
1 報償費	143,000	126,347	16,653	健康教室講師謝礼
2 消耗品費	98,000	80,358	17,642	健康講演会、健康づくり事業
6 通信運搬費	3,000	0	3,000	切手・ハガキ代、運搬費
11 負担金・補助・交付金	922,000	951,243	△ 29,243	通所B、日赤、見守り支援、サロン、マップ更新、健康づくりほか
2 一般事業費	1,895,000	1,507,293	387,707	会費等収入関係事業費
1 他団体関係費	493,000	472,650	20,350	
1 会費納入金	483,000	472,650	10,350	市社協会費
3 交際費	10,000	0	10,000	交際費・他団体連絡費
2 総務費	53,000	0	53,000	
6 研修費	50,000	0	50,000	視察研修
7 弔慰見舞金	3,000	0	3,000	弔慰金・見舞金
3 運営費	151,000	84,613	66,387	
3 会議費	130,000	70,000	60,000	会議関係費等
8 手数料	21,000	14,613	6,387	振込手数料
4 事業費	1,195,000	946,499	248,501	
1 地域づくり事業費	400,000	416,000	△ 16,000	イベント等別事業予算
24 ふれあい広場事業費	400,000	416,000	△ 16,000	ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭事業費
2 部会費	325,000	264,476	60,524	
9 総務運営部会費	50,000	37,407	12,593	ひとり親世帯支援、学習会
10 地域健康福祉部会費	25,000	16,909	8,091	健康講演会
11 ボランティア部会費	250,000	210,160	39,840	愛の贈り物、見守り支援者への年始状
3 交付金・補助金・助成金	470,000	266,023	203,977	
5 各種団体補助金	120,000	100,000	20,000	各種団体補助
6 高齢者事業補助金	350,000	166,023	183,977	高齢者外出支援、世代間交流
5 繰出金	3,000	3,531	△ 531	
1 基金繰出金	3,000	3,531	△ 531	社会福祉基金繰出金(小さな善意運動 募金)
3 予備費	300,193	0	300,193	
1 予備費	300,193	0	300,193	
支出額合計	3,361,193	2,665,241	695,952	

収支差引(繰越額)	—	696,183	—
-----------	---	---------	---

令和6年度 県地区まちづくり委員会会計 決算報告
【環境衛生委員会】

項 目	予算額 (a)	収入済額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
収入の部				
2 その他収入	301,000	847,400	△ 546,400	
3 環境衛生アルミ缶売上収入	300,000	836,600	△ 536,600	アルミ缶売上収入
5 雑収入	1,000	10,800	△ 9,800	リサイクルバック売上収入
4 市交付金B	918,000	933,303	△ 15,303	事業交付金・補助金
3 リサイクルステーション管理交付金	220,000	220,000	0	市環境課より
4 集積所管理交付金	640,000	660,833	△ 20,833	市環境課より
5 環境美化活動補助金	10,000	0	10,000	市環境課より
6 河川清掃補助金	48,000	52,470	△ 4,470	市環境課より
5 まちづくり委員会会費	100,000	100,000	0	
1 まちづくり委員会会費	100,000	100,000	0	会費配分
7 繰越金	915,412	915,412	0	
1 繰越金	915,412	915,412	0	前年度繰越金
収入額合計	2,234,412	2,796,115	△ 561,703	

項 目	予算額 (a)	支出済額	予算残額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
支出の部				
1 交付金事業費	852,000	812,686	39,314	市交付金関係事業費
2 事業関係費	852,000	812,686	39,314	
1 報償費	10,000	0	10,000	講師謝礼等
2 消耗品費	20,000	19,736	264	事業関係消耗品
5 修繕料	10,000	0	10,000	動力噴射機点検・修繕
11 負担金・補助・交付金	812,000	792,950	19,050	支部交付金
2 一般事業費	1,143,000	1,199,999	△ 56,999	会費等収入関係事業費
2 総務費	273,000	181,964	91,036	
3 事業費用弁償額	70,000	70,000	0	パトロール員・正副女性部長等費用弁償
6 研修費	200,000	111,964	88,036	研修関係費
7 弔慰見舞金	3,000	0	3,000	弔慰金・見舞金
3 運営費	570,000	181,435	388,565	
2 需用費	70,000	0	70,000	運営関係費等
3 会議費	200,000	117,910	82,090	三役会、支部長会
5 事業消耗品費	300,000	63,525	236,475	のぼり旗・ポール他消耗品
4 事業費	300,000	836,600	△ 536,600	
5 アルミ缶回収事業	300,000	836,600	△ 536,600	
1 各区(支部)交付金	300,000	736,600	△ 436,600	各区(支部)交付金
2 寄付金	0	100,000	△ 100,000	売上の一部を県小中学校へ寄附
3 予備費	239,412	0	239,412	
1 予備費	239,412	0	239,412	
支出額合計	2,234,412	2,012,685	221,727	

収支差引(繰越額)	—	783,430	—
-----------	---	---------	---

令和6年度 鼎地区まちづくり委員会会計 決算報告
【公民館・教育文化委員会】

項 目	予算額 (a)	収入済額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
収入の部				
2 その他収入	165,000	151,010	13,990	
2 公民館学級・講座受講料	165,000	151,010	13,990	学級・講座受講料
3 市交付金A	680,000	680,000	0	
1 交付金A	680,000	680,000	0	飯田市パワーアップ地域交付金
5 まちづくり委員会会費	2,623,000	2,623,000	0	
1 まちづくり委員会会費	2,623,000	2,623,000	0	会費配分
7 繰越金	1,560,908	1,560,908	0	
1 繰越金	1,560,908	1,560,908	0	前年度繰越金
収入額合計	5,028,908	5,014,918	13,990	

項 目	予算額 (a)	支出済額 (b)	予算残額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
支出の部				
1 交付金事業費	770,000	847,835	△ 77,835	市交付金関係事業費
2 事業関係費	770,000	847,835	△ 77,835	
1 報償費	20,000	3,000	17,000	講師謝礼等
2 消耗品費	320,000	269,193	50,807	事業消耗品
4 印刷製本費	30,000	30,000	0	文化祭・パンフレット印刷
6 通信運搬費	50,000	29,962	20,038	郵送料等
8 使用料・賃借料	350,000	515,680	△ 165,680	文化祭機材賃借料
2 一般事業費	3,218,000	2,327,064	890,936	会費等収入関係事業費
1 他団体関係費	70,000	36,044	33,956	
3 交際費	70,000	36,044	33,956	交際費・他団体連絡費
2 総務費	260,000	233,357	26,643	
6 研修費	250,000	233,357	16,643	研修関係費
7 弔慰見舞金	10,000	0	10,000	弔慰金・見舞金
3 運営費	380,000	180,977	199,023	
1 表彰費	30,000	0	30,000	功労者表彰
3 会議費	250,000	177,598	72,402	新年度・中間・年度末総会 会議費用
5 事業消耗品費	50,000	3,379	46,621	事業消耗品
9 備品購入費	50,000	0	50,000	事業備品
4 事業費	2,508,000	1,876,686	631,314	
1 地域づくり事業費	1,768,000	1,211,866	556,134	イベント等別事業予算
10 人形劇フェスタ事業費	80,000	14,143	65,857	公演会場運営経費他
11 文化祭事業費	400,000	286,664	113,336	消耗品・参加景品他
13 各種文化事業費	85,000	0	85,000	講座、小中PTA合同講演会他
14 夏季体育祭事業費	60,000	42,262	17,738	大会消耗品、審判飲物代他
15 縦断駅伝大会事業費	180,000	160,451	19,549	大会消耗品、入賞メダル他
16 冬季スポーツ大会事業費	70,000	61,945	8,055	大会用具、参加景品
17 みなみ信州駅伝事業費	18,000	0	18,000	参加登録費、参加運営費
18 各種体育事業費	80,000	15,863	64,137	各種体育事業費
19 ブロック合同事業費	20,000	0	20,000	役員研修会他
21 学級・講座事業費	565,000	475,562	89,438	講師謝礼、講座消耗品他
22 市民セミナー事業費	30,000	0	30,000	講師謝礼、事業消耗品他
25 ワンデーマーチ事業費	180,000	154,976	25,024	消耗品、参加賞作成他
2 部会費	540,000	384,450	155,550	部会・委員会別事業予算
5 分館長主事会費	150,000	0	150,000	活動費、研修会費
6 文化委員会費	130,000	131,850	△ 1,850	活動費、研修会費
7 体育委員会費	130,000	192,600	△ 62,600	活動費、研修会費
8 広報委員会費	130,000	60,000	70,000	活動費、研修会費
4 事業負担金	200,000	280,370	△ 80,370	団体等事業負担金
1 二十歳の集い実行委員会負担金	200,000	280,370	△ 80,370	鼎地区二十歳の集い実行委員会負担金
3 予備費	1,040,908	0	1,040,908	
1 予備費	1,040,908	0	1,040,908	
支出額合計	5,028,908	3,174,899	1,854,009	

収支差引(繰越額)	—	1,840,019	—
-----------	---	-----------	---

令和6年度 まちづくり委員会等会費の状況

令和7年3月末日

1. 集合徴収

(1)まちづくり委員会会費各区分納入状況

地区名	住民記録戸数(A)		除外 戸数(B)	戸数(C)=A-B			納入戸数(D)			加入率(D/C)	
	06.4.1	05.4.1		06.4.1	05.4.1	増 減	06.4.1	05.4.1	増減(E)- (F)	6年度	5年度
下 山	840	818	15	825	799	26	401	406	△ 5	48.6%	50.8%
東 鼎	168	162	8	160	152	8	106	106	0	66.3%	69.7%
西 鼎	132	134	5	127	127	0	68	71	△ 3	53.5%	55.9%
下茶屋	202	200	4	198	195	3	132	136	△ 4	66.7%	69.7%
中 平	642	644	13	629	634	△ 5	320	352	△ 32	50.9%	55.5%
上茶屋	155	152	1	154	150	4	105	103	2	68.2%	68.7%
切 石	933	935	27	906	906	0	539	556	△ 17	59.5%	61.4%
上 山	1,042	1,029	28	1,014	1,001	13	769	776	△ 7	75.8%	77.5%
一 色	546	530	13	533	520	13	324	337	△ 13	60.8%	64.8%
名古屋	763	770	14	749	754	△ 5	398	398	0	53.1%	52.8%
信濃寮他	148	74	148	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,571	5,448	276	5,295	5,238	57	3,162	3,241	△ 79	59.7%	61.9%

①↑

(2)消防協力費各区分納入状況

地区名	住民記録戸数(A)		除外 戸数(B)	戸数(C)=A-B			納入件数				
	06.4.1	05.4.1		06.4.1	05.4.1	増 減	集 合	消防のみ	6年度(E)	5年度(F)	増減(E)-(F)
下 山	840	818	15	825	799	26	401	87	488	492	△ 4
東 鼎	168	162	8	160	152	8	106	23	129	130	△ 1
西 鼎	132	134	5	127	127	0	68	17	85	99	△ 14
下茶屋	202	200	4	198	195	3	132	18	150	157	△ 7
中 平	642	644	13	629	634	△ 5	320	93	413	428	△ 15
上茶屋	155	152	1	154	150	4	105	0	105	103	2
切 石	933	935	27	906	906	0	539	60	599	609	△ 10
上 山	1,042	1,029	28	1,014	1,001	13	769	21	790	795	△ 5
一 色	546	530	13	533	520	13	324	111	435	442	△ 7
名古屋	763	770	14	749	754	△ 5	398	321	719	716	3
信濃寮	148	74	全戸	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,571	5,448	276	5,295	5,238	57	3,162	751	3,913	3,971	△ 58

②↑

(3)まちづくり委員会費年度別納入状況 ①×3,300円 4年度まで①×3,460円

6年度	3,162	△ 79	10,434,600	-260,700	28年度	3,406	△ 12	11,784,760	-41,520
5年度	3,241	△ 70	10,695,300	-760,760	27年度	3,418	△ 30	11,826,280	-103,800
4年度	3,311	△ 11	11,456,060	-38,060	26年度	3,448	△ 15	11,930,080	-51,900
3年度	3,322	△ 4	11,494,120	-13,840	25年度	3,463	△ 16	11,981,980	-55,360
2年度	3,326	△ 32	11,507,960	-110,720	24年度	3,479	△ 40	12,037,340	-136,355
元年度	3,358	△ 6	11,618,680	-20,760	23年度	3,519	△ 2	12,173,695	-6,450
30年度	3,364	1	11,639,440	-394,440	22年度	3,521	△ 41	12,180,145	-144,375
29年度	3,363	△ 43	12,033,880	249,120	21年度	3,562	△ 54	12,324,520	-124,560
					20年度	3,616	-	12,449,080	-

2. まちづくり協力費

	納入(個人)		納入(事業所)	
	戸数	金額	戸数	金額
下 山	72	102,700	11	59,600
東 鼎	5	6,500	10	49,400
西 鼎	15	19,500	24	142,600
下茶屋	8	10,400	4	23,200
中 平	25	45,640	40	46,800
上茶屋			2	9,300
切 石	60	78,000	3	13,900
上 山		0	2	9,300
一 色	26	33,800	15	67,200
名古屋		0	116	301,600
合 計	211	296,540	227	722,900

③

④

3. 消防協力費(事業所分)

	納入(事業所毎見立)	
	戸数	金額
下 山	11	7,700
東 鼎	10	7,000
西 鼎	26	18,200
下茶屋	4	2,800
中 平	40	28,000
上茶屋	2	1,400
切 石	3	2,100
上 山	6	4,200
一 色	70	49,000
名古屋	210	147,000
合 計	382	267,400

⑤

4. まちづくり委員会費総括

集合徴収分	10,434,600	①×3,300円
まちづくり協力費	296,540	③
事業所協力費	722,900	④
会 費 合 計	11,454,040	

5. 消防協力費総括

消防協力費	2,739,100	②×700円
(個人協力費分含む)		
消防協力費(事業所)	267,400	⑤
消防協力費合計	3,006,500	→消防団へ

令和6年度 県地区まちづくり委員会 基金会計等決算報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

2 令和6年度 県地区まちづくり委員会財政調整基金特別会計

1	令和5年度末残高(令和6年度期首)	5,968,828円	
2	令和6年度積立額	0円	
3	令和6年度収入額	101円	基金利息
4	令和6年度度取崩額	0円	
5	令和6年度末現在高	5,968,929円	信金定期預金

3 令和6年度 県地区まちづくり委員会特別基金会計

1	令和5年度末残高(令和6年度期首)	63,205,132円	1年定期No.0466177・3証券
2	令和6年度積立額	0円	
3	令和6年度収入額	47,019円	証券利息・基金利息
4	令和6年度度取崩額	45,562円	証券利息のみ特別基金利息会計へ
5	令和6年度末現在高	63,206,589円	

4 令和6年度 県地区まちづくり委員会特別基金利息会計

1	令和5年度末残高(令和6年度期首)	2,200,760円	
2	令和6年度積立額	45,562円	特別基金会計より
3	令和6年度収入額	983円	預金利息
4	令和6年度度取崩額	0円	
5	令和6年度末現在高	2,247,305円	みなみ信州普通預金

5 令和6年度 県地区まちづくり委員会社会福祉基金会計

1	令和5年度末残高(令和6年度期首)	244,781円	
2	令和6年度積立額	3,531円	小さな善意運動募金より
3	令和6年度収入額	4円	基金利息
4	令和6年度度取崩額	0円	
5	令和6年度末現在高	248,316円	信金定期預金

6 令和6年度 県地区まちづくり委員会ふれあい広場基金会計

1	令和5年度末残高(令和6年度期首)	1,643,525円	
2	令和6年度積立額	0円	
3	令和6年度収入額	28円	基金利息
4	令和6年度度取崩額	0円	
5	令和6年度末現在高	1,643,553円	信金定期預金

7 令和6年度 県地区まちづくり委員会社会福祉事業基金会計

1	令和5年度末残高(令和6年度期首)	938,795円	
2	令和6年度積立額	0円	
3	令和6年度収入額	16円	基金利息
4	令和6年度度取崩額	0円	
5	令和6年度末現在高	938,811円	信金定期預金

8 令和6年度 県地区まちづくり委員会環境衛生基金会計

1	令和5年度末残高(令和6年度期首)	2,538,662円	
2	令和6年度積立額	0円	
3	令和6年度収入額	43円	基金利息
4	令和6年度度取崩額	0円	
5	令和6年度末現在高	2,538,705円	信金定期預金

9 令和6年度 鼎地区まちづくり委員会LED防犯灯更新基金会計

1	令和5年度末残高（令和6年度期首）	5,001,173円	
2	令和6年度積立額	0円	
3	令和6年度収入額	85円	基金利息
4	令和6年度度取崩額	0円	
5	令和6年度末現在高	5,001,258円	信金定期預金

10 令和6年度 鼎地区まちづくり委員会地域産業振興特別基金会計

1	令和5年度末残高（令和6年度期首）	5,878,795円	
2	令和6年度積立額	0円	
3	令和6年度収入額	100円	基金利息
4	令和6年度度取崩額	0円	
5	令和6年度末現在高	5,878,895円	信金定期預金

11 令和6年度 鼎地区まちづくり委員会複合施設建設特別基金会計

1	令和5年度末残高（令和6年度期首）	33,362,346円	
2	令和6年度積立額	0円	
3	令和6年度収入額	1,130円	基金利息
4	令和6年度度取崩額	0円	
5	令和6年度末現在高	33,363,476円	信金定期預金

12 令和6年度 鼎地区まちづくり委員会再生可能エネルギー基金特別会計から特別会計へ移行

1	令和5年度末残高（令和6年度期首）	560,008円	
2	令和6年度積立額	210,032円	再生可能エネルギー活用事業より
3	令和6年度収入額	10円	基金利息
4	令和6年度度取崩額	770,050円	
5	令和6年度末現在高	770,050円	基金から普通預金へ移行

13 令和6年度 鼎地区まちづくり委員会貸出特別基金会計

	令和6年度末までの返済額	4,000,000円	1,000万円貸付（R2.12.18）
	令和6年度の返済に伴う寄付金	13,500円	自主防災会計へ
1	令和5年度末残高（令和6年度期首）	3,200,068円	
2	令和6年度積立額	800,000円	東鼎区からの返済額
3	令和6年度収入額	55円	基金利息
4	令和6年度度取崩額	0円	
5	令和6年度末現在高	4,000,123円	信金定期預金

令和7年4月22日 提出

令和7年 月 日 承認

鼎地区まちづくり委員会
会長 奥村 充由

各基金会計等証書明細

2 県地区まちづくり委員会財政調整基金特別会計 (単位: 円)					
	種別	預金先	預入日	R5年度末残高	R6年度末額 口座番号
1	1 年定期預金	飯田信金本店	R6. 3. 29	5, 968, 828	5, 968, 929 0 4 3 1 2 9 1
3 県地区まちづくり委員会特別基金会計 (単位: 円)					
	種別	預金先	預入日	預入額	備 考 口座番号等
1	1 年定期預金	飯田信金本店	R6. 3. 28	43, 006, 589	期日指定 (利息含む) 0 4 6 6 1 7 7
2	地方債10年	八十二銀行飯田支店	H30. 10. 12	20, 000, 000	証券 481-346-879-2
3	出資	飯田信金本店	H25. 2. 26	100, 000	証券 200口 (@500)
4	出資	飯田信金本店	H25. 2. 27	100, 000	証券 200口 (@500)
	合計			63, 206, 589	
4 県地区まちづくり委員会特別基金利息会計 (単位: 円)					
	種別	預金先	預入日	R5年度末残高	R6年度末額 口座番号
1	普通預金	みなみ信州県支所	R6. 3. 15	2, 200, 760	2, 247, 305 6 1 4 2 8 7 7
5 県地区まちづくり委員会社会福祉基金会計 (単位: 円)					
	種別	預金先	預入日	R5年度末残高	R6年度末額 口座番号
1	1 年定期預金	飯田信金本店	R6. 3. 25	244, 781	248, 316 0 4 6 6 0 9 6
6 県地区まちづくり委員会ふれあい広場基金会計 (単位: 円)					
	種別	預金先	預入日	R5年度末残高	R6年度末額 口座番号
1	1 年定期預金	飯田信金本店	R6. 3. 4	1, 643, 525	1, 643, 553 0 4 1 5 4 8 5
7 県地区まちづくり委員会社会福祉事業基金会計 (単位: 円)					
	種別	預金先	預入日	R5年度末残高	R6年度末額 口座番号
1	1 年定期預金	飯田信金本店	R6. 1. 31	938, 795	938, 811 0 4 1 4 6 7 5
8 県地区まちづくり委員会環境衛生基金会計 (単位: 円)					
	種別	預金先	預入日	R5年度末残高	R6年度末額 口座番号
1	1 年定期預金	飯田信金本店	R6. 2. 28	2, 538, 662	2, 538, 705 0 3 3 4 7 4 2
9 県地区まちづくり委員会LED防犯灯更新基金会計 (単位: 円)					
	種別	預金先	預入日	R5年度末残高	R6年度末額 口座番号
1	1 年定期預金	飯田信金本店	R6. 3. 28	5, 001, 173	5, 001, 258 0 4 6 6 1 5 1
10 県地区まちづくり委員会地域産業振興特別基金会計 (単位: 円)					
	種別	預金先	預入日	R5年度末残高	R6年度末額 口座番号
1	1 年定期預金	飯田信金本店	R6. 3. 28	5, 878, 795	5, 878, 895 0 3 7 9 1 4 2
11 県地区まちづくり委員会複合施設建設特別基金会計 (単位: 円)					
	種別	預金先	預入日	R5年度末残高	R6年度末額 口座番号
1	1 年定期預金	飯田信金本店	R6. 3. 28	33, 362, 346	33, 363, 476 0 4 6 6 1 6 9
12 県地区まちづくり委員会再生可能エネルギー基金特別会計から特別会計へ (単位: 円)					
	種別	預金先	預入日	R5年度末基金残高	R6年度特別会計末額 口座番号
1	1 年定期預金 →普通預金	飯田信金本店	R6. 3. 25 R 7. 3. 25	560, 008	770, 050 0 0 5 9 3 2 4
13 県地区まちづくり委員会貸出特別基金会計 (単位: 円)					
	種別	預金先	預入日	R5年度末残高	R6年度末額 口座番号
1	1 年定期預金	飯田信金本店	R6. 3. 25	3, 200, 068	4, 000, 123 0 4 6 6 0 8 8

令和7年4月3日

監査報告書

鼎地区まちづくり委員会

会長 奥村 充由 様

鼎地区まちづくり委員会

監 事 本島 文男

監 事 熊谷 廣光

令和6年度 鼎地区まちづくり委員会の会計及び業務執行の状況監査について

鼎地区まちづくり委員会規約(平成19年4月1日施行)第30条の規定により、監査に付された令和6年度鼎地区まちづくり委員会の会計及び業務執行の状況を監査したので、次のとおり報告します。

1 監査の対象

- (1) 収支決算書
- (2) 各種基金会計決算書
- (3) まちづくり委員会会費納入内訳書
- (4) 事業概要

2 監査の実施日

令和7年4月3日(木)

3 監査の場所

鼎地区まちづくり委員会事務所(鼎自治振興センター)

4 監査の内容と方法

- (1) 会計の監査として決算係数の正確性を確認するとともに、事務処理及び予算執行の状況について検証するため、関係諸帳簿及び通帳残高の照合を実施しました。
- (2) 事業の実施状況、効果、必要性など検証するため、資料の提出を求めました。
- (3) 上記のほか、役員及び担当者の説明を受けました。

5 監査の結果

適正であることを確認しました。

議案第 3 号

鼎地区まちづくり委員会規約の一部改正について（案）

鼎地区まちづくり委員会規約（平成 19 年 4 月 1 日制定）の一部を次のように改正する。

第 2 条中「本会は飯田市鼎地区まちづくり委員会（以下「会」という。）と称し、事務所を飯田市役所鼎自治振興センターに置く。」を「本会は飯田市鼎地区まちづくり委員会（以下「会」という。）と称し、事務所を飯田市鼎上山 1 8 9 0 番地 1 鼎自治振興センターに置く」に改める。

附 則

この規則は、令和 7 年度 4 月 22 日に改正、施行する。

令和 7 年 4 月 22 日 提出
令和 7 年 月 日 議決

鼎地区まちづくり委員会
会長 奥村 充由

議案第 4 号

令和 7 年度鼎地区まちづくり委員会事業計画（案）

第 4 次 鼎地区基本構想・基本計画で目指す地区の将来像は、「人・暮らし・文化が潤う 夢ある“かなえ”」としています。また、かなえを「何とかしたい」課題として、①人口減少に歯止め ②組合加入率の向上 ③組織・運営の改善 ④交通網の進化を見据えた地域づくり の 4 点を掲げ、これまでの間、重点課題や主要課題などを位置づけ、課題解決に向け取り組んできているところです。

当地区内では宅地化が進行しており、当面、人口規模は維持されていますが、一方で、組合未加入者が増え、組合の脱退が進むなど、組合加入率の一層の低下が懸念されます。このままでは、まちづくり委員会の組織や財政基盤が揺らぐなど、住民自治の代表制を損なうことにつながりかねません。

国の将来推計では、平均世帯人員は減少が続き、「単独」「夫婦のみ」「ひとり親と子」の割合が増加すると言われています。都市化や少子高齢化は、一方で、血縁、地縁、社縁の希薄化を加速させます。今後は、当地区においても、都市化に伴う新たな課題等の把握に努め、それらの課題解決に向け、対処していかなければなりません。

まちづくり委員会を取り巻く社会的環境は、地域としての期待が大きかったリニア中央新幹線の開業の時期が先送りされことに加え、地区内において宅地化や都市化が進むことで、大きく変化することになります。今私たちに求められているのは、鼎地区の全ての住民の総意で決定した“かなえ”は「こうありたい」構想の原点に立ち返って、住民自治をみんなで考え・主体的で自立的に行動していくことではないでしょうか。

令和 7 年度のまちづくり委員会は、前述した取り巻く環境を踏まえ、これまで以上に地域課題をより鮮明にし、優先順位を明確にしながら、以下の重点的事業に取り組んでまいります。

<重点的事業>

- ・安心安全なまちづくりを実現するための「防災体制の強化」
- ・県道青木東県線沿線を中心とした「景観まちづくり」の推進と下山工区の早期着工
- ・コミュニティに関する共通した価値観の醸成と地域の居場所づくり（つながる場所）の推進
- ・持続可能な地域自治組織への移行と多様な主体に対する支援及び主体間の連携強化
- ・地域資源を活かした環境にやさしい人づくり
- ・リニア中央新幹線松川工区における安全対策と地域振興
- ・複合公共施設の建設促進に向けた取り組み

“かなえ”は「こうありたい」構想（第 4 次鼎地区基本構想・基本計画から抜粋）

- ①少子化、人口減少に対応した生活・子育て環境の整備充実により 住んでみたくなるまち・かなえ
- ②生涯に生きがいを感じられる社会福祉の充実で、高齢者の健康と孤立化に配慮した 人にやさしい輝くまち・かなえ
- ③事前災害、事件・事故の対策に万全を期し、安心して暮らせる安全な地域づくりで 安らぎと絆をもてるま

ち・かなえ

- ④伝統芸能や歴史的文化が地域に根差し、生まれ育った思い出深いふるさとを創造し 多様な文化が漂うまち・かなえ

ち・かなえ

- ⑤リニア時代を見据え、妙琴公園など豊かな自然と文化が調和した観光と産業振興により 活力のあるまち・かなえ

かなえ

- ⑥10 地区の個性と特色を活かしたかなえブランドに磨きをかけ情報発信し 夢と魅力あふれる人が集うまち・かなえ

かなえ

- ⑦地域を知り、地域に親しみ、地域に誇りを感じられる公民館活動を原点として 地域コミュニティで人の交流が深まるまち・かなえ

- ⑧中心市街地に隣接し農工商と住宅が調和した、自立と共生が共存する 持続発展可能な住みやすいまち・かなえ

<重点事業>

◇安心安全なまちづくりを実現するための「防災体制の強化」

昨年元旦に発生した「能登半島地震」や発生確率が高まっている「南海トラフ地震」を踏まえ、災害時における地区住民の生命と財産を守るため、地区防災計画を見直し、「日頃からの備え」の習慣化と機動力のある防災組織体制への移行を目指します。また、豪雨災害対策の一環として、越水する井水の改善に向け、地区全体として取り組みます。

◇県道青木東郷線沿線を中心とした「景観まちづくり」の推進と下山工区の早期着工

県地区を東西に横断する県道青木東郷線沿線の「快適空間」を将来に亘って維持していくため、看板規制や花の香りがするまちづくりなど、「景観まちづくり」に向けた取り組みに着手します。また、合わせて、変更となった県の整備方針を踏まえ、下山工区の早期着工に関係機関へ働きかけます。

◇コミュニティに関する共通した価値観の醸成と地域の居場所づくり（つながる場所）の推進

コミュニティが弱体化する要因となっている組合加入率の低下と地域における人間関係の希薄化に着目し、コミュニティに必要な共通した価値観を醸成します。また、都市化に伴う無縁社会の広がりに歯止めをかけ、地域で新たに「つながる場」の確保に努めます。

◇持続可能な地域自治組織への移行と多様な主体に対する支援及び主体間の連携強化

組合加入率の低下や役員の担い手不足は、まちづくり委員会の今後を左右することにつながります。自主的かつ自立的な運営が継続できるよう、負担軽減や事業の見直し等を図るとともに、多様な地域コミュニティの各主体がそれぞれの強みを活かし、弱みを補完し合えるよう、各主体への支援と連携強化に努めます。

◇地域資源を活かした環境にやさしい人づくり

財産区が保有する森林のサイクルを促進し、木材への親しみや木の文化への理解を深める

ため、「木育をはじめとする木材の普及」に努めるとともに、温室効果ガス削減につながる行動を広げていくため、親子などを対象とした環境教育を推進します。

◇リニア中央新幹線松川工区における安全対策と地域振興

地区住民の日常生活における安全対策に万全を期すために、対策委員会としての役割を発揮し、JR 東日本との協定内容が履行できるよう努めてまいります。また、リニア中央新幹線の開業が、地域振興につながるよう、妙琴公園将来構想のあり方を検討します。

◇複合公共施設の建設促進に向けた取り組み

文化会館の基本計画が本年度策定されます。計画案を注視しつつ、当該施設の早期建設に向け、市側との協議を継続してまいります。

地域振興部会（令和7年度事業計画）

1 総務文教部（四役会、区長・委員長会、区長会関係を含む）【◎：重点事業】

- (1) まちづくり委員会の総会の開催
- (2) 重点事業の進行管理
- (3) ◎県道青木線沿線を中心とした「景観まちづくり」の推進
 - ①ガーデニング講習会の実施
 - ②ガーデニングコンテストの実施
 - ③「花の香りがするまちづくり」プロジェクトの立ち上げ
- (4) ◎コミュニティに関する共通した価値観の醸成と地域の居場所づくり（つながる場所）の推進
 - ①組合加入率の向上につながる環境整備
 - ②区費や組合費・協力費等のルールの見直し
 - ③地域の居場所づくり（つながる場）の推進
- (5) ◎持続可能な地域自治組織のへの移行と多様な主体に対する支援及び主体間の連携強化
 - ①「行政協力業務」の負担軽減と事業の見直し
 - ②公益的な活動をしている NPO・事業所等との連携強化
 - ③鼎地区パワーアップ事業等を活用した主体間の連携強化
 - ④女性プロジェクト及び女性フォーラムの拡充
 - ⑤住民自治に関する基礎学習と研究の推進
 - ⑥諸団体等への協力依頼と支援

- (6) ◎地域資源を活かした環境教育
 - ①公益的な活動をしている民間事業者等と連携した環境教育の推進
 - ②「木育」による環境教育の促進
 - ③再エネ活用事業の促進
- (7) ◎複合公共施設の建設促進に向けた取り組み
 - ①複合公共施設構想の推進
 - ②担当部署との協議及び進捗状況の確認
- (8) コミュニティスクール学校運営協議会の円滑な運営と「鼎学園構想」への関与
- (9) 研修会、懇談会の開催
 - ①市長と語るまちづくり懇談会の開催
 - ②議会報告・意見交換会及び地元市議会議員と語る会の開催
 - ③地域課題を解決するための研修会の開催
 - ④鼎壮年団、鼎地区勤労協、消防団等との懇談会の開催

2 産業経済部【◎：重点事業】

- (1) 財産区分収林の管理と整備促進（壮年団山林愛護会との連携）
 - ①「木育」による環境教育の促進
 - ②新生児に対する木製誕生プレゼントなどの検討
- (2) ◎地域振興につなげるための妙琴公園将来構想の再検討
- (3) 妙琴公園内のモミジの維持管理
- (4) 商工農林業の振興
 - ①地域問題懇談会への協力と参加
 - ②鼎地区農業振興会議への参加と連携
 - ③新卒者等の地元回帰を進めるための環境づくりに向けた取り組み検討

3 建設部【◎：重点事業】

- (1) ◎県道青木線沿線を中心とした「景観まちづくり」の推進と下山工区の早期着工
 - ①景観まちづくりを実現するための「(仮称) 景観づくり推進会議」の設置及び講演会等による意識の醸成
 - ②ガーデニング講習会の実施

- ③ガーデニングコンテストの実施
- ④「花の香りがするまちづくり」プロジェクトの立ち上げ
- ⑤飯田建設事務所への要望活動と住民説明会に対する支援
- ⑥事業進捗状況の確認及びヒヤリング

(2) ◎リニア中央新幹線松川工区における安全対策と地域振興

- ①リニア対策会議の開催と調整
- ②松川工区における現地視察の実施

4 自主防災部【◎：重点事業】

(1) ◎自主防災組織の体制強化

- ①災害時に対応可能な自主防災組織の見直し
- ②自主防災リーダー養成研修への参加による底上げ
- ③地区防災計画の見直し及び行動マニュアルの作成

(2) ◎自主防災会本部と各区本部との連携・協力

- ①地震総合防災訓練における区本部と連動した自主防災本部訓練の実施
- ②土砂災害・全国統一防災訓練への参加
- ③各区における「組合単位の安否確認」の方法等の明確化
- ④災害時における井戸水等の利活用の促進

(3) 「日頃からの備え」の習慣化

- ①各家庭における「日頃からの備え」と防災意識の向上
- ②ハザードマップの活用促進
- ③自主防災会本部主催による防災講演会・研修会の実施と防災士等の育成支援

(4) 消防団及び赤十字奉仕団との連携・強化

- ①消防団の非常招集訓練への参加
- ②赤十字奉仕団の炊き出し訓練への協力・支援
- ③消防団員と赤十字奉仕団員確保に向けた協力
- ④消防団及び赤十字奉仕団との懇談会の実施

5 広報部

- (1) 広報「鼎」（かなえ）の発行（年4回）
- (2) SNSなどを活用した効果的な広報の在り方の検討
- (3) ホームページ検討委員会と情報更新担当者との連携
- (4) 広報「鼎」（かなえ）の検証と見直し

生活安全委員会（令和7年度事業計画）

<基本方針>

交通事故や犯罪の発生は私たちの生活に深刻な影響を与えます。地域の人々が安心して暮らせるように、交通事故ゼロ、犯罪被害ゼロのまちづくりを目指します。

<事業の目標>

- 交通安全を推進します。
- 防火・防犯対策を進め、安心安全なまちづくりを目指します。

<事業計画>

1 防犯対策の強化・推進

(1) 地域安全運動の実施

- ①春の地域安全運動
- ②夏の地域安全運動
- ③秋の全国地域安全運動
- ④年末特別警戒

・夏及び年末の運動期間中、各地区で防犯パトロール（危険箇所、空き家、防犯灯の点検等）

(2) 青色回転灯装備車（青パト）による活動

- ①地区内パトロール
- ②犯罪、事件が起きた場合の臨時パトロール

(3) 犯罪・事件・事故が起きた場合の即時対応

2 交通安全対策の強化

(1) 交通安全運動の推進

- ①春の全国交通安全運動 4月6日（日）～15日（火）
- ②夏の交通安全やまびこ運動 7月11日（金）～20日（日）
- ③秋の全国交通安全運動 9月21日（日）～30日（火）
- ④年末の交通安全運動 12月15日（月）～31日（水）

・各運動期間中、人波ルート作戦及び交通指導所の開設

⑤毎月5日・20日の交通安全の日

・歩行者、自転車事故防止のための交通安全指導員による街頭指導

(2) 交通安全教室への協力（小学校・保育園等）

(3) 各地区・団体行事の交通警備等への協力

3 安全施設の点検・修繕・設置要望

- (1) 交通安全施設についての点検、設置及び修繕要望
- (2) 交通規制についての点検、設置及び修繕要望
- (3) 防犯灯の点検、新設、移設及び修繕

4 啓発・広報活動の実施

- (1) 広報かなえに「生活安全」紙面を掲載
- (2) 各交通安全運動期間中にチラシ・ポスター等掲示
- (3) 交通安全イラスト入りのポケットティッシュや絆創膏等を交通指導所開設時に配付
- (4) 県小学校へ新入生用ランドセルカバーの贈呈
- (5) 飯田市・警察・防犯協会・交通安全協会の啓発・広報活動
- (6) 長野県交通災害共済への加入促進
- (7) 県地区ホームページ及び組合回覧での啓発・広報

5 研修・視察への参加及び実施

- (1) 視察研修の実施

6 関係団体への協力

- (1) 飯田市及び飯伊交通安全協会
 - ① 飯伊交通安全協会連絡会及び総会
 - ② 飯田市交通安全連絡会及び安全大会
 - ③ 飯田地区防犯協会連合会女性部役員会及び総会
 - ④ 飯伊交通安全協会主催ドライバー安全運転研修の参加周知
- (2) 飯田市交通指導員
 - ① 飯田市交通指導員総会・任命式及び打ち合わせ会
 - ② 飯田市主催交通指導員による啓発活動

子どもを育む委員会（令和7年度事業計画）

1 コミュニティスクール

- (1) 広報誌などを使ってかなえコミュニティスクールを周知し意識を高めます。 12月
- (2) 「かなえの子どもを語る会」へ参加するとともに、地域の参加を促進します。 2月
- (3) 学校運営協議会へ地域の意見を反映させます。

2 子どもの居場所づくり、受け入れ体制づくり

- (1) 長期休業（夏休み、年末年始休業、春休みなど）に、子どもたちが安全に楽しく過ごす居場所を提供します。
- (2) 取り組みのノウハウを地区の枠を超えて共有します。

3 健全育成に取り組み地育力を深める

- (1) 運動会、文化祭、どんど焼きなど、地域行事への子どもの参加を促します。
- (2) 獅子舞、太鼓、舞など伝統芸能に子どもが触れる機会を設け、体験学習の場を提供します。
- (3) 自然体験学習（農業体験）など幅広い体験学習に取り組みます。

4 全体事業の実施

- (1) 地区の枠を超えて多くの子どもたちが、日常では体験できない体験学習の場を提供します。

7月～9月

5 安全な環境づくり

- (1) 通学路危険個所の点検を実施し、地区内で情報共有します。 随時
- (2) 登下校時の見守り活動と共に、「あいさつ」＋「ひと声」運動を実施し、地域で育てる認識を定着させます。 随時
- (3) パトロールや見守り活動時の「パトロール用メッシュベスト」の着用を徹底します。
- (4) 「子どもを守る安心の家」の周知について課題等を学校やPTAと共有し、有効的な周知方法を協議します。

6 まちづくり委員会各機関との連携

- (1) 公民館と信毎旗争奪地区体育祭「ペタンク大会」を共催します。 6月
- (2) 広報鼎「子どもを育む」ページに地区の活動を掲載します。

7 研修視察

- (1) 各地区の事業に役立てるため、関係施設への視察研修を実施します。 10月

8 活動の情報発信

- (1) 地区の活動を広く周知できるよう、魅力が伝わる記事や写真を広報誌、ホームページ等に掲載します。

健康福祉委員会（令和7年度事業計画）

＜基本方針＞

常に「笑顔」をもって接し、感謝、福祉の気持ちを忘れず、「人の和」「家の和」「社会の和」をモットーに、安心して暮らすことのできる地域づくりを念頭に置き、事業計画に基づき活動します。

＜事業の目標＞

高齢化、核家族化が進むなかでも孤立することなく、だれもが認めあい共に支え合い、心豊かに生き生きと過ごせる地域づくりを目指します。

児童の体力低下、中年期における生活習慣病、高齢者の認知症・寝たきりなどを予防するために、だれもが健康に関心を持つことのできる健康福祉の充実を図ります。

＜事業計画＞

1 総務運営部会

(1) 災害時助け合い・住民支え合いマップの更新

各区で「災害時助け合い・住民支え合いマップ」の作成・更新、活用方法等の検討を行う。また、自主防災会、民生児童委員協議会などと連携して地域として支援の必要な方等の情報を共有し、防災訓練や日常的な支え合い活動などで活用する。

(2) 視察等研修

健康や福祉に関連した施設の視察や研修会を通じて、社会福祉をより深く理解し、地域福祉活動に役立てる。また、各地区の課題や対応方法等の情報を共有する。

(3) 「ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭」の開催

公民館との共催で開催し、ふれあい広場の企画・運営を行う。(11月1日・2日予定)

健康に関する展示やフードドライブブースの設置及び各種団体が提供する模擬店や発表を通じ、健康福祉への理解を深めてもらう場とする。

(4) がん検診受診率向上のための取り組み

がんの早期発見及び地域の中での健康に対する意識の向上を図ることを目的に、各区（組合）の協力のもとがん検診申込書の回収を行い、がん検診の受診率向上に取り組む。

※目標値：飯田市平均以上

(5) ひとり親世帯児童 中学卒業祝賀事業

鼎中学校卒業予定のひとり親世帯に、鼎中学校を通じて粗品（図書カード）を贈呈しお祝いする。

(6) 福祉に関する募金等の推進

地域として福祉の心を育てること及び支援を必要とする者への一助とすることを目的に赤い羽根共同募金、ベルマーク収集等の募金活動等を行う。

2 地域健康福祉部会

(1) 民生児童委員協議会との連絡会

鼎地区の高齢者福祉及び子供家庭福祉についての情報共有と相互の役割を確認し、相互協力のできる関係を築く。

(2) 健康講演会

健康についての理解を深めてもらうことを目的に、全地区住民を対象とした講演会を実施する。

(3) 小さな善意運動の促進

鼎地区の福祉活動の推進とその理解を図ること及び自らが福祉活動への協力をする機会として募金箱を設置する。

設置場所：鼎自治振興センター、キラヤ鼎店

(4) 健康づくり教室

健康について学習する機会を設け、健康的な生活習慣を築くための知識や方法を地域住民に知ってもらい、地域全体の健康づくりに対する意識の向上を図ることを目的に各地区で企画運営する。

(5) いきいき教室・鼎の公開講座

軽い運動や交流等を実施し、元気な高齢者の増加と高齢者を支える地域づくりの一端を担うために、各地区での教室及び鼎地区全体の公開講座を行う。

(6) ふれあいサロンの定期開催

高齢者の健康増進、健康維持、介護予防及びふれあいの輪（和）を広げ、明るく住みよい地域づくりをするために、定期的なふれあいの場としてサロンを開催する。

(7) フードドライブへの取組

各地区のイベントや祭りなどが開催される際に、フードドライブを実施する。

3 ボランティア部会

(1) 絵手紙交流（見守り対象者への年始状作成）

鼎小学校及び鼎中学校と連携し絵手紙を作成し、「ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭」等、鼎地区内に展示をする。また、文化祭でも絵手紙制作を実施し、より多くの方に絵手紙交流の目的等を理解し、参加していただく。

なお、地域とのふれあいを感じていただくことを目的に、作成した絵手紙は年始状として見守り対象者へお届けする。

(2) 愛の贈り物事業

鼎地区の各家庭において、在宅介護している御家族の疲労や負担感を少しでも和らげるために必要な情報・日用品などをお届けする。

(3) 要支援世帯の把握・見守り訪問活動

地区ごと見守り支援が必要な方を把握して、定期的に訪問活動や電話での状況確認を行う。また、本人の同意を得た上で、ふれあい支援カードを作成・随時更新し、各区及び各区の民生委員と情報を共有する。

※目標値：見守り回数 3,400 回／年（2週間に1度何らかの接触がある程度）

(4) 高齢者外出支援事業

日頃、外出する機会の少ない高齢者に外出していただき、高齢者同士の交流やふれあいの場を作るきっかけづくりをするための事業を各地区にて企画運営する。

(5) 高齢者との世代間交流事業

核家族化が進み、高齢者と子ども達との交流の場が減少するなか、世代間の交流を深め、高齢者と子ども達の両者にとって明るい地域にするための事業を各地区で企画運営する。

4 介護予防教室部会

(1) 介護予防教室「かなえる会」の定期開催

高齢者の方々の介護予防と 生涯現役で健康的な日常生活の自立を支援するために、鼎地区のボランティアスタッフによる介護予防教室（通所型サービス B）を、月 2 回開催していく。

なお、コグニサイズプログラムの導入や普段の生活における正しい食事・運動の推進など、より効果的になるよう努める。

(2) 運営スタッフの募集

広報誌、組合回覧 及びフレイル予防サポーター講座などのイベントを活用してボランティアスタッフを積極的に募集する。

フレイル予防サポーターフォロー講座への積極的な参加によりスタッフのスキルアップを図っていく。

5 各機関との連携、会議等への参加

(1) 地域福祉課題検討会議

(2) 地域ケア会議

(3) 地域福祉活動推進会議

(4) 社会福祉大会

環境衛生委員会（令和7年度事業計画）

<基本方針>

誰もが安心、安全に暮らすことができる住みよいまちづくりを目指します。また、美しい自然環境と地域発展の調和を図り、快適な暮らしができる景観づくりと地球温暖化による環境問題に配慮した持続可能な地域づくりに取り組みます。

<事業の目標>

- ごみの減量化を進め公害のない美しい地域環境づくりに取り組みます。
- 環境美化と省エネルギーの推進で人と環境に優しいまちづくりを進めます。

<事業計画>

1 通年事業

- (1) ごみ集積所の清掃・管理
 - ①ラミネート看板等の設置による集積所利用者のモラルの徹底
 - ②新設・移設・撤去
 - ③劣化した集積所看板の取替
- (2) リサイクルステーションの開催（ガラス瓶・ペットボトル・アルミ缶の回収）
- (3) アルミ缶回収事業（各地区公民館分館・リサイクルステーション）
 - ①回収したアルミ缶の運搬作業
 - ②鼎小中学校への収益金の寄付
- (4) 不法投棄パトロール
 - ①不法投棄多発箇所への「ポイ捨て防止のぼり旗」「不法投棄防止看板」の設置

2 環境美化活動

- (1) 春のごみゼロ運動 5月25日
- (2) 全市一斉水辺等美化活動 6月29日（予備日：7月6日）
- (3) 秋のごみゼロ運動 11月9日

3 環境教育推進事業

- (1) 公益的な活動をしている事業所と協働し、保育園児を対象とした環境教育を実施

4 研修事業

- (1) 婦人団体連絡協議会との合同研修会

5 啓発・広報活動

- (1) 広報かなえ「環境衛生」ページの編集
- (2) ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭 パネル展示
- (3) 環境に関する啓発チラシの発行及び鼎地区ホームページへの掲載

6 その他

- (1) 水質検査あつせん
- (2) リサイクルバッグの販売
- (3) 環境衛生担当委員会連絡会への出席
- (4) 環境衛生事務担当者会議への出席

公民館・教育文化委員会（令和7年度事業計画）

基本方針

- 飯田市公民館及び鼎まちづくり委員会の基本方針に沿い、地域に根差した社会教育機関として、文化の香り高く、明るく住みよく、自ら誇れる個性のある地域づくりにつながる学習活動を展開する。
- 人生100年時代と言われる今日、学びを通して豊かな人生を送れるよう、様々な学習要求に応えると共に、学習情報の収集・発信に努め、生涯教育を推進する。また、地域文化の振興と創造を図る。
- 学習と交流を盛んにし、地育力（地域の教育力）を高める。
- 地域や社会に関心を持ち、住民の皆さん自身で課題を発見・解決する活動を支援することで、自治能力の向上を図る。また、まちづくり委員会や各種団体とのつながりを深め、活動の充実を図る。
- 社会情勢や生活環境の変貌が著しく、住民意識の多様化と変化の大きい当地区に於いて、地域内での関係の希薄化が危惧されている。活動を通じ住民相互のふれあいと繋がりを深め、時代にあった地域コミュニティを創出する。

事業の目標

（1）分館活動の充実への支援

公民館活動の基盤は、地域に密着した分館にあり、特色ある活動が展開されている。分館活動が充実するよう、情報提供・情報交換などを実施し支援する。

（2）学級講座の充実とサークル活動の学習支援の強化

学級・講座を一層充実させ、より多くの住民の生涯学習推進を図る。また、学習情報のセンター的役割を担い、充実させ、社会教育関係団体や各種団体の学習支援を強化する。

（3）市民セミナー的学習機会の増進

公民館活動に限らず地域の課題や問題について、調査研究や実践などの学習活動を通して、魅力的な地域づくりを進める。また、地区住民が地域づくりに取り組む能力の向上と実践の支援をする。

（4）ふるさと学習の充実

鼎の自然や歴史、文化、地域の行事などを素材とした学習活動を展開する。また、文化の継承と文化財の保護を行うとともに、新たな文化の創造を行う。

（5）健康増進・交流のためのスポーツ振興

体育事業を継続、発展させると共に、誰にも親しまれ、気軽にできるニュースポーツを普及し、住民の交流・健康増進を図る。また、体験型の健康教室などを実施する。

（6）まちづくり委員会など地区内各団体との連携

第4次基本構想・基本計画に沿い、関係各機関・団体と連携し、これからの地域自治のあり方を模索していく。特に、地域の子どもを守り育てるため、学校・家庭・地域の住民や団体と連携し、コミュニティスクールの定着と活動（あいさつ運動、学習支援、各種体験事業など）の充実を図る。また、公民館制度を大切にするという姿勢を貫きつつ、公民館の存在意義を高める活動を行っていく。

事業計画

I 鼎公民館の本館を中心とした事業計画

1 活動目標

- （1）様々な地域の課題に対応できる「学習の場」を設定するとともに住民の生涯にわたる学習や学習グループの支援充実を図ります。
- （2）他地区公民館との交流・情報交換を図ります。
- （3）飯田市公民館事業に積極的参加を図ります。

2 事業計画

（1）学級講座の開催、支援

- ①乳幼児学級 父親学級
- ②かなえっこどきどきスクール
- ③各種料理教室
- ④地育力向上講座ふるさと再発見「ずんずんず〜ん隊」

- ⑤華甲大学（高齢者学級）
- ⑥県図書館共催講座 県ナゾとき探偵団
- ⑦地域人教育 等
- （２）小学校・中学校・保育園・幼稚園との連携事業
 - ①コミュニティスクール活動
 - ②県小中ＰＴＡ公民館合同講演会
 - ③県の子どもを語る会
 - ④ジュニアボランティアステーションの推進
- （３）令和７年度県地区二十歳の集い １月１１日（日）
- （４）ふるさと県コマーシャル制作
- （５）県公民館活動記録の整理
- （６）ブロック公民館事業への参加
- （７）飯田市公民館事業への参加
 - ①飯田市公民館大会
 - ②飯田市女性バレーボール大会
 - ③飯田市コーラスグループ発表会

Ⅱ 分館長主事会を中心とした事業計画

１ 活動目標

- （１）企画委員会を開催し、公民館活動の企画、事業の推進を図ります。
- （２）分館活動の情報交換をし、分館活動の向上を図ります。

２ 事業計画

- （１）役員総会
 - ①中間反省会 令和７年９月１７日（水）
 - ②年度末総会 令和８年３月１３日（金）
- （２）企画委員会
- （３）役員研究集会
 - 須山計一講演会 令和７年７月６日（日）
- （４）役員研修旅行 令和７年６月２２日（日）
- （５）県地区二十歳の集い実行委員会への協力
 - 令和７年度二十歳の集い １月１１日（日）
- （６）各事業の情報発信
- （７）その他

Ⅲ 文化委員会事業計画

１ 活動目標

- （１）地域文化を継承すると共に発掘、創造を図る。
- （２）常に地域の関心を集める文化事業を展開し、地域文化の向上発展を図ると共に地域住民の交流・親睦を深め、活力ある地域づくりを推進する。
- （３）各種事業を通じ、まちづくり委員会・各種団体との連携を深める。

2 事業計画

文化活動団体の支援や意欲のある方を対象とした深い内容の事業展開も見据えつつ、多様な方々が地域の文化や歴史を知り、交流する機会を大切に、地域文化の向上発展と住民の交流・親睦を図っていききたい。また、分館同士が交流し、刺激し合い、分館の文化活動の発展につながる機会をつくっていききたい。

- (1) ふるさと再発見ワンデーマーチ 5月3日(土・祝)
- (2) いいだ人形劇フェスタ 2025 8月7日(木)～8月10日(日)
- (3) ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭 11月1日(土)～2日(日)
- (4) 鼎地区二十歳の集い、二十歳の集い実行委員会への協力 1月11日(日)
- (5) ふるさと学習、分館事業などへの協力
- (6) ふるさと鼎コマーシャル制作への協力
- (7) その他

IV 体育委員会事業計画

1 活動目標

- (1) 各種大会を計画・実施することを通じ、地域住民の交流・親睦を推進し、スポーツをとおして、元気な地域づくりを推進します。
- (2) 気軽にできるスポーツの普及と定着の推進を図ります。
- (3) 上記実現のために体育関係団体、スポーツ推進委員との連絡・協調を図ります。

2 事業計画

各種体育事業について、地域の交流・親睦と健康増進を図るため、各地区の意見を踏まえながら実施に向けて検討をする。検討に当たっては、状況に合わせ大会のあり方、運営方法等柔軟に対応していく。

- (1) 鼎地区体育祭(ペタンク大会) 6月8日(日)
- (2) ニュースポーツ講習会 8月22日(金)
- (3) 第37回鼎地区縦断駅伝大会 9月7日(日)
- (4) 第38回鼎公民館長杯冬季スポーツ大会 2月1日(日)
- (5) その他
 - ①ふるさと再発見ワンデーマーチへの協力
 - ②ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭への参加
 - ③飯田市女性バレーボール大会参加支援
 - ④みなみ信州駅伝・ロードレース大会への参加

V 広報委員会事業計画

1 活動目標

- (1) 公民館活動報告と共に地域の現状や課題を提起し、住民の皆さんが「鼎」により深く関心をもってもらえるように努めます。
- (2) 広報鼎の編集委員会と連携し、館報かなえを発行します。
- (3) 紙面に工夫を凝らし、読みやすく親しみやすい館報作りを心がけます。

2 事業計画

- (1) 館報かなえの発行
 - ①回数 年4回広報鼎に合わせる
 - ②仕様 A4版 4頁(カラーページ含む)
 - ③印刷部数 広報鼎に合わせる
 - ④配布 広報鼎と合冊とし、組合回覧での配布とする

- (2) 各種行事の記録（写真ビデオ等撮影）
- (3) 委員研修の実施
本館・分館の広報委員を対象とした研修会や、分館報の紹介を通じた研修を実施します。
- (4) ふるさと県コマーシャル制作への協力

VI 明るい選挙事業計画

1 活動目標

- (1) 飯田市明るい選挙推進協議会と連携し、選挙への意識高揚及び投票率の向上を図ります。

2 事業計画

- (1) 飯田市明るい選挙推進事業実施計画に添った事業への協力
- (2) 若い有権者に対しての啓発活動（二十歳の集いにおける啓発）
- (3) 明るい選挙推進大会への参加
- (4) 政治家の活動状況の見守りと議会傍聴
- (5) 広報活動の推進
- (6) 選挙時の啓発活動の推進

令和7年4月22日 提出
令和7年 月 日 議決

県地区まちづくり委員会
会長 奥村 充由

議案第5号 令和7年度 鼎地区まちづくり委員会 一般会計予算（案）

1 令和7年度 鼎地区まちづくり委員会 一般会計予算（案）

令和7年度 鼎地区まちづくり委員会一般会計予算は、次に定めるところによる。

(1) 収入支予算の総額を、収入支出それぞれ 45,276千円 と定める。

(2) 支出の各予算項目に過不足が生じた場合は、流用・充用することができる。

	今年度予算額	前年度予算額	比 較
収 入 額	45,276,000	41,515,000	3,761,000
支 出 額	45,276,000	41,515,000	3,761,000
差引収支額	0	0	0

(単位:円)

項 目	今年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
収入の部				
1 上部団体交付金	729,600	784,000	△ 54,400	
2 共同募金配分金	593,600	658,000	△ 64,400	共同募金配分金
3 社会を明るくする運動配分金	86,000	86,000	0	愛のはがき募金配分金
4 補助金	50,000	40,000	10,000	婚活事業補助金、排水路水門管理補助金
2 その他収入	2,283,482	1,760,435	523,047	
1 交通安全事業所会費	175,000	175,000	0	交通安全事業所会費
2 公民館学級・講座受講料	100,000	165,000	△ 65,000	学級・講座受講料
3 環境衛生アルミ缶売上収入	500,000	300,000	200,000	アルミ缶売上収入
4 財産収入	317,000	317,000	0	財産区交付金
5 雑収入	828,482	90,435	738,047	交通災害共済加入報償金、貸付金返戻金
6 ふれあい広場事業収入	50,000	400,000	△ 350,000	ふれあい広場事業収入
7 小さな善意運動募金収入	3,000	3,000	0	小さな善意運動募金
8 寄付金	310,000	310,000	0	再生可能エネルギー事業寄付金
3 市交付金A	10,855,688	10,881,108	△ 25,420	
1 交付金A	10,855,688	10,881,108	△ 25,420	飯田市パワーアップ地域交付金
4 市交付金B	5,471,470	5,602,000	△ 130,530	事業交付金・補助金
1 防犯灯管理事業交付金	782,000	781,000	1,000	市危機管理課より
2 保健推進活動交付金	202,000	201,000	1,000	市保健課より
3 リサイクルステーション管理交付金	220,000	220,000	0	市環境課より
4 集積所管理交付金	640,000	640,000	0	市環境課より
5 環境美化活動補助金	10,000	10,000	0	市環境課より
6 河川清掃補助金	52,470	48,000	4,470	市環境課より
8 社協活動交付金	685,000	692,000	△ 7,000	飯田市社協より
9 文書配付事業交付金	2,800,000	2,900,000	△ 100,000	市総務文書課より
10 自治活動組織加入促進事業補助金	80,000	110,000	△ 30,000	市地域自治振興課より
5 まちづくり委員会会費	11,355,000	11,555,000	△ 200,000	
1 まちづくり委員会会費	11,355,000	11,555,000	△ 200,000	会費3,050戸、個人協力費、事業所協力費
6 繰入金	3,770,000	300,000	3,470,000	
1 繰入金	3,770,000	300,000	3,470,000	消防協力費、再生可能エネルギー特別会計
7 繰越金	10,810,760	10,632,457	178,303	
1 繰越金	10,810,760	10,632,457	178,303	前年度繰越金
収入額合計	45,276,000	41,515,000	3,761,000	

(単位:円)

項 目	今年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
支出の部				
1 交付金事業費	21,116,200	17,615,000	3,501,200	市交付金関係事業費
1 事務関係費	1,065,000	950,000	115,000	
1 事務職員手当	740,000	600,000	140,000	雇用職員賃金
2 事務機器賃借料	25,000	24,000	1,000	委員会事務使用機器
3 事務消耗品費	190,000	180,000	10,000	委員会事務用消耗品
4 事務燃料費	80,000	80,000	0	委員会事務用灯油・ガソリン
5 事務印刷製本費	30,000	66,000	△ 36,000	ゼロックス使用料
2 事業関係費	15,491,200	14,315,000	1,176,200	
1 報償費	3,208,000	3,223,000	△ 15,000	文書配付委員費用弁償、講師謝礼等
2 消耗品費	643,000	643,000	0	事業消耗品
3 燃料費	50,000	80,000	△ 30,000	事業燃料費
4 印刷製本費	1,630,000	1,630,000	0	広報かなえ等印刷費
5 修繕料	1,330,000	1,310,000	20,000	防犯灯・交通安全施設等
6 通信運搬費	466,000	186,000	280,000	切手・はがき等
7 保険料	580,000	550,000	30,000	自治活動傷害保険料
8 使用料・賃借料	550,000	350,000	200,000	施設使用料・事業機器リース等
9 施設費	5,000	50,000	△ 45,000	生活安全施設等
10 被服費	761,200	185,000	576,200	制服・帽子・腕章・タスキ等
11 負担金・補助・交付金	6,266,000	6,107,000	159,000	支部・団体等交付金、自治活動交付金
12 租税公課	2,000	1,000	1,000	収入印紙
3 パワーアップ事業費	4,560,000	2,350,000	2,210,000	
1 パワーアップ事業費	4,560,000	2,350,000	2,210,000	
1 パワーアップ事業費	2,000,000	2,200,000	△ 200,000	パワーアップ事業費
2 パトロール隊助成金	150,000	150,000	0	子どもを守るパトロール

項 目		今年度予算額	前年度予算額	差引額	説 明
款 項 目 節		(a)	(b)	(a-b)	
	3 子どもを育む三事業	700,000	0	700,000	体験学習・居場所づくり・世代間交流
	4 子どもを育む全体事業	200,000	0	200,000	子どもを育む委員会主催体験学習事業
	5 景観まちづくり推進事業	150,000	0	150,000	景観づくり講演会・推進会議運営費ほか
	6 木育推進事業	350,000	0	350,000	新生児誕生プレゼント
	7 男女共同参画事業	150,000	0	150,000	女性プロジェクト・女性フォーラム・講演会等
	8 居場所づくり推進事業	60,000	0	60,000	まちづくりサロン賃借料ほか
	9 りんごん関連経費	500,000	0	500,000	参加経費等、Tシャツ製作費負担
	10 結婚相談事業	300,000	0	300,000	コイレク実行委員会運営支援
2	一般事業費	22,431,000	20,570,000	1,861,000	会費等収入関係事業費
1	他団体関係費	3,893,000	873,000	3,020,000	
	1 会費納入金	473,000	483,000	△ 10,000	市社協会費等
	2 負担金・補助・交付金	3,000,000	0	3,000,000	消防協力費交付金
	3 交際費	420,000	390,000	30,000	交際費・他団体連絡費
2	総務費	6,329,000	6,509,000	△ 180,000	
	1 役員費用弁償額	4,600,000	4,630,000	△ 30,000	役員費用弁償
	2 監査委員手当	40,000	40,000	0	監査委員手当
	3 事業費用弁償額	235,000	275,000	△ 40,000	事業に係る費用負担
	4 諸手当	500,000	500,000	0	役員費用弁償以外の委員等手当
	5 旅費	0	0	0	役員等旅費
	6 研修費	900,000	1,000,000	△ 100,000	研修関係費
	7 弔慰見舞金	54,000	64,000	△ 10,000	弔慰金・見舞金
	8 教育環境整備費	0	0	0	
3	運営費	2,337,000	2,639,000	△ 302,000	
	1 表彰費	60,000	100,000	△ 40,000	文書筆耕・記念品
	2 需用費	562,000	605,000	△ 43,000	運営関係費等
	3 会議費	880,000	910,000	△ 30,000	会議関係等
	4 事務機器維持費	0	0	0	事務機器維持費
	5 事業消耗品費	450,000	500,000	△ 50,000	事業関係消耗品
	6 事業印刷製本費	45,000	45,000	0	会費納付書印刷、事業印刷等
	7 修繕料	70,000	50,000	20,000	各種機器修繕等
	8 手数料	40,000	41,000	△ 1,000	振込手数料、各種手数料
	9 備品購入費	30,000	188,000	△ 158,000	公民館事業備品
	10 保守委託料	200,000	200,000	0	システム保守
4	事業費	9,169,000	10,244,000	△ 1,075,000	
1	地域づくり事業費	6,306,000	7,628,000	△ 1,322,000	イベント等別事業予算
	1 地域振興事業費	2,976,000	3,950,000	△ 974,000	懇談会、財産区作業、木工育関連経費ほか
	2 広報事業費	200,000	300,000	△ 100,000	ホームページ作成
	3 再エネ活用事業	1,080,000	310,000	770,000	ガーデニング講習・環境教育・小中合同講演会ほか
	4 少年スポーツ大会事業費	0	0	0	子どもを育む委員会 ベタंक大会（公民館事業）
	5 子どもの居場所づくり事業費	0	0	0	子どもを育む委員会 各区事業
	10 人形劇フェスタ事業費	140,000	80,000	60,000	公民館 公演会場運営経費他
	11 文化祭事業費	400,000	400,000	0	公民館 消耗品・参加景品他
	12 小中PTA公民館合同事業費	0	0	0	
	13 各種文化事業費	80,000	85,000	△ 5,000	公民館 講座、小中PTA合同講演会
	14 夏季体育祭事業費	60,000	60,000	0	公民館 大会消耗品、審判飲料代他
	15 縦断駅伝大会事業費	180,000	180,000	0	公民館 大会消耗品、入賞メダル他
	16 冬季スポーツ大会事業費	30,000	70,000	△ 40,000	公民館 大会用具、参加景品
	17 みなみ信州駅伝事業費	15,000	18,000	△ 3,000	公民館 参加登録費、参加運営費
	18 各種体育事業費	80,000	80,000	0	公民館 女性バレーボール大会他
	19 ブロック合同事業費	20,000	20,000	0	公民館 役員研修会他
	20 ホームページ運営事業費	0	0	0	公民館 レンタルサーバ借用他
	21 学級・講座事業費	565,000	565,000	0	公民館 講師謝礼、講座消耗品他
	22 市民セミナー事業費	30,000	30,000	0	公民館 消耗品
	23 世代間交流事業費	0	0	0	子どもを育む委員会
	24 ふれあい広場事業費	270,000	400,000	△ 130,000	ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭事
	25 ワンデーマーチ事業費	180,000	180,000	0	公民館 消耗品、参加賞作成他
	26 三事業費	0	700,000	△ 700,000	
	27 全体事業費	0	200,000	△ 200,000	
2	部会費	825,000	885,000	△ 60,000	部会・委員会別事業予算
	1 交通安全指導部会費	0	0	0	
	2 施設部会費	0	0	0	
	3 生活安全女性部会費	0	20,000	△ 20,000	生活安全女性部会費
	4 生活安全広報部費	0	0	0	
	5 分館長主事会費	50,000	150,000	△ 100,000	公民館分館長主事会活動費、研修会費
	6 文化委員会費	150,000	130,000	20,000	公民館文化委員会費活動費、研修会費
	7 体育委員会費	150,000	130,000	20,000	公民館体育委員会費活動費、研修会費
	8 広報委員会費	150,000	130,000	20,000	公民館広報委員会費活動費、研修会費
	9 総務運営部会費	50,000	50,000	0	健康福祉 部会活動費
	10 地域健康福祉部会費	25,000	25,000	0	健康福祉 部会活動費
	11 ボランティア部会費	250,000	250,000	0	健康福祉 部会活動費
	12 結婚相談部会費	0	0	0	地域振興事業費で支出
3	交付金・補助金・助成金	868,000	761,000	107,000	団体等交付金・補助金・助成金
	1 公園愛護事業交付金	153,000	153,000	0	妙琴公園、矢高中央公園・かなえ中央公園
	2 児童館事業助成金	122,000	56,000	66,000	児童館センター・クラブ、明星・あかり児童クラブ
	3 老人憩いの家事業助成金	31,000	31,000	0	老人憩いの家事業助成金

項 目		今年度予算額	前年度予算額	差引額	説 明
款 項 目 節		(a)	(b)	(a-b)	
	4 獅子祭り助成金	51,000	51,000	0	獅子祭り助成金
	5 各種団体補助金	120,000	120,000	0	各種団体補助
	6 高齢者事業補助金	350,000	350,000	0	見守り支援、高齢者支援
	7 仲間づくり活動支援補助金	41,000	0	41,000	壮年団
	4 事業負担金	670,000	670,000	0	団体等事業負担金
	1 二十歳の集い実行委員会負担金	350,000	350,000	0	鼎地区二十歳の集い実行委員会負担金
	2 自主防災事業負担金	320,000	320,000	0	無線クラブ、防災資機材
	5 アルミ缶回収事業	500,000	300,000	200,000	環境衛生委員会事業
	1 各区(支部)交付金	440,000	300,000	140,000	各区(支部)交付金
	2 寄付金	60,000	0	60,000	売上の一部を鼎小中学校へ寄付
	3 ふれあい広場事業交付金	0	0	0	ふれあい広場事業交付金
	5 操出金	703,000	305,000	398,000	
	1 基金繰出金	703,000	305,000	398,000	社会福祉基金等繰出金・貸出特別基金繰出金
	3 予備費	1,728,800	3,330,000	△ 1,601,200	
	1 予備費	1,728,800	3,330,000	△ 1,601,200	予備費
	支出額合計	45,276,000	41,515,000	3,761,000	

令和7年4月22日 提出

令和7年 月 日 議決

鼎地区まちづくり委員会
会長 奥村 充由

令和7年度 鼎地区まちづくり委員会会計 予算（案）
【区長委員長会】

項 目	今年度予算額	前年度予算額	差引額	説 明
款 項 目 節	(a)	(b)	(a-b)	
収入の部				
2 その他収入	127,482	89,435	38,047	
5 雑収入	127,482	89,435	38,047	リソグラフ印刷代、預金利息
3 市交付金A	6,919,688	6,945,108	△ 25,420	
1 交付金A	6,919,688	6,945,108	△ 25,420	飯田市パワーアップ地域交付金
5 まちづくり委員会会費	5,165,000	4,665,000	500,000	
1 まちづくり委員会会費	5,165,000	4,665,000	500,000	会費配分
6 繰入金	3,000,000	0	3,000,000	
1 繰入金	3,000,000	0	3,000,000	消防協力費
7 繰越金	1,524,575	2,121,249	△ 596,674	
1 繰越金	1,524,575	2,121,249	△ 596,674	
収入額合計	16,736,745	13,820,792	2,915,953	

項 目	今年度予算額	前年度予算額	差引額	説 明
款 項 目 節	(a)	(b)	(a-b)	
支出の部				
1 交付金事業費	7,968,000	7,729,000	239,000	市交付金関係事業費
1 事務関係費	1,065,000	950,000	115,000	
1 事務職員手当	740,000	600,000	140,000	雇用職員賃金(週4日×半日)
2 事務機器賃借料	25,000	24,000	1,000	委員会事務使用機器(センター関係)
3 事務消耗品費	190,000	180,000	10,000	委員会事務用消耗品(センター関係)
4 事務燃料費	80,000	80,000	0	委員会事務用灯油・ガソリン
5 事務印刷製本費	30,000	66,000	△ 36,000	ゼロックス使用料(センター関係)
2 事業関係費	4,903,000	4,579,000	324,000	
6 通信運搬費	290,000	10,000	280,000	切手・はがき・アンケート用封筒等
7 保険料	580,000	550,000	30,000	自治活動保険料
11 負担金・補助・交付金	4,033,000	4,019,000	14,000	支部交付金、振込手数料分加算
3 パワーアップ事業費	2,000,000	2,200,000	△ 200,000	
1 パワーアップ事業費	2,000,000	2,200,000	△ 200,000	
1 パワーアップ事業費	2,000,000	2,200,000	△ 200,000	鼎地区パワーアップ事業費
2 一般事業費	8,715,000	5,834,000	2,881,000	会費等収入関係事業費
1 他団体関係費	3,300,000	250,000	3,050,000	
2 負担金・補助・交付金	3,000,000	0	3,000,000	消防協力費交付金(飯田市消防団第15分団)
3 交際費	300,000	250,000	50,000	交際費・他団体連絡費・二十歳の集いほか
2 総務費	4,770,000	4,810,000	△ 40,000	
1 役員費用弁償額	4,600,000	4,630,000	△ 30,000	役員費用弁償
2 監査委員手当	40,000	40,000	0	監査委員手当
6 研修費	100,000	100,000	0	住民自治学習会関係費
7 弔慰見舞金	30,000	40,000	△ 10,000	弔慰金・見舞金
3 運営費	645,000	773,000	△ 128,000	
1 表彰費	30,000	70,000	△ 40,000	文書筆耕・記念品
2 需用費	250,000	250,000	0	運営関係費等
3 会議費	50,000	50,000	0	四役会、区長会、区長・委員長会
5 事業消耗品費	150,000	150,000	0	リソグラフ、情報関係費等
6 事業印刷製本費	45,000	45,000	0	会費納付書印刷
7 修繕料	70,000	50,000	20,000	各種機器修繕等
8 手数料	20,000	20,000	0	振込手数料、各種手数料
9 備品購入費	30,000	138,000	△ 108,000	備品購入
5 繰出金	0	1,000	△ 1,000	
1 基金繰出金	0	1,000	△ 1,000	財政調整基金等繰出金
3 予備費	53,745	257,792	△ 204,047	
1 予備費	53,745	257,792	△ 204,047	
支出額合計	16,736,745	13,820,792	2,915,953	

令和7年度 鼎地区まちづくり委員会会計 予算（案）
【地域振興部会】

項 目	今年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
収入の部				
1 上部団体交付金	50,000	40,000	10,000	
4 補助金	50,000	40,000	10,000	婚活事業補助金、排水路水門管理補助金
2 その他収入	1,327,000	627,000	700,000	
4 財産収入	317,000	317,000	0	財産区事業交付金
5 雑収入	700,000	0	700,000	東鼎区貸付金返還金
8 寄付金	310,000	310,000	0	再生可能エネルギー寄付金
3 市交付金A	1,957,000	1,957,000	0	
1 交付金A	1,957,000	1,957,000	0	飯田市パワーアップ地域交付金
4 市交付金B	2,880,000	3,010,000	△ 130,000	事業交付金・補助金
9 文書配付事業交付金	2,800,000	2,900,000	△ 100,000	飯田市文書配付事業交付金
10 自治活動組織加入促進事業補助金	80,000	110,000	△ 30,000	市コーディネーター事業補助金
5 まちづくり委員会会費	1,750,000	2,450,000	△ 700,000	
1 まちづくり委員会会費	1,750,000	2,450,000	△ 700,000	会費配分
6 繰入金	770,000	0	770,000	
1 繰入金	770,000	0	770,000	再生可能エネルギー寄付金基金繰入
7 繰越金	4,279,983	3,985,552	294,431	
1 繰越金	4,279,983	3,985,552	294,431	前年度繰越金
収入額合計	13,013,983	12,069,552	944,431	

項 目	今年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
支出の部				
1 交付金事業費	6,647,000	5,105,000	1,542,000	市交付金関係事業費
2 事業関係費	5,137,000	5,105,000	32,000	
1 報償費	3,050,000	3,050,000	0	文書配付委員費用弁償
2 消耗品費	150,000	150,000	0	事業消耗品
3 燃料費	50,000	80,000	△ 30,000	会議室灯油代、ガソリン代
4 印刷製本費	1,600,000	1,600,000	0	広報かなえほか
6 通信運搬費	120,000	120,000	0	文書配達員携帯電話代、切手、インターネット通信
11 負担金・補助・交付金	165,000	104,000	61,000	市コーディネーター事業補助金上乗せ
12 租税公課	2,000	1,000	1,000	契約用収入印紙代
3 パワーアップ事業費	1,510,000	0	1,510,000	
1 パワーアップ事業費	1,510,000	0	1,510,000	
5 景観まちづくり推進事業	150,000	0	150,000	景観づくり講演会・推進会議運営費ほか
6 木育推進事業	350,000	0	350,000	新生児誕生プレゼント
7 男女共同参画事業	150,000	0	150,000	女性プロジェクト・女性フォーラム・講演会等
8 居場所づくり推進事業	60,000	0	60,000	まちづくりサロン賃借料ほか
9 りんご園関連経費	500,000	0	500,000	参加経費等、Tシャツ製作費負担
10 結婚相談事業	300,000	0	300,000	コイレク実行委員会運営支援
2 一般事業費	6,269,000	6,237,000	32,000	会費等収入関係事業費
1 他団体関係費	40,000	60,000	△ 20,000	
3 交際費	40,000	60,000	△ 20,000	交際費・他団体連絡費
2 総務費	5,000	305,000	△ 300,000	
3 事業費用弁償額	5,000	5,000	0	車借り上げ料
6 研修費	0	300,000	△ 300,000	研修関係費
3 運営費	550,000	550,000	0	
2 需用費	250,000	250,000	0	運営関係費等
3 会議費	100,000	100,000	0	総務文教部会・建設部会・産業経済部会ほか
10 保守委託料	200,000	200,000	0	HPシステム保守、管理委託料
4 事業費	4,974,000	5,321,000	△ 347,000	
1 地域づくり事業費	4,256,000	4,560,000	△ 304,000	イベント等事業予算
1 地域振興事業費	2,976,000	3,950,000	△ 974,000	懇談会、財産区作業、木育関連経費ほか
2 広報事業費	200,000	300,000	△ 100,000	ホームページ業務委託、各種啓発事業
3 再エネ活用事業	1,080,000	310,000	770,000	ガーデニング講習・環境教育・小中合同講演会ほか
3 交付金・補助金・助成金	398,000	291,000	107,000	団体等交付金・補助金・助成金
1 公園愛護事業交付金	153,000	153,000	0	妙琴公園・矢高中央公園・かなえ中央公園
2 児童館事業助成金	122,000	56,000	66,000	鼎児童センター・クラブ、あかり・明星保育園
3 老人憩いの家事業助成金	31,000	31,000	0	老人憩いの家
4 獅子祭り助成金	51,000	51,000	0	鼎郷土芸能団体連合会
7 仲間づくり活動支援補助金	41,000	0	41,000	鼎壮年団
4 事業負担金	320,000	470,000	△ 150,000	団体等事業負担金
1 二十歳の集い実行委員会負担金	0	150,000	△ 150,000	二十歳の集い実行委員会負担金
2 自主防災事業負担金	320,000	320,000	0	無線クラブ、日赤、自主防災会負担金
5 繰出金	700,000	1,000	699,000	
1 基金繰出金	700,000	1,000	699,000	貸出特別基金繰出金
3 予備費	97,983	727,552	△ 629,569	
1 予備費	97,983	727,552	△ 629,569	
支出額合計	13,013,983	12,069,552	944,431	

令和7年度 県地区まちづくり委員会会計 予算（案）
【生活安全委員会】

項 目	今年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
収入の部				
2 その他収入	175,000	175,000	0	
1 交通安全事業所会費	175,000	175,000	0	交通災害共済加入募集事務報奨金@50円
3 市交付金A	334,000	334,000	0	
1 交付金A	334,000	334,000	0	飯田市パワーアップ地域交付金
4 市交付金B	782,000	781,000	1,000	事業交付金・補助金
1 防犯灯管理事業交付金	782,000	781,000	1,000	防犯灯473基分
5 まちづくり委員会会費	1,120,000	810,000	310,000	
1 まちづくり委員会会費	1,120,000	810,000	310,000	会費配分
6 繰入金	0	300,000	△ 300,000	
1 繰入金	0	300,000	△ 300,000	LED防犯灯更新基金から繰入れ
7 繰越金	532,213	428,150	104,063	
1 繰越金	532,213	428,150	104,063	前年度繰越金
収入額合計	2,943,213	2,828,150	115,063	

項 目	今年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
支出の部				
1 交付金事業費	1,905,000	1,585,000	320,000	市交付金関係事業費
2 事業関係費	1,905,000	1,585,000	320,000	
2 消耗品費	50,000	50,000	0	事業関係消耗品
5 修繕料	1,300,000	1,300,000	0	防犯灯維持管理・移設等
9 施設費	5,000	50,000	△ 45,000	生活安全施設等
10 被服費	550,000	185,000	365,000	交通安全指導員用制服・帽子等
2 一般事業費	985,000	1,118,000	△ 133,000	会費等収入関係事業費
2 総務費	903,000	703,000	200,000	
3 事業費用弁償額	200,000	200,000	0	交通安全指導員用制服クリーニング代
4 諸手当	500,000	500,000	0	生活安全委員活動手当、正副女性部長手当
6 研修費	200,000	0	200,000	研修関係費
7 弔慰見舞金	3,000	3,000	0	弔慰金・見舞金
3 運営費	82,000	95,000	△ 13,000	
2 需用費	2,000	5,000	△ 3,000	交通指導所運営費
3 会議費	80,000	90,000	△ 10,000	支部長会
4 事業費	0	20,000	△ 20,000	
2 部会費	0	20,000	△ 20,000	部会・委員会別事業予算
3 生活安全女性部会費	0	20,000	△ 20,000	女性部会費
5 繰出金	0	300,000	△ 300,000	
1 基金繰出金	0	300,000	△ 300,000	LED防犯灯更新基金積立
3 予備費	53,213	125,150	△ 71,937	
1 予備費	53,213	125,150	△ 71,937	
支出額合計	2,943,213	2,828,150	115,063	

令和7年度 県地区まちづくり委員会会計 予算（案）
【子どもを育む委員会】

項 目	今年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
収入の部				
1 上部団体交付金	86,000	86,000	0	
3 社会を明るくする運動配分金	86,000	86,000	0	愛のはがき募金配分金
3 市交付金A	774,000	774,000	0	
1 交付金A	774,000	774,000	0	飯田市パワーアップ地域交付金
5 まちづくり委員会会費	230,000	230,000	0	
1 まちづくり委員会会費	230,000	230,000	0	会費配分
7 繰越金	1,154,357	1,081,993	72,364	
1 繰越金	1,154,357	1,081,993	72,364	前年度繰越金
収入額合計	2,244,357	2,171,993	72,364	

項 目	今年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
支出の部				
1 交付金事業費	1,614,200	408,000	1,206,200	市交付金関係事業費
2 事業関係費	564,200	258,000	306,200	
2 消耗品費	5,000	5,000	0	事務用消耗品
6 通信運搬費	3,000	3,000	0	通信費
10 被服費	211,200	0	211,200	パトロール用ベスト70着
11 負担金・補助・交付金	345,000	250,000	95,000	支部交付金 小中学生1人200円、均等割12,500円
3 パワーアップ事業費	1,050,000	150,000	900,000	
1 パワーアップ事業費	1,050,000	150,000	900,000	
2 パトロール隊助成金	150,000	150,000	0	地区重点パトロール 1人1,500円
3 子どもを育む三事業	700,000	0	700,000	体験学習・居場所づくり・世代間交流
4 子どもを育む全体事業	200,000	0	200,000	子どもを育む委員会主催体験学習事業
2 一般事業費	225,000	1,125,000	△ 900,000	会費等収入関係事業費
2 総務費	105,000	105,000	0	
6 研修費	100,000	100,000	0	視察研修費
7 弔慰見舞金	5,000	5,000	0	弔慰金・見舞金
3 運営費	120,000	120,000	0	
2 需用費	30,000	30,000	0	視察研修等打ち合わせ運営費
3 会議費	90,000	90,000	0	三役会、支部長会
4 事業費	0	900,000	△ 900,000	
1 地域づくり事業費	0	900,000	△ 900,000	イベント等別事業予算
26 三事業費	0	700,000	△ 700,000	
27 全体事業費	0	200,000	△ 200,000	
3 予備費	405,157	638,993	△ 233,836	
1 予備費	405,157	638,993	△ 233,836	
支出額合計	2,244,357	2,171,993	72,364	

令和7年度 鼎地区まちづくり委員会会計 予算（案）
【健康福祉委員会】

項 目	今年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
収入の部				
1 上部団体交付金	593,600	658,000	△ 64,400	
2 共同募金配分金	593,600	658,000	△ 64,400	共同募金配分金
2 その他収入	53,000	403,000	△ 350,000	
6 ふれあい広場事業収入	50,000	400,000	△ 350,000	ふれあい広場・文化祭チラシ製作費負担金
7 小さな善意運動募金収入	3,000	3,000	0	小さな善意運動募金
3 市交付金A	191,000	191,000	0	
1 交付金A	191,000	191,000	0	飯田市パワーアップ地域交付金
4 市交付金B	887,000	893,000	△ 6,000	事業交付金・補助金
2 保健推進活動交付金	202,000	201,000	1,000	保健課より
8 社協活動交付金	685,000	692,000	△ 7,000	市社協より
5 まちづくり委員会会費	677,000	677,000	0	
1 まちづくり委員会会費	677,000	677,000	0	会費配分
7 繰越金	696,183	539,193	156,990	
1 繰越金	696,183	539,193	156,990	前年度繰越金
収入額合計	3,097,783	3,361,193	△ 263,410	

項 目	今年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
支出の部				
1 交付金事業費	1,147,000	1,166,000	△ 19,000	市交付金関係事業費
2 事業関係費	1,147,000	1,166,000	△ 19,000	
1 報償費	143,000	143,000	0	健康教室、プラステン講座講師謝礼
2 消耗品費	98,000	98,000	0	健康づくり事業
6 通信運搬費	3,000	3,000	0	切手・ハガキ代、運搬費
11 負担金・補助・交付金	903,000	922,000	△ 19,000	通所B、日赤、見守り支援、サロン、マップ更新、健康づくりほか
2 一般事業費	1,754,000	1,895,000	△ 141,000	会費等収入関係事業費
1 他団体関係費	483,000	493,000	△ 10,000	
1 会費納入金	473,000	483,000	△ 10,000	市社協会費
3 交際費	10,000	10,000	0	交際費・他団体連絡費
2 総務費	53,000	53,000	0	
6 研修費	50,000	50,000	0	視察等研修
7 弔慰見舞金	3,000	3,000	0	弔慰金・見舞金
3 運営費	150,000	151,000	△ 1,000	
3 会議費	130,000	130,000	0	定例会等
8 手数料	20,000	21,000	△ 1,000	振込手数料
4 事業費	1,065,000	1,195,000	△ 130,000	
1 地域づくり事業費	270,000	400,000	△ 130,000	イベント等別事業予算
24 ふれあい広場事業費	270,000	400,000	△ 130,000	ふるさと県ふれあい広場・文化祭事業費
2 部会費	325,000	325,000	0	
9 総務運営部会費	50,000	50,000	0	ひとり親世帯支援
10 地域健康福祉部会費	25,000	25,000	0	民生委員との連絡会、健康講演会
11 ボランティア部会費	250,000	250,000	0	愛の贈り物、絵手紙交流
3 交付金・補助金・助成金	470,000	470,000	0	
5 各種団体補助金	120,000	120,000	0	各種団体補助
6 高齢者事業補助金	350,000	350,000	0	高齢者外出支援、世代間交流
5 操出金	3,000	3,000	0	
1 基金繰出金	3,000	3,000	0	社会福祉基金繰出金(小さな善意運動 募金)
3 予備費	196,783	300,193	△ 103,410	
1 予備費	196,783	300,193	△ 103,410	
支出額合計	3,097,783	3,361,193	△ 263,410	

令和7年度 鼎地区まちづくり委員会会計 予算（案）
【環境衛生委員会】

項 目	今年度予算額	前年度予算額	差引額	説 明
款 項 目 節	(a)	(b)	(a-b)	
収入の部				
2 その他収入	501,000	301,000	200,000	
3 環境衛生アルミ缶売上収入	500,000	300,000	200,000	アルミ缶売上収入
5 雑収入	1,000	1,000	0	リサイクルバック売上収入
4 市交付金B	922,470	918,000	4,470	事業交付金・補助金
3 リサイクルステーション管理交付金	220,000	220,000	0	市環境課より
4 集積所管理交付金	640,000	640,000	0	市環境課より
5 環境美化活動補助金	10,000	10,000	0	市環境課より
6 河川清掃補助金	52,470	48,000	4,470	市環境課より
5 まちづくり委員会会費	100,000	100,000	0	
1 まちづくり委員会会費	100,000	100,000	0	会費配分
7 繰越金	783,430	915,412	△ 131,982	
1 繰越金	783,430	915,412	△ 131,982	前年度繰越金
収入額合計	2,306,900	2,234,412	72,488	

項 目	今年度予算額	前年度予算額	差引額	説 明
款 項 目 節	(a)	(b)	(a-b)	
支出の部				
1 交付金事業費	880,000	852,000	28,000	市交付金関係事業費
2 事業関係費	880,000	852,000	28,000	
1 報償費	10,000	10,000	0	講師謝礼等
2 消耗品費	20,000	20,000	0	事業関係消耗品
5 修繕料	30,000	10,000	20,000	動力噴射機点検・修繕
11 負担金・補助・交付金	820,000	812,000	8,000	支部交付金
2 一般事業費	1,263,000	1,143,000	120,000	会費等収入関係事業費
2 総務費	233,000	273,000	△ 40,000	
3 事業費用弁償額	30,000	70,000	△ 40,000	パトロール員・正副女性部長費用弁償
6 研修費	200,000	200,000	0	研修関係費
7 弔慰見舞金	3,000	3,000	0	弔慰金・見舞金
3 運営費	530,000	570,000	△ 40,000	
2 需用費	30,000	70,000	△ 40,000	文化祭運営関係費
3 会議費	200,000	200,000	0	三役会、支部長会
5 事業消耗品費	300,000	300,000	0	のぼり旗・ポール等消耗品
4 事業費	500,000	300,000	200,000	
5 アルミ缶回収事業	500,000	300,000	200,000	
1 各区(支部)交付金	440,000	300,000	140,000	各区(支部)交付金
2 寄付金	60,000	0	60,000	売上の一部を鼎小中学校へ寄付
3 予備費	163,900	239,412	△ 75,512	
1 予備費	163,900	239,412	△ 75,512	
支出額合計	2,306,900	2,234,412	72,488	

令和7年度 鼎地区まちづくり委員会会計 予算（案）
【公民館・教育文化委員会】

項 目	今年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
収入の部				
2 その他収入	100,000	165,000	△ 65,000	
2 公民館学級・講座受講料	100,000	165,000	△ 65,000	学級・講座受講料
3 市交付金A	680,000	680,000	0	
1 交付金A	680,000	680,000	0	飯田市パワーアップ地域交付金
5 まちづくり委員会会費	2,313,000	2,623,000	△ 310,000	
1 まちづくり委員会会費	2,313,000	2,623,000	△ 310,000	会費配分
7 繰越金	1,840,019	1,560,908	279,111	
1 繰越金	1,840,019	1,560,908	279,111	前年度繰越金
収入額合計	4,933,019	5,028,908	△ 95,889	

項 目	今年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	差引額 (a-b)	説 明
款 項 目 節				
支出の部				
1 交付金事業費	955,000	770,000	185,000	市交付金関係事業費
2 事業関係費	955,000	770,000	185,000	
1 報償費	5,000	20,000	△ 15,000	講師謝礼等
2 消耗品費	320,000	320,000	0	事業消耗品
4 印刷製本費	30,000	30,000	0	文化祭・パンフレット印刷
6 通信運搬費	50,000	50,000	0	郵送料等
8 使用料・賃借料	550,000	350,000	200,000	文化祭機材賃借料
2 一般事業費	3,220,000	3,218,000	2,000	会費等収入関係事業費
1 他団体関係費	70,000	70,000	0	
3 交際費	70,000	70,000	0	交際費・他団体連絡費
2 総務費	260,000	260,000	0	
6 研修費	250,000	250,000	0	研修関係費
7 弔慰見舞金	10,000	10,000	0	弔慰金・見舞金
3 運営費	260,000	380,000	△ 120,000	
1 表彰費	30,000	30,000	0	功労者表彰
3 会議費	230,000	250,000	△ 20,000	新年度・中間・年度末総会 会議費用
5 事業消耗品費	0	50,000	△ 50,000	事業消耗品
9 備品購入費	0	50,000	△ 50,000	事業備品
4 事業費	2,630,000	2,508,000	122,000	
1 地域づくり事業費	1,780,000	1,768,000	12,000	イベント等別事業予算
10 人形劇フェスタ事業費	140,000	80,000	60,000	公演会場運営経費他
11 文化祭事業費	400,000	400,000	0	消耗品・参加景品他
13 各種文化事業費	80,000	85,000	△ 5,000	講座、小中PTA合同講演会他
14 夏季体育祭事業費	60,000	60,000	0	大会消耗品、審判飲物代他
15 縦断駅伝大会事業費	180,000	180,000	0	大会消耗品、入賞メダル他
16 冬季スポーツ大会事業費	30,000	70,000	△ 40,000	大会用具、参加景品
17 みなみ信州駅伝事業費	15,000	18,000	△ 3,000	参加登録費、参加運営費
18 各種体育事業費	80,000	80,000	0	各種体育事業費
19 ブロック合同事業費	20,000	20,000	0	役員研修会他
21 学級・講座事業費	565,000	565,000	0	講師謝礼、講座消耗品他
22 市民セミナー事業費	30,000	30,000	0	講師謝礼、事業消耗品他
25 ワンデーマーチ事業費	180,000	180,000	0	消耗品、参加賞作成他
2 部会費	500,000	540,000	△ 40,000	部会・委員会別事業予算
5 分館長主事会費	50,000	150,000	△ 100,000	活動費、研修会費
6 文化委員会費	150,000	130,000	20,000	活動費、研修会費
7 体育委員会費	150,000	130,000	20,000	活動費、研修会費
8 広報委員会費	150,000	130,000	20,000	活動費、研修会費
4 事業負担金	350,000	200,000	150,000	団体等事業負担金
1 二十歳の集い実行委員会負担金	350,000	200,000	150,000	鼎地区二十歳の集い実行委員会負担金
3 予備費	758,019	1,040,908	△ 282,889	
1 予備費	758,019	1,040,908	△ 282,889	
支出額合計	4,933,019	5,028,908	△ 95,889	

令和7年度 県地区まちづくり委員会 基金会計等予算(案)

2 令和7年度 県地区まちづくり委員会財政調整基金特別会計(案)

1	令和6年度末残高(令和7年度期首)	5,968,929円	
2	令和7年度積立額	0円	
3	令和7年度収入額	101円	基金利息
4	令和7年度度取崩額	0円	
5	令和7年度末現在高	5,969,030円	信金定期預金

3 令和7年度 県地区まちづくり委員会特別基金会計(案)

1	令和6年度末残高(令和7年度期首)	63,206,589円	1年定期No. 0479461・3証券
2	令和7年度積立額	0円	
3	令和7年度収入額	47,019円	証券利息・基金利息
4	令和7年度度取崩額	45,562円	証券利息のみ特別基金利息会計へ
5	令和7年度末現在高	63,208,046円	

4 令和7年度 県地区まちづくり委員会特別基金利息会計(案)

1	令和6年度末残高(令和7年度期首)	2,247,305円	
2	令和7年度積立額	45,562円	特別基金会計より
3	令和7年度収入額	983円	預金利息
4	令和7年度度取崩額	0円	
5	令和7年度末現在高	2,293,850円	みなみ信州普通預金

5 令和7年度 県地区まちづくり委員会社会福祉基金会計(案)

1	令和6年度末残高(令和7年度期首)	248,316円	
2	令和7年度積立額	3,531円	小さな善意運動募金より
3	令和7年度収入額	4円	基金利息
4	令和7年度度取崩額	0円	
5	令和7年度末現在高	251,851円	信金定期預金

6 令和7年度 県地区まちづくり委員会ふれあい広場基金会計(案)

1	令和6年度末残高(令和7年度期首)	1,643,553円	
2	令和7年度積立額	0円	
3	令和7年度収入額	28円	基金利息
4	令和7年度度取崩額	0円	
5	令和7年度末現在高	1,643,581円	信金定期預金

7 令和7年度 県地区まちづくり委員会社会福祉事業基金会計(案)

1	令和6年度末残高(令和7年度期首)	938,811円	
2	令和7年度積立額	0円	
3	令和7年度収入額	16円	基金利息
4	令和7年度度取崩額	0円	
5	令和7年度末現在高	938,827円	信金定期預金

8 令和7年度 県地区まちづくり委員会環境衛生基金会計(案)

1	令和6年度末残高(令和7年度期首)	2,538,705円	
2	令和7年度積立額	0円	
3	令和7年度収入額	43円	基金利息
4	令和7年度度取崩額	0円	
5	令和7年度末現在高	2,538,748円	信金定期預金

9 令和7年度 鼎地区まちづくり委員会LED防犯灯更新基金会計（案）

1	令和6年度末残高（令和7年度期首）	5,001,258円	
2	令和7年度積立額	0円	
3	令和7年度収入額	85円	基金利息
4	令和7年度度取崩額	0円	
5	令和7年度末現在高	5,001,343円	信金定期預金

10 令和7年度 鼎地区まちづくり委員会地域産業振興特別基金会計（案）

1	令和6年度末残高（令和7年度期首）	5,878,895円	
2	令和7年度積立額	0円	
3	令和7年度収入額	100円	基金利息
4	令和7年度度取崩額	0円	
5	令和7年度末現在高	5,878,995円	信金定期預金

11 令和7年度 鼎地区まちづくり委員会複合施設建設特別基金会計（案）

1	令和6年度末残高（令和7年度期首）	33,363,476円	
2	令和7年度積立額	0円	
3	令和7年度収入額	1,130円	基金利息
4	令和7年度度取崩額	0円	
5	令和7年度末現在高	33,364,606円	信金定期預金

12 令和7年度 鼎地区まちづくり委員会再生可能エネルギー特別会計（案）

1	令和6年度末残高（令和7年度期首）	770,050円	
2	令和7年度積立額	0円	
3	令和7年度収入額	0円	
4	令和7年度度取崩額	770,050円	一般会計への繰入
5	令和7年度末現在高	0円	

13 令和7年度 鼎地区まちづくり委員会貸出特別基金会計（案）

令和6年度末までの返済額	4,000,000円	1,000万円貸付（R2.12.18）
令和7年度の返済に伴う寄付金	11,925円	自主防災会計へ
1 令和6年度末残高（令和7年度期首）	4,000,123円	
2 令和7年度積立額	700,000円	東鼎区からの返済額
3 令和7年度収入額	55円	基金利息
4 令和7年度度取崩額	0円	
5 令和7年度末現在高	4,700,178円	信金定期預金

令和7年4月22日 提出
令和7年 月 日 議決

鼎地区まちづくり委員会
会長 奥村 充由

議案第 1 号の 2

令和 6 年度 鼎地区自主防災会事業報告

鼎地区自主防災会では、「安全で安心して暮らせる生活環境づくり」を目的に、地区住民の安全確保や防災体制の強化に取り組んできました。特に、令和 6 年度は、元旦に発生した「能登半島地震」の被災状況や地区内における組合加入率の低下などを踏まえ、まちづくり委員会と連携して、災害時における支援の在り方を議論し、以下のとおり、主な取り組みにチャレンジしてきました。

- ・災害時における「共助」の基本である「組合単位の安否確認の方法」の振り返りと水平展開
- ・災害に対する「日頃からの備え」を広く定着させるためのチラシの活用
- ・災害時における生活用水等を確保するための井戸所有者等の把握
- ・地震総合防災訓練中止に伴う代替訓練（指定避難所の開設・運営訓練）の実施
- ・防災用トランシーバーの追加購入
- ・社会情勢の変化に伴い地区防災計画の見直し作業に着手

9 月に予定されていた地震総合防災訓練の中止を受け、11 月に実施した代替訓練は、当地区にとっては、未経験で本格的な訓練となり、関係者にとっては、貴重な経験につながりました。「南海トラフ地震」の発生確立が高まる中で、「指定避難所の開設・運営」は極めて重要です。これらは、「自助・共助・公助」のうち「共助」の範疇となり、地区自主防災会における優先度の高い取り組みとして位置づけ、現在、見直しを行っている地区防災計画との整合性を図っていかねばなりません。

【地域振興部会事業報告から一部抜粋・再掲】

(1) 《重要課題》安心・安全のまちを造る防災体制の充実

①災害時に対応可能な自主防災組織の整備検討

②自主防災リーダー養成研修への参加

③消防団及び赤十字奉仕団との連携強化、懇談会などの実施

- ・ 5 月 9 日 自主防災リーダー養成研修会 自主防災会役員・赤十字奉仕団役員等の出席
- ・ 5 月 26 日 飯田市消防団操法技術大会に係わる分団反省会
- ・ 6 月 13 日 飯伊消防団操法技術大会に向けた壮行会
- ・ 1 月 17 日 「区長・委員長会」において、地区防災計画の見直しに着手することを決定
地区にふさわしい組織のあり方について協議をスタート
- ・ 2 月 6 日 赤十字奉仕団と自主防災会による「合同防災学習会」を開催
- ・ 2 月 15 日 消防団分団役員とまちづくり委員会四役との懇談会

【成果】

- ・時代の変化やニーズに対応した地区防災計画にするため、ふさわしい防災組織のあり方について、見直し作業に着手することができた。

【課題等】

- ・時代の変化や災害状況に応じた地区防災計画の見直し

(2) 自主防災本部と各区自主防災会の連携・協力による防災研修会の運用拡大

①被災地の状況等からの防災学習

②地域住民の防災意識の啓発、家庭での防災の備えの推進

③ハザードマップの周知・活用

④各区における応急避難場所の確保や区民への周知

- ・ 5月28日 災害時における組合単位の安否確認方法等の検討報告書の提出を依頼
- ・ 6月～ 防災の備えに関するチラシを区長等に配布し、日常的な活用を依頼
- ・ 7月～ 井戸所有者及びアマチュア無線免許取得者名簿提出の依頼
- ・ 12月7～8日 自主防災会役員等を中心とした視察研修「中越地震から学ぶ」
- ・ 2月6日 赤十字奉仕団と自主防災会による「合同防災学習会」を開催
- ・ 視察研修では、新潟県中越大地震から「4つのそなえ」の重要性を学び、日頃からのそなえの大切さを再認識した。

【成果】

- ・ 井戸所有者を把握し、災害時の井戸水の利活用について協議をしていくための準備を整えることができた。
- ・ 地震総合防災訓練の中止に拘わらず、区において独自の訓練を当日、ないしは他の日に設定し実施することができた。

【課題等】

- ・ 組合単位の安否確認については、全組合を対象にアンケート調査を実施し、振り返りの動機づけにはなったが、改善策には至っていない。
- ・ まちづくり委員会や自主防災会として、日常的な防災に関する周知が不十分なため、効果的な周知や内容等を検討する必要がある。
- ・ 災害時における井戸所有者の提供による生活用水としての活用方策が課題となっている。

(3) 防災訓練等の実施や参加

①地震総合防災訓練における各区本部（支部）と連携した自主防災会本部訓練の実施

②土砂災害・全国統一防災訓練への参加（土砂災害特別警戒地域住民への連絡・対応）

③消防団の非常招集訓練への参加

④赤十字奉仕団の炊き出し訓練への協力支援

- ・ 5月21日 第1回鼎地区自主防災会本部合同会議
- ・ 5月28日 令和6年度 区における地震防災訓練計画書の提出依頼
- ・ 6月14日 赤十字奉仕団炊き出し訓練
- ・ 6月21日 土砂災害・全国統一防災訓練の実施
- ・ 6月23日 春季非常招集訓練（グループホーム切石）
- ・ 7月19日 令和6年度飯田市地震総合防災訓練 訓練説明会（地区拠点班として出席）
- ・ 7月19日 「区長・委員長会」において、地震総合防災訓練について協議
- ・ 8月9日 第2回鼎地区自主防災本部合同会議

- ・ 8月19日 「区長・委員長会」において、地震総合防災訓練について協議
- ・ 9月1日 令和6年度飯田市地震総合防災訓練中止・鼎地区自主防災会による訓練中止
各区においては、実施可能な範囲で訓練を実施
- ・ 11月16日 自主防災会主催による「指定避難所の開設・運営」訓練を実施
- ・ 土砂災害・全国統一訓練においては、地区拠点班本部設置訓練と自主防災会と連携し情報伝達訓練を実施。午後には、中学校の武道場を活用し、指定避難所開設に伴う関係備品等の組み立てに取り組んだ。
- ・ 地震総合防災訓練は、台風の影響等を考慮し中止となった。多くの区は、中止の伝達訓練を行ったが、切石区は当初の計画に基づき実施。自主防災会としては、中止に伴い代替訓練「指定避難所の運営・設営訓練」を11月16日に実施した。

【成果】

- ・ 懸案であった「指定避難所の開設・運営」の本格的な訓練を実施することができ、運営については、課題等が多いことが共有できた。

【課題等】

- ・ 地区防災計画の見直しによる自主防災訓練の充実と組織体制の強化
- ・ 自主防災会と消防団及び赤十字奉仕団との密接な連携強化

(4) 本部および各区の備品再整備

①飯田市自主防災組織施設整備事業を活用した防災資機材整備

- ・ 区において整備した防災資機材

(単位:円)

区名	整備の概要	事業費	市補助金額	区負担額
東鼎	防災ルーム 180 ほか	172,040	83,345	88,695
西鼎	ガスパワー発電機 ほか	127,600	61,816	65,784
下茶屋	ガスパワー発電機	114,400	55,421	58,979
中平	ガスパワー発電機 ほか	232,925	112,840	120,085
上茶屋	ガスパワー発電機	114,400	55,421	58,979
切石	ポータブル電源 蓄電池 ほか	284,900	138,019	146,881
上山	蓄電池ポータブル電源	264,000	127,894	136,106
一色	ミスタークイックテント	135,300	65,546	69,754
名古熊	投光器 ほか	187,220	90,698	96,522
合計		1,632,785	791,000	841,785

- ・ 地区本部において整備した防災資機材

防災用トランシーバー 8台 426,800円 (まちづくり委員会会計より支出)

トランシーバー増設申請手数料 39,270円 (まちづくり委員会会計より支出)

平成7年4月22日 提出

平成7年 月 日 承認

鼎地区自主防災会

会長 奥村 充由

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

収入の部

(単位：円)

項 目	予算額	収入済額	比較	説 明
1 繰入金	240,000	180,000	△ 60,000	まちづくり委員会から
2 補助金	1,125,000	791,000	△ 334,000	飯田市自主防災施設整備事業補助金
3 各区分担金	1,250,000	841,785	△ 408,215	各区防災資機材購入分担金
4 繰越金	377,338	377,338	0	前年度繰越金
5 雑収入	7,662	13,855	6,193	預金利息、特別基金貸出寄付金
合 計	3,000,000	2,203,978	△ 796,022	

支出の部

(単位：円)

項 目	予算額	支出済額	予算残額	説 明
1 報償費	20,000	0	20,000	
2 備品費	2,500,000	1,636,745	863,255	各区及び本部防災資機材整備
3 消耗品費	200,000	14,424	185,576	防災研修消耗品
4 印刷製本費	50,000	0	50,000	
5 手数料	15,000	14,220	780	無線機電波利用料、免許申請手数料ほか
6 修繕料	150,000	0	150,000	
7 予備費	65,000	0	65,000	
合 計	3,000,000	1,665,389	1,334,611	

収入総額 2,203,978 円

支出総額 1,665,389 円

差引残高 538,589 円

令和7年4月22日 提出

令和7年 月 日 承認

鼎地区自主防災会 会長 奥村 充由

令和6年度 鼎地区自主防災会 監査報告書

令和7年4月3日

令和6年度鼎地区自主防災会の会計及び業務執行の状況監査について、鼎地区自主防災会規約（平成11年4月27日施行）第7条第6条の規定により、監査に付された令和6年度鼎地区自主防災会の会計及び業務の執行状況を監査したので、次のとおり報告します。

- 1 監査の対象 事業概要及び収支決算書
- 2 監査の実施日 令和7年4月3日（木）
- 3 監査の場所 鼎地区自主防災会事務局（鼎自治振興センター）
- 4 監査の内容と方法
 - (1) 会計の監査において、決算係数の正確性を確認するとともに、事務処理及び予算執行の状況について検証するため、関係諸帳簿及び通帳残高の照合を実施しました。
 - (2) 事業の実施状況、効果、必要性など検証するため、資料の提出を求めました。
 - (3) 上記のほか、役員及び担当者の説明を受けました。
- 5 監査の結果 適正であることを確認しました。

鼎地区自主防災会 会長 奥村 充由 様

鼎地区自主防災会

監事 本島 文男

監事 熊谷 廣光

議案第4号の2

令和7年度 鼎地区自主防災会事業計画（案）

第4次 鼎地区基本構想・基本計画の第3章では、「みんなが支え合い安心して暮らせるまちづくり」を実現するため「3 防災体制を強化し、災害に強い地域づくりに取り組みます」と位置づけています。一方、まちづくり委員会の令和7年度の重点事業として、「安心安全なまちづくりを実現するための防災体制の強化」が位置付けられていることから、まちづくり委員会と連携し、その実現を図っていかねばなりません。

自主防災会が、令和7年度において重点的に取り組む事項については、以下3点といたします。

はじめに、求められている「防災体制の強化」については、現在、社会的情勢等の変化に合わせ、「鼎地区防災計画」の見直し作業を進めており、役員の役割分担等の明確化と指定避難所の開設と運営に対応できるよう、地区本部としてふさわしい組織体制に移行させてまいります。

二つ目は、「日頃からの備えの習慣化」です。昨年度実施した役員等の視察研修を通じて、「日頃からの備え」の重要性を再認識したところです。大規模地震や風水害が発生した時、まずは対処して頂く単位は、「個人及び家庭」となります。中越地震から学んだ「日頃からの備え」を習慣化できるよう、その重要性を広く、地区住民に対して周知してまいります。

三つ目は、「災害時における井水等の利活用」です。昨年度から取り組んでいる災害時における井戸水の利活用については、現段階では、所有者の把握にとどまっていることから、引き続き、地区の防災力の強化には欠かせないアイテムとして、関係者に協力を頂きながら、その具体化を図ってまいります。

その他の取り組みについては、以下の項目に基づき、順次取り組んでまいります。

1 自主防災組織の体制強化

- (1) 災害時に対応可能な自主防災組織の見直し
- (2) 自主防災リーダー養成研修への参加による底上げ（令和7年5月15日（木）18:30 開始予定）
- (3) 地区防災計画の見直し及び行動マニュアルの作成

2 自主防災会本部と各区本部との連携・協力

- (1) 地震総合防災訓練における区本部と連動した自主防災本部訓練の実施（令和7年8月31日（日）午前中の予定）
- (2) 土砂災害・全国統一防災訓練への参加（令和7年6月1日（日）午前中の予定）
- (3) 各区における「組合単位の安否確認」の方法等の明確化
- (4) 災害時において井戸水等が利活用できる環境整備の促進

3 「日頃からの備え」の習慣化

- (1) 各家庭における「日頃からの備え」と防災意識の醸成

(2) ハザードマップの活用促進

(3) 自主防災会本部主催による防災講演会・研修会の実施と防災士等の育成支援

4 消防団及び赤十字奉仕団との連携・強化

(1) 消防団の非常招集訓練への参加

(2) 赤十字奉仕団の炊き出し訓練への協力・支援

(3) 消防団員と赤十字奉仕団員確保に向けた協力

(4) 消防団及び赤十字奉仕団との懇談会の実施

議案第5号の2

令和7年度 鼎地区自主防災会会計予算（案）

令和7年度 鼎地区自主防災会 会計予算書（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

令和7年度鼎地区自主防災会会計予算は、次に定めるところによる。

- (1) 収入支出予算の総額を、収入支出それぞれ 2,986千円と定める。
- (2) 支出の各予算項目に過不足が生じた場合は、流用・充用することができる。

収入の部

（単位：円）

項目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	説明
1 繰入金	240,000	240,000	0	まちづくり委員会から
2 補助金	990,000	1,125,000	△ 135,000	飯田市補助金 補助率45%で計算
3 各区分担金	1,210,000	1,250,000	△ 40,000	各区本部防災資機材購入分担金
4 繰越金	538,589	377,338	161,251	前年度繰越金
5 雑収入	7,411	7,662	△ 251	預金利息ほか
合計	2,986,000	3,000,000	△ 14,000	

支出の部

（単位：円）

項目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	説明
1 報償費	20,000	20,000	0	講師謝礼
2 備品費	2,586,000	2,500,000	86,000	防災資機材(本部及び各区) 他
3 消耗品費	150,000	200,000	△ 50,000	防災訓練用資材及び消耗品
4 印刷製本費	50,000	50,000	0	防災マップ印刷ほか
5 手数料	15,000	15,000	0	無線電波使用料、振込手数料
6 修繕料	50,000	150,000	△ 100,000	無線設備等
7 負担金・補助・交付金	100,000	0	100,000	防災士資格取得費用(受講費等)
8 予備費	15,000	65,000	△ 50,000	
合計	2,986,000	3,000,000	△ 14,000	

令和7年4月22日 提出

令和7年 月 日 議決

鼎地区自主防災会 会長 奥村 充由

鼎地区まちづくり委員会規約

制定 平成19年4月1日

第1章 総則

(目的)

第1条 本会は、自主自立の自治精神に基づき、地域自治区に居住する市民及び行政はじめ会内外の諸団体等と協働し地域課題に対処するとともに、地域の共益共同的事業を通じ、良好な地域社会の維持及び向上発展を図ることを目的とする。

(名称及び事務所)

第2条 本会は飯田市鼎地区まちづくり委員会（以下「会」という。）と称し、事務所を飯田市役所鼎自治振興センターに置く。

(区域)

第3条 本会の区域は、飯田市鼎地域自治区の区域とする。

(組織)

第4条 本会は、第3条に定める区域に居住する市民で組織する。

2 本会は、第1条の目的を達成するため、「総会」、「区長会」、「区長・委員長会」及び次の各委員会を置く。

- (1) 生活安全委員会
- (2) 子どもを育む委員会
- (3) 健康福祉委員会
- (4) 環境衛生委員会
- (5) 公民館・教育文化委員会

3 区長会に地域振興部会を設け、次の各部を置く。

- (1) 総務文教部
- (2) 産業経済部
- (3) 建設部
- (4) 自主防災部
- (5) 広報部

第2章 まちづくり委員会の執行部構成及び役員

(執行部の構成)

第5条 この会の執行部は次の者をもって構成する。

- (1) 会 長（区長兼務の場合は除く） 1名
 - (2) 区 長 10名
 - (3) 委員長 5名
 - (4) 副区長 10名
 - (5) 特別委員
- | | | |
|---|--------------|----|
| ア | 市議会議員 | |
| イ | 松川入財産区議員の代表 | 2名 |
| ウ | 農業委員の代表 | 1名 |
| エ | 婦人団体連絡協議会の代表 | 1名 |

(役員の選任)

第6条 執行部に、次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 2名（うち1名は会計を兼ねる。）
- (3) 監 事 2名
- (4) 地域振興部部长 5名
- (5) 地域振興部副部长 5名

2 会長は、区長、委員長及び前区長の中から選考委員会において選出する。

- 3 副会長は、区長の中から選考委員会において選出する。
- 4 地域振興部部長及び地域振興部副部長は、区長及び副区長の中から会長が指名する。
- 5 監事は、総会において選任する。

(選考委員会の委員)

第7条 選考委員会の委員は、執行部の中から会長が指名する。

- 2 選考委員会の委員長は、選考委員の互選とする。

(役員の職務)

第8条 会長は、会を代表し、会務を統轄する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 3 会計は、会の経理を行う。
- 4 監事は、会の事業の執行状況及び会計を監査する。
- 5 地域振興部部長は、部会を統括するとともに、部の執行部を担当する。
- 6 地域振興部副部長は、部長を補佐するとともに、部会の進行を行う。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠により就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(顧問)

第10条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、総会の同意を経て会長が委嘱する。
- 3 顧問は、必要に応じて会議に出席して意見を述べることができる。

第3章 総会

(総会)

第11条 総会は、定期総会と臨時総会とする。

- 2 総会は、執行部構成員、委員会本部役員及び代議員をもって構成する。
- 3 代議員は、各区3名とする（但し、会費納入戸数が300戸を超える区については、100戸ごとに1名とし、100戸に満たない端数は1名とする）。

(総会の任務)

第12条 総会は、次の事項を審議決定する。

- (1) 事業計画案、会計予算案に関すること。
- (2) 事業報告、会計決算に関すること。
- (3) 資産の処分及び管理等に関すること。
- (4) 規約の改定に関すること。
- (5) 役員の承認及び顧問の委嘱等に関すること。
- (6) その他会の重要事項に関すること。

(総会の開催)

第13条 総会は、会長が招集する。

- 2 定期総会は、毎年度当初に開催する。
- 3 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。
 - (1) 会長が必要と認めたとき。
 - (2) 代議員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求があったとき。

(総会の議長)

第14条 総会の議長は、その総会において、出席した代議員の中から選出する。

(総会の成立)

第15条 総会は、構成員の2分の1以上の出席により成立する。

(総会の議決)

第16条 総会の議事は、代議員の出席者の過半数を持って決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(総会の議事録)

第17条 会長は、出席者の中から書記2名と議事録署名人を指名し、議事録を作成しなければならない。

第4章 「区長会」及び「区長・委員長会」

(「区長会」及び「区長・委員長会」の職責)

第18条 「区長会」及び「区長・委員長会」は、各委員会の円滑な運営及び各委員会間並びに各区との連絡調整を行う。

(「区長会」及び「区長・委員長会」の構成)

第19条 「区長会」は区長及び会の会長、「区長・委員長会」は区長、委員長及び会の会長をもって構成する。

2 「区長会」及び「区長・委員長会」の正副会長は、会の正副会長が兼務する。

3 「区長会」及び「区長・委員長会」に市議会議員の出席を求め、意見を聞くことができる。

(「区長会」及び「区長・委員長会」の任務)

第20条 「区長会」及び「区長・委員長会」は、次の事項を協議する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) 各委員会の事業計画、予算案等の調整
- (4) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

(「区長会」及び「区長・委員長会」の召集等)

第21条 「区長会」は、毎月定例会とする。

2 「区長・委員長会」は、定例会及び臨時会とし、臨時会は会長が必要と認めるときに招集する。

(「区長会」及び「区長・委員長会」の議長)

第22条 区長会及び区長・委員長会の議長は、会の副会長がこれにあたる。

第5章 地域振興部会

(部会の任務)

第23条 地域振興部会の各部会は、第1条の目的達成のため、総会の決定にしたがって、次の各号の事業に関する企画立案及び執行をする。

(1) 総務文教部

- 予算、決算に関すること。
- 規約等の制定改廃に関すること。
- 学校教育、社会教育に関すること。
- 土地利用に関すること。
- 表彰に関すること。
- 各種団体との連絡調整に関すること。
- その他まちづくり委員会の運営に関すること。

(2) 産業経済部

- 農林業振興に関すること。
- 商工業振興に関すること。
- 観光に関すること。
- 松川入財産区に関すること。

(3) 建設部

- 道路及び橋梁並びに河川に関すること。
- 地域開発に関すること。
- 都市計画に関すること。

(4) 自主防災部

- 災害時の対応に関すること。

自主防災会に関すること。

(5) 広報部

「広報かなえ」の編集、発行に関すること。

2 地域振興部会は、区長会の正副会長を除く区長、副区長、特別委員で構成し、部員は会長が区長会に諮って委嘱する。

第6章 委員会

(委員会の任務)

第24条 各委員会は、第1条の目的達成のため、総会の決定にしたがって、次の各号の事業に関する企画立案及び執行をする。

- (1) 生活安全委員会は、交通安全及び防犯に関すること。
- (2) 子どもを育む委員会は、子どもを犯罪から守り、青少年の健全育成に関すること。
- (3) 健康福祉委員会は、健康増進及び地域福祉に関すること。
- (4) 環境衛生委員会は、廃棄物の処理、資源活用及び環境保全に関すること。
- (5) 公民館・教育文化委員会は、社会教育・生涯学習に関すること及び選挙啓発に関すること。

2 各委員会は、執行部及び連絡協議会等関係団体と連携、協力し、事業の計画立案及び執行に当たるものとする。

(委員会役員)

第25条 委員会は、各支部(区)選出の支部長から、委員長1名、副委員長2名(うち1名は会計を兼ねる。)、委員会広報担当を選出する。ただし、公民館・教育文化委員会は、支部長以外から委員長を選出することができる。

(委員会の運営)

第26条 委員会の運営に関することは、別に定める。

第7章 会計

(会費)

第27条 本会の会費は、総会において別に定める。

(会計)

第28条 本会の経費は、会費、交付金、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

(手当、費用弁償、旅費)

第29条 手当、費用弁償、旅費は、別に定める規程により支給するものとする。

(会計及び業務監査)

第30条 会計及び業務執行状況の監査は、毎会計年度終了後に行い、総会に報告する。

(会計年度)

第31条 会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第8章 地区連絡協議会

(地区連絡協議会の設置)

第32条 本会と地区内関係機関、団体との相互の連絡調整を図るため、地区連絡協議会を設置する。

2 地区連絡協議会の運営は、別に定める規程によるものとする。

第9章 雑則

(備付け帳簿及び書類)

第33条 本会の事務所には、規約、役員名簿、総会の議事録、収支に関する帳簿、財産目録等資産の状況を示す書類その他必要な帳簿及び書類を備えておかなければならない。

(委任)

第34条 この規約の施行に当たって必要がある場合には、細則を定めることができる。

(規約の改廃)

第35条 この規約の改廃については、総会において代議員の3分の2以上の同意を必要とする。

附 則

(施行日)

1 この規約は、平成19年4月1日から施行する。

(役員の任期の特例)

2 第8条第1項の規定にかかわらず、本会設立後初回の役員の任期は、平成20年3月31日までとする。

附 則

この規約は、平成22年4月28日改正、施行する。

この規約は、平成29年4月24日改正、施行する。

この規約は、平成31年4月24日改正、施行する。

この規約は、令和2年4月24日改正、施行する。

令和7年度 鼎地区まちづくり委員会 執行部体制

役 職	氏 名	選出母体役職	区名	班組
会長	奥村 充由	名古屋前区長	名古屋	6-2
副会長 総括	戸崎 敬	中平区長	中平	3-6
副会長 会計	小木曾 学	東鼎区長	東鼎	3-21
総務文教部長	牧島 龍雄	上山区長	上山	4-7
総務文教部副部長	木下 浜生	上茶屋区長	上茶屋	1-3
総務文教部員	小澤 澄子	切石副区長	切石	2-2
総務文教部員	武田 忠男	一色副区長	一色	2-1
総務文教部員	林 善次	下山副区長	下山	8-8
総務文教部員(特別委員)	佐々木博子	市議会議員	上山	1-25
総務文教部員(特別委員)【新任】	長沼やえ子	婦団連会長	下山	5-3
産業経済部長	須山 一博	一色区長	一色	1-6
産業経済副部長	関口 明	西鼎区長	西鼎	2-4
産業経済部員	小林 精市	名古屋副区長	名古屋	2-1
産業経済部員【新たに特別委員を兼ねる】	木下 雅夫	下茶屋副区長・松川入財産区議員	下茶屋	2-4
産業経済部員(特別委員)【新任】	熊谷 英人	松川入財産区議員	上山	2-18
産業経済部員(特別委員)	小平 彰	市議会議員	下山	6-8
産業経済部員(特別委員)【新任】	小林 秀夫	農業委員	名古屋	3-4
建設部長	前澤 清隆	切石区長	切石	5-12
建設副部長	木下 克志	下山区長	下山	4-1
建設部員	宮澤 賢二	東鼎副区長	東鼎	2-15
建設部員	吉澤 恒人	上茶屋副区長	上茶屋	1-2
建設部員(特別委員)	山崎 昌伸	市議会議員	東鼎	3-18
自主防災部長	奥村 仁司	名古屋区長	名古屋	6-1
自主防災副部長	橋本 義哉	上山副区長	上山	2-6
自主防災部員	原 章好	西鼎副区長	西鼎	3-3
自主防災部員	伊藤 利英	中平副区長	中平	4-18
自主防災部員(特別委員)	古川 仁	市議会議員	下山	6-2
広報部長	松澤 政明	下茶屋区長	下茶屋	1-9
広報副部長	吉澤 恒人	上茶屋副区長	上茶屋	1-2
生活安全委員長	下平 泰人	生活安全委員会 上茶屋支部長	上茶屋	2-17
子どもを育む委員長	森 貴	子どもを育む委員会 一色支部長	一色	4-1
健康福祉委員長	北原 康彦	健康福祉委員会 下山支部長	下山	4-5
環境衛生委員長	塚平 英治	環境衛生委員会 上茶屋支部長	上茶屋	2-12
公民館・教育文化委員長	笹 行夫	公民館長	名古屋	3-13
顧問	前田 雄二	前会長	切石	4-6
監事	本島 文男	一色前区長	一色	4-1
監事	熊谷 廣光	下茶屋前区長	下茶屋	2-9

【 まちづくり委員会事務局 鼎自治振興センター・鼎公民館 】

会計補助	伊藤知世子	主に月・水・金の午前勤務	名古屋	5-1
執行部担当	和泉 忠志	鼎自治振興センター 所長	上山	鼎自治振興センター
健康福祉委員会担当	田中 俊彦	鼎自治振興センター 主事	上山	鼎自治振興センター
子どもを育む委員会担当	伊藤 真悟	鼎自治振興センター 主事	上山	鼎自治振興センター
生活安全委員会担当	原 涼歌	鼎自治振興センター 主事	上山	鼎自治振興センター
環境衛生委員会担当	河井 美香	鼎自治振興センター 会計年度任用職員	上山	鼎自治振興センター
健康福祉委員会担当	吉川 貴子	鼎自治振興センター 保健師	上山	鼎自治振興センター
健康福祉委員会担当	原 里奈	鼎自治振興センター 保健師	上山	鼎自治振興センター
公民館・教育文化委員会担当	伊藤 愛	鼎公民館 公民館主事	中平	鼎公民館・鼎文化センター